

会 議 録

会議の名称		令和6年度第1回つくば市図書館協議会		
開催日時		令和6年（2024年）8月20日 開会 14:00 閉会 16:00		
開催場所		つくば市立中央図書館 2階 集会室		
事務局（担当課）		教育局 中央図書館		
出席者	委員	坏文雄委員（会長）、鷺田美加委員、齋藤てる委員、 宇川百合江委員、呑海沙織委員、丹間康仁委員、鐵見咲希委員、 伊藤佳子委員、杉本まき子委員、松尾みずほ委員、井上秀次委員、大越茂委員		
	その他			
	事務局	森田充教育長、吉沼正美教育局長、柴原徹館長、 玉木正徳副館長、中川憲二館長補佐、川田美紀係長、 細田麻美係長、村松ななみ主事		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	1名
非公開の場合はその理由				
議題		令和6年度重点事業等について 令和6年度事業計画について 令和5年度図書館運営上の指標に対する実績評価について 令和6～8年度図書館運営上の指標と数値目標（案）について 蔵書点検報告について GIGA 端末を活用した市内小中学校における電子図書館の利用促進事業について 令和5年度利用者満足度調査について その他		
会議録署名人	鷺田委員、齋藤委員	確定年月日	令和6年9月20日	

会 議 次 第	1 開 会 2 委嘱状の交付 3 教育長挨拶 4 委員及び職員の紹介 5 会長選出、会長挨拶 6 議 題 7 閉 会
	<p><審議内容></p> <p>1 開 会</p> <p>○事務局：皆さんお忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。ただいまから令和6年度第1回つくば市図書館協議会を開催いたします。会議時間は約2時間を予定しております。本日の進行を務めさせていただきます、中央図書館副館長の玉木と申します。よろしく願いいたします。</p> <p>2 委嘱状の交付</p> <p>○事務局：まず初めに、委嘱状の交付をさせていただきます。委員の任期満了による改選に伴い、13名の方を委員に任命させていただきます。任期はつくば市図書館条例第3条第4項の規定により、令和6年7月1日から令和8年6月30日までの2年間となります。これから皆様のお名前を読み上げますので、着席のままお返事をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">〔委員応答〕</p> <p>○事務局：それでは、森田教育長から委嘱状を交付いたします。お時間の関係上、委員13名の皆様を代表いたしまして、お1人に委嘱状を交付させていただきます。名簿順で恐れ入りますが、それでは坏文雄様に委嘱状を交付させていただきます。坏様、恐れ入りますが前にお進みください。</p> <p style="text-align: center;">〔委嘱状交付〕</p>

3 教育長挨拶

○事務局：続きまして、教育長の森田から御挨拶申し上げます。

〔教育長挨拶〕

○事務局：ありがとうございました。

4 委員及び職員の紹介

○事務局：続きまして、委員及び事務局職員の紹介に移らせていただきます。

まず本日御出席いただきました委員の皆様から、簡単に自己紹介をお願いしたいと思います。その場で結構ですので、お席の順番でお願いできたらと思います。坏委員からお願いしてよろしいでしょうか。

〔各委員自己紹介〕

○事務局：ありがとうございました。引き続き、事務局職員の自己紹介に移らせていただきます。教育長からお願いします。

〔事務局自己紹介〕

○事務局：以上となります。どうぞよろしくお願いいたします。

5 会長選出、会長挨拶

○事務局：続きまして、当協議会の会長を選出したいと思います。選出につきましては、つくば市図書館協議会運営規則第2条第2項の規定によりまして、会長は委員の互選によって定める、とありますので、委員の皆様から御選出いただきます。会長の選出等について、皆様にお諮りしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○委員：事務局一任でお願いします。

○事務局：はい。ただいま、事務局一任の御発声がありましたが、いかがでしょうか。御賛同いただいたということでよろしいでしょうか。ありがとうございます。それでは事務局案を申し上げます。事務局としましては、坏

文雄委員に会長をお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。
御賛同いただけるようでしたら拍手をお願いいたします。

〔会場拍手〕

○事務局：それでは会長から御挨拶をいただきたいと思います。よろしくお
願いいたします。

〔会長挨拶〕

○事務局：ありがとうございました。

6 議 題

○事務局：本日の会議は、委員 13 名のうち、出席者は 12 名、欠席者 1 名の
ため、出席者が委員の過半数に達しておりますので、つくば市図書館協
議会運営規則第 3 条第 2 項の規定により、会議が成立しましたことを御
報告いたします。先程の御挨拶の中でありましたが、対面での御出席が
難しいということで、1 名の方にはオンラインにて御参加いただいております。

また、本会議は公開となっております。傍聴人の方の参加がありますの
で、御承知おきください。会議内容につきましては、会議資料と議事録を
合わせて、一般に公開される予定でございます。議事録作成のため、録音
をさせていただきますので御了承ください。

また、議事録を作成するに当たりまして、議事録署名人を選任させてい
ただきます。鷺田委員、齋藤委員をお願いしたいと思いますが、よろしい
でしょうか。

〔委員了承〕

○事務局：ありがとうございます。それでは、つくば市図書館協議会運営規
則第 2 条第 3 項の規定により、会長は協議会を代表し、会務を総理し、
会議の議長となる、とありますので、議事進行につきましては、会長に

お願いいたします。よろしくお願いいたします。

○会長：では会議に入りたいと思います。4時までですけれども、すでに25分近く経っておりますので、要領良く進めていきたいと思います。

進め方ですが、教育長以下事務局がおりますけれども、直ではお話ししないで、あくまで私を通していただきたいと思います。私が事務局の方へお話を向けますので、発言の際は必ず挙手をしてください。私から各委員をお呼びします。図書館懇話会でお世話になりました呑海先生もいらっしやいますので、大変心強く思っております。どうぞ忌憚なく御意見いただければと思います。

それではこれから議題に入りたいと思います。では議題1番ですが、資料1重点事業です。事務局お願いします。

[資料1 事務局説明]

○会長：どなたか御意見ありますか。はい、委員お願いいたします。

○委員：サービスの拡充が図られているということで、すばらしいなと思っています。質問なんですけれども、1番のサービスポイントの拡充に伴って、配送車両を増やすということなんです、この配送車というのは一般にはわかりにくいと思いました。自動車図書館とは違うわけですよ。現状の配送車両の台数、集荷に回っている場所など状況を説明してもらいたいと思います。

○会長：はい、事務局お願いいたします。

○事務局：配送車両につきましては、現在、2台で運行しております。それを10月からサービスポイントが増えるというところで、1台増やす予定でおります。今現在、市内に5か所の交流センターにブックポストが置いてあります。あとは市役所のコミュニティ棟、昨年度開校しました香取台小学校の敷地内にかとりだい交流館という児童クラブも併設している施設があるんですが、こちらの方にもブックポストが置いてありま

す。なおかとりだい交流館につきましては、予約本の受取りもできるというサービスをしております。

それに加えて、今度みどりののプールにブックポストを置きたいと考えています。また、いわゆる分館的機能を持った4か所の交流センター図書室がありますので、そちらの本の運送をこの配送車、配送員で賄っているという状況でございます。以上です。

○会長：はい。他にございますか。委員、お願いいたします。

○委員：4番目、図書館の施設改修の中でウッドデッキの設置をとということですけれども、そこはもうすでに決まって、準備が着々と進められているんだと思うので、あくまでもこちら私の私見ということなんですけれども、絵も資料として付いているので見せていただくと、外に公園のようなものを造って利用してもらう、ということなんです、建物の反対側に中央公園があるので、そこで今回の中庭のように使うことは多少できたのではないかと思いました。予算が限られている中で、他にもっと先にやっていただけるものがあつたのではないのでしょうか。

3番のライブラリーピクニックのようなものがあるのはとてもいいと思います。本を読んで内容を確認したり調べたり、基本的に図書を屋外で利用することは、従来あまり勧められていなかったように思いますし、室内での利用が基本なのかなと思います。外でとなると、イベントの時はすごくいいと思うんですが、基本的には遊びの要素が日常的に増えてしまうようになるのが、建物の中で読書、閲覧をされている方の妨げになるような騒音が発生しないのかなという危惧がありました。これはもちろんいい形で進んでいくことが望ましいと思いますし、いろんな面で注意点があれば良い発見もあるかなとは思っているので、逆行するような意見で恐縮ですけれども、せっかく進めていることなので、うまく進んで欲しいなとは思っています。どのぐらいの予算をかけていらっしゃるのか存じませんが、アミュ

ーズメント的なことより、図書館の中のことのほうに予算をかけていただけると良かったように思います。中庭の件ひとつだけを取り沙汰しているわけではありません。

○会長：事務局の方でよろしくお願ひいたします。

○事務局：はい。今いただいた御意見について、まず外に目を向けたのは、いくつか理由がございます。一つ目としまして、ここができたのが1990年、平成2年なんです。図書館に対する要望や利用の仕方の考え方が、この30年で大きく変わってきたと思います。30年前に限らずですね、図書館というのは必ず静寂な空間であって、飲食は駄目、当然お話しも駄目。ましてや小学生、中高生が自習をするなんてのもっての外、というような時代があったかと思ひます。ただ近年、いつからかわかりませんが、やはり「もっと図書館に来てよ」と。言葉としてサードプレイスという考え方が大分浸透してきた中で、我々はその今のニーズにどのように応えられるかというふうにも色々検討しました。

しかし、館内は1700平米とスペースが限られているので、閲覧席も少ない。中高生が夏休みにお弁当持ちで勉強しに来てくれているんですが、その時にお弁当を食べる場所もない。というように、様々な課題を御意見として聞いてきました。その中で、折衷案ではないですけどこういう形だったら、そういう利用もできるかなということで、中庭に目を向けた、というところがあります。

近年の図書館で参考にさせていただいた、杉並区立中央図書館もイノベーションをしてウッドデッキを設置して、私も見に行きました。かなり上手く利用されてるといふか、近所の働いてる人がお弁当食べに来るだけのスペースであつたりもするけれど、その脇で本を読んだりWi-Fi環境を整えてパソコンを使っていたりというような、多様な使い方ができていました。そういったところも参考にできるかなということで、今回中庭

に目を向けまして、ウッドデッキを作ってはどうかということで、設計の方も進んでいる状況でございます。また、御心配されておりました騒音等については、利用のマナーとして、運用の中で対処していきたいと思っております。

あともう一つ、中庭沿いに閲覧席やソファがあるんですけども、やはり今まで中庭には人がいなかったもので、人が入るようになると互いの視線が気になる可能性があります。対策として何か設置するとか、ただ、あまり遮りすぎないいいものがないかを今設計の方と御相談しながらやっております。以上です。

○会長：わかりました。今、オンライン参加の方からお話したいとありましたので、お聞きしましょう。

○委員：資料1の3番の自動車図書館サービスの拡充について1点、意見を述べさせていただきます。1号車の車両更新等を進めていただいて大変素晴らしいと思うんですけども、1行目にあります、見直しに向けたニーズ調査に関する意見です。実際に今、自動車図書館を利用させていただいている方に調査をするのか、或いはもっと幅広く市民全体にニーズ調査をするのかによって、得られる結果やそれを踏まえてどうふうに今後見直しをして拡大を進めていくのかという方向も変わってくると思います。ぜひ目的に合わせて適切なニーズ調査ができるのではないかと考えました。

○会長：事務局の方でありますか。

○事務局：ニーズ調査につきましては、今委員から御指摘があったような、市民全体へ向けた調査は行っておりません。というのは、一昨年に小型の車両の3号車を導入した時に、どのようなところにニーズがあるかと検討した中で、高齢者の方にサービスを届けられないかということで、市内の高齢者施設の方にニーズ調査をさせていただきました。「ぜひ来てください」と、お声掛けいただいたところに行っております。ス

テーションごとの統計の数字も出てきますので、利用が少ないから廃止してしまうというようなことはなるべくしたくはないんですが、限られた資源なので、効果的に活用できないかということは常に考えていきたいなと考えております。ありがとうございました。

○委員：ありがとうございます。

○会長：はい。他にありますか。お願いします。

○委員：資料1の1、サービスポイントの拡充についてなんですけれども、まさしく私今、みどりのの住民になっておりまして、勤めていた頃は、本を借りて返すということが、日常のように、息をするようにできていたんですけど、勤めをやめた後は、これほどまでに本を借りて返すということが難しいことになるというのは想像もしていませんでした。なので、サービスポイントが増えるということは、みどりのの住民としては非常にありがたく、うれしいことだと感じています。

ただですね、サービスポイントがこの数年間で非常に増えてきて、需要に応えるという形で増えているんだと思うんですけども、図書館というものを考えたときに、需要があるところに必要なサービスをしていくということももちろん必要なんですけど、一方、需要がないところに、文化として、図書館が必然のものになっていく、必要なものとしてもらえるような政策をしていく、サービスをしていくということもすごく大事だと思っています。新図書館がまたできるということなんですけれども、つくば市はともかく広いので、もちろん新しい館をいくつもいくつも建てられるわけではないというのもよくわかってはいるんですけども。そもそも図書館というものがどういうものなのか、ということですね。読者を掘り起こしていく、サービスを始めていくという視点も必要になるのではないかと考えております。その点について今後何かお考えがあるのか、お伺いしたいと思います。

○会長：はい。

○事務局：御意見ありがとうございます。1点だけ今の段階でちょっと明確にしたいのは、今の段階で新しい図書館を建設するという事は、全く確定してないということだけは、すいません、ここで明確にさせていただきます。

今いただいた大変貴重な御意見ありがとうございます。利用需要がないところにサービスを届けるということも大事という御意見だったと思うんですが、掘り起こせばおそらく「図書館ぜひ」というのはあると思います。

開館当時の計画の中でも「いつでも誰でもどこでも利用できる図書館」というキーワードがありました。これは図書館懇話会の中でも御意見として出たんですけども、やはり身近に図書館サービスが受けられるポイントがあるというのが大事なところなんです。懇話会での検討の際につくば市全体を見たときに、つくば市の西のエリアに図書館サービスが行き届いてない、という御指摘をいただいております。仮に大きい新しい図書館を作るとしても、その地域の身近なところでの図書館サービスに関しても同時並行で考えていかなくちゃいけないかなということは、我々も当然認識としては持っています。そういった形で、まずは移動図書館、或いは返却ポストを増やすというようなところから取り組んでいます。このような問題意識を持って、サービス向上に努めていきたいと考えております。以上です。

○会長：資料1、重点事業の方についてはもういいでしょうか。それでは議題の2番、令和6年度事業計画についてお願いいたします。

[資料2 事務局説明]

○会長：はい。令和6年度の事業計画が出ました。委員さんから何かございますか。「ぬいぐるみたちのおとまり会」をテレビか何かで見たような気がするんだけど、昨年出ませんでしたか。

○事務局：全国でも色々なところでぬいぐるみたちのおとまり会は開催されているので、テレビでも紹介されていたのかなと思います。つくば市立中央図書館については、読売新聞に取材に来てもらい、記事になりました。

○会長：そうでしたか。「あれ、やってるやってる」と思った記憶があって。委員から、何かございますか。なければ、次の議題に行きたいと思えます。

では、資料3の方で、令和5年度図書館運営上の指標に対する実績評価について、事務局の方からお願いいたします。

[資料3 事務局説明]

○会長：はい。委員からございますか。どうぞ、お願いします。

○委員：表記についてなんですけれども、資料3の6ページの「学校図書館司書教諭補助員研修参加人数」なんです、「司書教諭補助員」という名称が昨年度から「学校司書」に変更になっておりますので、たかが名称ではありますが、それは学校司書にとっては非常に大きなことでしたので、名称変更の統一をお願いしたいと思えます。資料4の方にも同様の表記がありますので、あわせて変更されるといいと思えます。

○会長：事務局の方からお願いいたします。

○事務局：はい。こちらの方、訂正させていただきたいと思えます。申し訳ございません。

○事務局：はい。今御指摘のところの訂正なんです、資料4の方がこれからの6年度から8年度なので、その指標では表記のほうを訂正したいと思えます。また、資料4、4ページの6の6。「学校図書館司書教諭補助員等研修参加人数」の項目を、「学校司書研修参加人数」と改めたいと思えます。司書教諭の先生方への研修については当館の方ではやってないところでしたので、申し訳ございません、訂正させていただきます。

す。

○委員：ありがとうございます。

○会長：委員お願いします。

○委員：資料3の1-3の「視聴覚資料貸出点数」のところですか。貸出期間を2週間ぐらい延ばして欲しいというリクエストに対して、現在検討中ということなんですが、それは具体的には今どのぐらい進んでいますか。ある程度決まっているのでしょうか。

○会長：はい、事務局。

○事務局：今、委員から御指摘ございました、貸出規則については今見直しをしているところです。現在図書が10冊2週間まで、視聴覚資料は3点1週間までとなっていますが、お客様の利便性を考えますと、両方とも2週間にした方がいいだろうというところがあります。

こちらの内容は条例施行規則に載っておりますので、そちらの規則の改正については、手続き等もございますので、来年度中に実施できるような形で今検討している、作業しているところです。以上です。

○委員：はい。利用者が視聴覚資料を大事に使ってくれるといいなというのがちょっと心配です。金額的に高く、普通の図書資料より壊れやすいので。誰からしても貸出期間が長い方がありがたいとは思いますが、結局自分で何か録画しても、意外とすぐ見なかったりとかするので、本当に見たいのであればさっさと見て、他の人にまわして欲しい。利用度は確かにあまり高くないかもしれないけど、利用者が貸出中に何となく資料を痛めてしまうということのを避けて、やはり大事にして欲しい。

置かれている色んな資料について本当にいつも思うんだけど、いいものほど逆に利用者から扱われているように見受けられることが結構あって、もったいない。皆が使うものなんだから、ちゃんとしようという感覚を持って欲しい。ルール、資料を守ってくれる方のために生かされるといいな

と思います。

○会長：これは目標値を高く設定すれば達成度が低くなるし、目標値を低く設定すれば達成度は高くなるし、目標値の設定を何を基準にどうするかということは、図書館の方で十分考えての目標値設定なんですよね。その結果、まず今回は59.1%だったということかな。

○事務局：視聴覚資料につきましては、30年前と今とで求められるニーズは全く異なってるかと思います。例えば映像資料であれば、容易にインターネットを通じて、有料のものにはなってしまいますが動画が見られるというサービスもあるので、図書館で無料で借りられるDVDに対するニーズというのは低くなってるかなと。とはいえ、やはり世に出回っている資料なので、市民の方に提供するというのが我々の仕事でもあります。

会長が仰っていましたがけれども、目標値をどのように設定するか、どういう資料をどれだけそろえるかというところは、常に問題意識を持って進めていきたいと考えております。以上です。

○会長：わかりました。よろしいですかね。次に行かせていただきます。令和6～8年度、図書館運営上の指標と数値目標について、資料4ですね。事務局の方からお願いいたします。

[資料4 事務局説明]

○会長：はい。新しく電子書籍のことなんかも入っていますが、学校関係者の方から何かありますか。

○委員：おかげさまで電子図書館の学校連携事業をスタートしていただきまして、私の方も大変興味深く見始めたところです。6月に運用がスタートした時に、各クラスで一斉にIDとパスワードを入れて、スムーズにスタートすることができました。子どもたちも、こういったやり方ができるんだということで興味持ったりですとか、読み上げ機能も付いている

ものがありますので、そのあたりをうまく使って、楽しんでいる姿がありました。

あとは今後ですけれども、学校の方では、それを授業の中で子どもたちが調べ学習をするときに、一つの方法として活用していくですとか、これは要望になってしまうのかもしれないんですが、調べることができる、電子書籍として読むことができる本の数がさらに増えていけば、より子どもたちが1度に楽しめる、そして利用人数も増えるんじゃないかなというふうに思っております。その辺りをサービスの方も含めてお願いできればと思っております。以上です。

○会長：委員も何かありますか。

○委員：今回令和8年度の目標値が5万件のアクセス数を見込んでるということで、この設定の根拠なんですけど、本年度から小中学生が端末を使って電子図書館を使用していて、市内の小中学生は今、2万5,000人ですかね。令和5年度は児童生徒のアクセスはなかなかできない難しい状況にあったと思うんですが、今後学校から定期的に子どもたちがアクセスができるようになったときに、この令和5年度の実績値が3万1,836件、令和8年度の目標値が5万件となっていて、この5万件という数値を出した根拠というのは何なのか伺いたいと思います。

○会長：子どもたちはもうどんどんタブレットで利用し始めているようですね。

○委員：はじめに電子図書館につないだ瞬間からもう、どんどんアクセスしてるという状況がございました。なかなか借りたいものが貸出中で借りられない。あと読み上げ機能がついているので、低学年の子はそれを聞きながら、面白いなんて言う風景が見られたんですね。そうすると、今後子どもたちのアクセスというのは、授業時間も含めれば増えていくであろうと。

そうすると2万5,000人の児童生徒がいた場合、5万件のアクセスであれば、年間で1人2回アクセスしてしまえばすぐ達成してしまうんです。すでにもう、3万1,000のアクセスが令和5年度時点であったので、この5万件が果たして妥当なものなのかどうかと。

○会長：はい。では、事務局お願いします。

○事務局：根拠ということなんですけれども、まず令和5年4月から令和6年1月までのアクセス数の実績が2万5,496件となっております。まずは電子図書館サービスを利用者の方に知ってもらうということが目的にありましたので、年換算の約1.5倍を目標値としました。

○会長：いいかがですか。まだ疑問や意見あればどうぞ。

○委員：図書館として、これを児童生徒を含めていると考えてるのか、それとも児童生徒を含めず、一般市民のみという捉え方をして5万件としてるのか、というところを明確に整理していればそれでよろしいのかなと思います。図書館側として整理されていれば。

○会長：はい。お願いいたします。

○委員：はい、ありがとうございます。今の御質問にも関係しますが、全体的に目標値の定め方をお伺いできればと思います。簡単で結構ですので、御説明お願いします。

○会長：はい、事務局。

○事務局：はい。一つ一つについてはお時間の関係上お答えできないかと思いますが、以前の図書館協議会の中で、目標値の設定の仕方としてあまり高すぎてしまうと、その数字を達成することにとらわれ過ぎてしまって、本来のサービスができないのではないかという御意見がありました。現状よりも高いものを目標にしないとサービス向上に繋がらないという観点から、一つずつ見直しをしていったつもりではあります。明確な回答にはなっていませんが、そういった意識で見直しをしたところで

す。

○会長：委員、お願いします。

○委員：すべての指標を前よりも上げる必要はないと私自身は思っています。事務局でおっしゃったように、例えば視聴覚資料に関して、様々なチャンネルがある時代ですので、1－4の聴覚資料の貸出点数については、そんなに目標値が高くなくてもいいのではと思います。すべての目標値を現状よりも高くする必要はないのではと思います。

同じように考えると、3－2の大活字本の貸出冊数は、3,300と目標が設定されています。大活字本はとても重要だと認識しておりますが、一方で電子書籍で拡大できたり、或いは読み上げ機能がついていることもあるということを考えると、一昔前よりも大活字本の利用率はそんなに伸びないのではないかなと思います。

同じく5－1のレファレンス受付件数ですが、これも多ければいいというものではないと私は認識しております。自立的に調べることができるように親切な案内を増やすと、件数はそんなに増えないし、むしろその方がいいという考え方もできるので、これもずっと右肩上がりに設定する必要はないと思います。そういったところも御検討いただければと思います。以上、意見です。

○会長：なるほど、なんだか心が休まりますね。自分で自分の首を絞めるような感じもあって、苦しいところもあるだろうと思います。ただ、この目標の設定は難しいですね。どういうメンバーを入れて、どういう視点で設定していけばいいのかというのが、これから問われるのかもしれないですね。事務局、何かあれば。

○事務局：はい。本日お出ししたこの資料4については、いただいた御意見をもとに再度内部で議論しまして、確定することにいたします。再度御提示した上での確定という方向で、作業を進めたいと思います。

また、今の段階で1ヶ所表現を変えたいと思っている箇所があります。3ページ、大きな項目の3番なんですけれども、「障害を持った方」とあるところを「障害のある方」と表現を訂正したいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

○会長：はい。

○委員：私も思っていたところなんですけど、表現の仕方についてです。例えば、来館者数は参考値より大分上に設定されているんですけど、中央図書館が既に混雑している状況で、これ以上来館者を増やすのでしょうか。ユーザーとしては、来館者が多すぎて居心地が悪くなってしまっているのではないかと心配があります。仰るように、目標値を高く設定することだけが図書館の発展に繋がるのではないということは同意見です。

また、2-2の年間開館日数と年間開館時間、新規登録者数については、参考値よりも低く設定されているわけなんですけれども、目標値の設定理由として、開館日数を増やすとかそういう表現をされていますので、設定値と説明が合っていないように感じました。

○会長：事務局、いいですか。

○事務局：はい。明確な回答になるかわからないんですが、確かに今御指摘いただいた年間の開館日数と開館時間のところなんですけど、これが増えればサービスが向上するかどうかという、おそらくイコールではないと思います。アウトプットではなくてアウトカムと言われるように、利用者の満足度はどうしたら上げられるか、ニーズに沿ったサービスがどうしたらできるかという視点が必要かなと思います。ただいまの御意見も参考に見直しをかけていきたいなと思います。ありがとうございました。

○会長：はい。ありがとうございました。では4番はここまでにして、次の資料5の方へ行かせていただきます。蔵書点検報告について、資料5を参照しながら、お願いします。

[資料5 事務局説明]

○会長：はい、何かございますか。なければ次の項目でいいですかね。議題の6、GIGA 端末を活用した市内小中学校における電子図書館の利用促進事業について、先程小学校の方からもありましたけれども、資料6に沿って、事務局説明をお願いいたします。

[資料6 事務局説明]

○会長：はい。小中学校における、ということなので、もう一度、学校関係の委員さん。委員、お願いします。

○委員：先程も申し上げたんですが、やはりこのサービスが始まってから、非常に子どもたちの中での読書に対する意欲が変わったりですとか、或いは自分で読んでみようという意識に繋がっていたかなと私たちの方ではとらえております。

また、この資料6の「今後の展望」の中でもございますが、資料の充実ということで、子どもたちが、例えば、文学作品の別の作品を読みたいというのもあったりですとか、或いはその文学作品の作者について知りたいので、その伝記みたいなものを今度読みたいというのであったり、そこで子どもたちの学びがさらにそのきっかけから広がっていくようなサービスの充実になっていくとありがたいと思っております。

あとは我々の方、教職員の方がサービスを学習を充実するためにどう使えるかということについて、もっと私たちの方が学んでいく必要があると思っております。引き続きどうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。

○会長：はい。それでは、委員。

○委員：今後の展望のところに書かれてますとおり、いかに継続させていくのかというのは大変なところかと思っております。学校現場を考えた際に、これが一過性のものに終わらないようにするためには、教員がどのように活用していくことが望ましいのかということ、しっかりと学ん

でいくこと。その中でやはり新たな課題が出てくると思います。

例えば電子図書も一般図書もそうなんですが、誰かが借りていると借りられない。1冊の本を同時に読む人数には限りが出てきてしまいますので、そこら辺の問題が少しずつわかってきているところなので、学校で明らかになった課題などをこういった場で共有させていただいて、今後の図書館の充実につなげていただければと思っております。よろしくお願いします。

○事務局：お2人からの貴重な御意見、ありがとうございました。図書館の基本的な業務の中に学校図書館との連携があります。やはり子どもたちにとって一番身近な図書館は、学校図書館、学校図書室だと思います。その充実とあわせながら、中央図書館としてどのようなアプローチで、どのようなことができるのかということ、引き続き模索しながらやっていきたいと思っています。これは教育局内で十分な連携をとりながらということですね。そういうところも意識しながら、ぜひ現場の先生方の率直な御意見を伺いながら進めていきたいと思っています。引き続き御意見を賜ればと思います。よろしくお願いします。

○会長：私あんまりわからないのでちょっとお聞きするんですが、タブレットを持っていれば、自宅でも読めるの？ 学校だけじゃなくて。ただし、誰でも読めるわけではなくて、数に限りがあるんですね、今のところ。わかりました。では、学校と連携をとって進めてくださいね。他にありますか。はい、お願いします。

○委員：御説明ありがとうございました。学校との連携ということで電子書籍の利用、それから学校図書室の一般開放など、連携が非常に強化されていて、素晴らしいなと感じております。新しいことをされるのに学校の先生方本当に御苦労いただいていると思うんですね。でも、子どもたちは大人が思っている以上に、大人の背中を見ていて、子どもたちのために新しいことに取り組んでいらっしゃる背中も、自分たちのためにチ

チャレンジしてくれているんだということを感じていると思うんですね。

私自身もちょうど子ども時代に、学校で初めてコンピューター教育がスタートして、当時小学校4年生だったんですけど、モデル事業としてたくさんの方がお越しになって見学していただきながら、新しいプログラムで勉強したという記憶があります。大人たちが自分たちのためにやってくれているということは自己肯定感にすごく繋がって、自分たちは大切にされてるんだという意識を持ちましたし、このつくばのまちへの愛着が非常に高まりました。子どもたちが今後大人になって、このつくばのまちを支えてくれるのではないかと思うので、新しい事業についてもぜひチャレンジをしていただけたら嬉しいなと思います。

2点ありまして、まず1点目として広報をぜひ充実していただきたいと思います。と言いますのは、先程から委員さんの御質問からもありましたけれども、本当に今図書館を取り巻く環境って激変しているので、でも図書館というのはもう老若男女全員が通ってきた道なので、自分の知っている図書館がその方の図書館だと思うんですね。でも実際には今、例えば視聴覚資料の利用のされ具合とか、サードプレイスとしての求められていることとか、図書館の現状自体も大きく変わっていますし、つくば市が改めてどういう図書館を目指していくのか、子どもたちをどういうふうに育てていくのかというゴールを常にお示しいただいて、学校関係者や保護者以外の方も目に触れるような形にさせていただけるといいのかなと思います。触れ合いライブラリーパークの構想も拝見しましたがけれど、共有していくことで、皆の理解を得られて事業が円滑に進んでいくのではと思います。

2点目は、先程校長を務める委員からも現状のお話がありましたけれども、他市町村の図書館でもやはり、ニーズに応えるには予算が不足していて、コンテンツの不足ですとか閲覧の上限数があるというところが課題になっ

ている様子というのは拝見しているんですが、つくば市としては現状どのような状況なのか、課題についても教えていただければと思います。

○会長：はい。ありがとうございました。

○事務局：今の御質問は、予算としてのお話ということでしょうか。先程管理係長の方からも御報告させていただきましたように、電子図書館については企業版ふるさと納税でいただいたものを活用させていただくということで、ある程度確保できております。また、資料費についても、ここ数年増やしてはおります。市全体として大変厳しい状況は当然あるんですけれども、資料費の充実については議会からも理解していただいているので、増やすことができている状況にあります。ただ、これは今までもお伝えしたかと思うんですけども、年間大体2万冊ほど購入しております。ただ、購入した本は棚に並べなければいけないんですけども、実は棚のキャパシティは既にもう目一杯です。仕方なく2万冊近くを毎年除籍して、それを学校や交流センター等の公共施設にまず配布して使っていただく。それでもまだ若干残りますので、それを市民の方に持って行っていただくリサイクル事業をやっております。

予算はありがたいことに、毎年毎年少しずつではありますが増やしてはおります。しかし、昨年から予算が1.2倍になったからと言って、買える冊数も1.2倍になるかというのと、そうではありません。冒頭の教育長の御挨拶にもありましたように、本自体の単価が上がっているので、見た目の予算は増えてはいますけども、実際に買える本というのは、それほど増えてはいないというのが現状です。

○会長：ありがとうございました。では、資料7の方に移ります。(7)、令和5年度利用者満足度調査について、事務局お願いします。

〔資料7 事務局説明〕

○会長：膨大な資料ですけれども、御意見をお願いします。はい、委員お願い

します。

○委員：今回からインターネットで回答できるようになったということで大変素晴らしいことだと思います。特に普段図書館に来館しない方の意見が聞けたのはすごく重要だったと思います。

それにも関わるんですが、来館ということに対しては、私の個人的な意見としては、もっと交流センターの図書室に利用者を分けて、中央図書館の比率を減らしたらいいんじゃないかと思っております。16ページの「今後の課題」のところで、今後の調査では利用者が図書館に居心地良く滞在するための要素について具体的に設問を設けたいと書かれていて、そこはすごく重要だなと、期待しているところです。

それと2つ目の広報の不足について、すごくそれも課題だなと思っておりますが、一利用者としては、口コミを活用するといいいのかなと思えました。身近な人に「図書館こうだよ」みたいに伝えていくことで図書館に協力できるのではないかと思っております。地域文化のボランティアをやっている者としては、もう少し何か市民が参加しやすいイベントを考えて、イベントに参加してもらって図書館を知ってもらうという方法もあるのかなと思います。アンケートには毎年期待しております。どうもありがとうございました。

○会長：事務局、何かありますか。

○事務局：今いただいた意見の中で交流センター図書室の利用を増やしていくということで、今考えられるのは今よりも交流センター図書室の魅力を高める、利便性を高めるということが、おそらく利用増に繋がるかと思っておりますので、具体的に今ここをこうしようというのは、まだお伝えできる段階ではないんですけれども。

今、交流センター図書室は、あくまでも交流センターの図書室なんですね。機能としては分館的機能を持っておりますが、図書館法に定める図書

館ではないので、そういったところも条例規則のお話で、そういうところも含めてトータルに検討をしているということは、お伝えできるかと思えます。

○会長：はい。それでは、予定されていた議題が全部終わりました。最後10分ほど残っておりますので、フリートークを兼ねてお話ししましょうか。

○委員：利用者満足度のアンケートに関してなんですが、図書館を利用していない人へのアプローチとして、図書館に来て欲しい層に絞って別にアプローチしていくことも一つの手段ではないかなと思いました。例えば子育て世帯であったり、若い方に利用して欲しいという方針があれば、大学も近くにありますが、筑波大生も近く居住している若者ととらえられると思いますので、大学と連携して学生へアプローチして、意見を求めることもできるのではないかと思いました。

また、自由意見として書かれていた内容で、美術館との共存ではなく、別の建物として建設したほうがいい、というのがあって、反対に、美術館と合同で何かイベントや展示を行えば、一緒の建物にあることを利点して発揮できるのではないかと思いました。

○会長：事務局、何かありますか。

○事務局：貴重な御意見ありがとうございました。確かにそうですね。同じアプローチの仕方では色々な利用者層には多分届かない、というわけですね。ちょっと何か工夫して、研究していきたいと思えます。

それから筑波大学との連携というところでは、御存知の方もいらっしゃると思うんですが、筑波大学附属図書館との協定を結ぶことができまして、今も定期的に協議をしたり、互いに本の取り寄せをやすくしていたり、そういった形の連携は既に行っているところです。ただ具体的に学生にアプローチしていくという点では、まだ不十分かなと思えます。またいろいろ

ろアイデアがありましたらいただければと思います。

あと最後に美術館との連携なんですけど、同じ建物内に美術館がありながら、どれだけうまくお互いの持っている資源を活用できているかというところ、確かに疑問が残るところがあります。ただアルスがオープンした時には、今もそうですけども美術書を比較的多く入れているとかですね、オープン当時に美術館の展示に合わせた、図書館が便乗した形での展示とかですね、そういったところもやっておりました。しかし、美術館の方もオープンの時と少し状況が変わってしまっていて、基本的な美術館の企画展があまりないんですね。いわゆる貸しギャラリーになりつつある。それは県の方針だと思いますので、必ずしも今やっている美術館の展示と図書館がコラボできるかというところ、難しく、美術館はあくまでも1週間単位で時間貸しで入っているから、なかなかその辺の連携がちょっと取りにくいなと思っております。

ただ、せっかく同じ建物の中に美術館があるので、それを局所的に生かしながら蔵書のラインナップを少し考えてみたりとか、そういう工夫はできるかなとは思っております。以上です。

○会長：はい。こういうことを言うておきたい、こういうことをお願いしたい、こうだったらいいな、ということをお自由にどうぞ。分野は何でも構いません。はい。

○委員：利用者満足度調査というのがありますけど、私ボランティアをやっている身として、ボランティアの満足度というのを知りたいと思っております。リピート率って言うんですかね、一応ボランティアは登録したけど、入ってみたらちょっと思っていたのとは違ったから来年はもう登録しないわ、とかそういう、ボランティアの方たちの気持ちが聞きたいというのがあります。

○会長：これについては、回答はいいですか。はい。

○委員：はい。ヨモッカファンでございます。先程ターゲットを絞ってという御意見がありましたが、今回のヨモッカは40代ということでターゲット絞って書かれていて、例えばこれが学生さん向けの内容になって、その簡易版が筑波大学に置かれていくとかいいんじゃないでしょうか。

先日、読書コミュニケーションというテーマで子育て中のお母さんたちにお話しさせていただいたら、「絵本ってどうやって入手すればいいですか」と言われて。図書館があるのに、子育て中の方で絵本を借りる場所としての図書館という意識がない方が多いということに気が付きました。例えばヨモッカのテーマを子育てとして、子育て支援の内容でアプローチするというのも素敵だと思います。

○会長：はい。さらにどうぞ、まだまだ大丈夫ですよ。はい、どうぞ。

○委員：電子書籍が学校で利用できるようになって本当に良かったなと思います。調べ学習の現場もかなりGIGA端末を持つことによって変わったということで、その中で図書資料の活用等にアプローチできるチャンスなのかなと思いました。

ただ、2月にとあるシンポジウムに参加したんですけれども、電子書籍の活用方法というものを先生や児童たちに指導したり、方法を開示して、何か提供していったりするような研修が不足している、というお話を聞いたんですね。やはり一過性の利用に終わってしまわないようにそれを生かしていく方法というのは、先生方もまだ多分御存知ないし、学校司書たちも、これをじゃあどう生かすの、どんな方法でどんな資料を使えば子どもたちに役立ててもらえるのという悩みはすごくあるので、そういう研修プログラムみたいなものを、せっかく筑波大学さんがいらっしゃるのだし共同で提供というか、研究も含めて、何かそういうチャンスを生み出している機会があればいいな、ということをお願いしています。願い事です。

○会長：はい。

○委員：また少し元に戻ってしまうんですが、昨年の協議会で出た話で、電子図書ってお金がすごくかかるということを知ったんですが、紙の本ってすごく大事だし、電子と紙って全然違うものだと思うんですね。図書館の予算として大体でいいんですけど、もし目処があれば教えてもらえますか。電子としては、学校での GIGA 端末の話もあってすごく広がっているように聞こえるんですが。

2万冊って仰ったのは、あれは電子と紙関係ない数字ですか。それとも、その中に入ってるんですか。どのぐらいの比率を考えてらっしゃいますか。

○事務局：比率の目標のような、具体的な数字は定めてはおりません。図書館全体の考えではなくて個人的な考えが入ってしまうんですが、電子書籍はツールの一つにしか過ぎないと思っています。我々司書からすると図書館に来て欲しいです。先程委員からありましたが、一つの小説を読んだらその作家に興味を持って違うものに行ってみようとかって、本との出会ってやはり本が並んでいるところに来ないとしづらいものだと思います。電子書籍だと、検索をしたり、或いは何かトップページに並ぶおすすめとか、友達からの情報とか、そういうものからしか選べないと思うんです。実際図書館とか本屋さんに行くと、自分が今まで出会ったことのない本がいっぱいあるので、やはり一番重要なのは図書館の棚のラインナップ、どういうものをそろえていくかというのが、我々司書の仕事、力量の見せ所でもありますし、皆さんにサービスの提供をしたいんですよという志の一つの表れだと思うので、そういうところは意識していきたいと思っています。

電子書籍が伸びているから必ずしもそればかり増やしていこう、というのではなく、当然ある程度増やすことはあるとは思いますが、紙の媒体の本が、電子書籍にすべてとって変わるということはないと思っています。現在ある図書館の棚、こちらを大事にしていきたいなと意識して仕

事しているところではあります。

○委員：安心しました。全然違うと思うんですね。私も電子書籍を読んだりしますが、実際の紙の本を読むのとは全然違う体験。私はそう思っているんですね。やはり図書館の場で本棚を見て、いろいろ調べるといのがすごく大事だと思っています。ただそれをどうやって子どもたち、ないし、電子のものにばかりに行ってしまう人たちにわかってもらえるか。やはりここって図書館が狭すぎるので、大きい、新しいものを建てたい、必要だと思っている市民の1人として、安心しました。

○事務局：すみません、補足させていただきますが、電子書籍を全く否定するものではありません。例えば先程ありました読み上げ機能や画面上での拡大縮小機能だとか、紙の本だと読書が困難な方にとってはいいものですので、全く否定するつもりはありません。

しかし、やはり図書館懇話会の提言の中にも、人と人、人と本、本と本の出会いというキーワードも入っていますし、本から本に伝わっていく世界もあると思います。そういったサービスは、図書館として必要なものだなとは思っています。以上です。

○会長：はい。では、次で最後で。

○委員：一つよろしいですか。団体貸出という形で、学校との連携を増やしていくようなことができたらいいなと思っています。私は実際には自分が在籍した学校でそのようなことをやっていたんですね。毎月1回、図書館さんの方で、分館なんですけども、用意していただいた本を学校に持って行って、各学年の教室で分けて、また期日が来たら詰めて、お返しする。そこではまた次の本が用意されてるというやり方でやっていたことがあって、とても良かったんですね。こういったことで、電子書籍もつくばらしくて素晴らしいことですが、団体貸出の利用を推進できたらいいなというふうに思いました。

それから前にも申し上げたんですけど、本というのはモノですが、それを受け渡しをするのは人だということです。今事務局から、人と人という言葉もあったんですけど、いつも館長さんがすごくこやかでいらっしゃるんで、職員の方のチームワークがとてもいい感じで、いろんなことを進めてらっしゃるなと思っているんです。下のカウンターのところでも、本の受け渡して本当に一瞬なんですけども、そこで笑顔で渡していただいたりとか、こちらもありがとうございますなんて言いながら、お返ししたりとかという。ほんのちょっとなんですけど人と人の触れ合いみたいなところで図書館の雰囲気を感じられて、いつもこの図書館がいいなと思っています。男性の方も最近カウンターの中に入っているようですよね。これからも笑顔でやりとりができるように、ぜひよろしく願いしたいと思います。

○会長：はい。時間になりました。もしもし、聞こえますか。

○委員：はい。特にございません。ありがとうございました。

○会長：はい。それでは一応議事1番から8番まで終わりました。ありがとうございました。事務局の方にお返しします。

7 閉 会

○事務局：はい。会長ありがとうございました。以上をもちまして、令和6年度第1回図書館協議会を閉会いたします。委員の皆様、誠にありがとうございました。

令和6年度（2024年度）つくば市立中央図書館重点事業

1 サービスポイントの拡充

昨年度の研究学園小学校に続き、みどりの南小学校図書室等の地域開放を実施します。そのほか、利便性向上のため、返却ポストの増設を行います。

これにより、配送業務が増大するため、配送車両を増やし対応していきます。

2 電子図書館サービスの拡充

電子図書館サービス拡充のため、利用状況を分析するとともに、その収集方針を整理し、コンテンツの充実を図っていきます。

また、小・中学校において GIGA 端末を活用した電子書籍利用を促進するため、学校と連携しながら環境を整備し、児童・生徒の読書推進を図っていきます。

3 自動車図書館サービスの拡充

自動車図書館サービス拡充のため、既存ステーションについて随時見直しを行うとともに、ニーズ調査などを通じて新たなステーションを設定し、利用拡大を図っていきます。

また、ライブラリーピクニックのほか、市内で行われるイベントなどへ自動車図書館で参加し読書推進活動を行うなど、車両の有効活用を図っていきます。

なお、老朽化に伴い1号車の車両更新を行います。

4 中央図書館の施設改修

市長公約にある「図書館懇話会提言書で示された、公園のように自由な図書館『ふれあいライブラリーパーク』の理念を実現する中央図書館の施設改修」事業に着手します。

本年度は、中庭にウッドデッキを設置するための準備作業として、既存樹木を保護するための養生作業を実施します。

合わせて、文化会館アルス外壁改修工事や業務用エレベーターの更新を行います。

5 市議会提言への対応

令和5年10月に、市議会予算決算委員会総務文教分科会（以下、市議会）から、「研究学園都市『つくば市』にふさわしい、新しい中央図書館の建設に向け、構想の検討を行うこと。具体的には、つくば市図書館懇話会による提言書『つくば市図書館の将来構想 2020 ふれあいライブラリーパーク』の内容をもとに、計画を着実に進めることを求めたい。」との提言を受けました。

これに対し、執行部の対応方針として、つくば市図書館懇話会提言書にあるステップアップフローの取組みの検証などを行いながら、新しい中央図書館建設に向けた構想の検討を進めていく旨を回答しました。

令和6年3月、市議会から、「スピード感を持って新しい図書館の建設を進めていただきたい。」との所感が出されました。

これらを受け、新しい中央図書館建設に向けた構想の検討に係る準備に着手します。



令和6年度事業計画（事業・業務予定表）

つくば市立中央図書館

月	業 務 予 定			
	管理係		サービス係	その他
4月	・アルス協議会（毎月） ・施設設備等の修繕、点検（随時）	・文書ファイリング ・前年度利用統計集計 ・資料購入費配分決定 ・選書委員会（毎週） ・発注作業（毎週） ・受入れ作業（毎週） ・新聞廃棄作業（隔月）	・団体貸出、相互貸借（通年） ・インターネット予約による遠隔地貸出サービス（ぶっくびん）（通年） ・図書返却事業（通年） ・出前講座（通年） ・館内見学（通年） ・不用図書の選定、梱包（通年） ・「としょかんの本」春号発行 ・自動車図書館筑波交流センター図書室巡回（6月末まで毎週日曜日）	・ホームページ掲載（随時） ・広報つくば掲載（毎月）
5月			・小学校等新入生新規カード作成 ・ライブラリーピクニック（11日・12日）	
6月		・電子図書館の学校連携開始	・特別整理期間（4日～7日） ・中央図書館蔵書点検実施（4日～7日）	
7月	・「つくば市の図書館概要」発行 ・外壁改修工事開始		・ジュニア図書館員実施 ・中学生職場体験受入れ ・「としょかんの本」夏号発行	・「こどもヨモッカ」第20号発行
8月	・第1回図書館協議会	・みどりの南小学校学校開放用蔵書搬入	・点字イベント実施 ・インターンシップ受入れ ・中学生職場体験受入れ	・「ヨモッカ」第21号発行、区会配布
9月			・自動車図書館後期日程通知	・避難訓練実施
10月	・業務用エレベーター工事開始		・学校訪問ブックトーク実施（～12月） ・「としょかんの本」秋号発行	・みどりの南小学校図書室一般開放開始
11月			・次年度自動車図書館巡回コース及び日程検討 ・科学フェスティバル出展（9日）	
12月		・次年度購入雑誌検討（～3月）	・次年度インターンシップ受入れ決定 ・ぬいぐるみたちのおとまり会実施	・「こどもヨモッカ」第21号発行
1月	・次年度会計年度任用職員募集		・としょかんふくぶくろ実施 ・「としょかんの本」冬号発行	
2月	・第2回図書館協議会 ・次年度会計年度任用職員選考 ・次年度ボランティア募集開始	・雑誌入替作業 ・次年度雑誌スポンサー募集	・特別整理期間（4日～7日） ・4交流センター図書室蔵書点検実施（4日～7日） ・ファーストブック講座募集 ・公共施設向け不要図書リサイクル事業	・「ヨモッカ」第22号発行、区会配布
3月	・利用者満足度調査実施		・自動車図書館次年度前期日程通知 ・ファーストブック講座実施 ・小学校等新入生新規カード作成、取りまとめ通知	・自動車図書館1号車納車

【展示テーマ】「新しいお金の顔」（3月～5月） 「ミライのお仕事 - どんな仕事がしたいですか -」（6月～8月） 「ぼうけん図書館」（7月～8月）
「つくばゆかりの作家たち」（9月～11月） 「鉱物……地球からのメッセージ」（12月～2月）

【その他展示】男女共同参画（6月、11月） 認知症（8月、9月） 自殺予防（9月、3月）

【図書館おはなし会】おはなしぶんぶん（赤ちゃん向け）木曜日及び金曜日 各曜日1回ずつ（※8月は除く）10：30～10：50、11：00～11：20

【ボランティア活動】

①地域資料ボランティア（毎週水曜日） ②修理ボランティア（毎週火・水曜日） ③音訳ボランティア（月3回）

④点訳ボランティア（毎月第3木曜日） ⑤配架ボランティア（随時）

⑥おはなしボランティア おはなし会（毎週土曜日 15：00～15：15、15：30～15：45 第5土曜日がない月は日曜日）

・グループスイミー公演 6月29日（土）11：00～11：40（予定）

・パネルシアターかくれんぼ公演 7月21日（日）（予定）

⑧児童サービスボランティア（随時）

⑨地域文化ボランティア ・おとなのためのブックトーク（第3土曜日 10：00～） ・本好きのためのゆるっとトークルーム（第1土曜日 10：00～）

⑩図書館サポーターボランティア（随時）

令和5年度指標に対する実績評価(最終評価)

資料3

指標の目標年度 令和5年度

評価期間 令和3年度～令和5年度

1 市民サービスに必要な資料を確保し、提供することに関する指標 (4項目)

No.	目標指標	参考値			目標値	R5年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
1-1	所蔵資料点数	482,244点	483,263点	486,240点	490,000点	492,183点	100.4%	利用者の要望や地域の実情に留意しつつ計画的に多様な所蔵資料の整備を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館(自動車図書館含む)及びオンラインで結ばれている谷田部・筑波・小野川・荃崎の4交流センター図書室(以下、「4図書室」という。)で所蔵する資料(視聴覚資料・雑誌を含む)の点数							
評価	司書資格を有する職員で構成する図書選定委員会を毎週開催し、市民からのリクエストも含めた図書の購入について、検討・良質な図書の収集に努めている。令和5年度は目標値の達成に至ってはいるが、中央図書館の所蔵スペースではこれ以上所蔵資料点数を増やすことが困難であるため、4図書室や地域開放学校図書室への配置変えを含めて資料の充実を図る。また、令和4年10月から電子図書館サービスを開始したため、別途電子書籍による資料の拡充も図る。							
1-2	個人貸出冊点数(視聴覚資料含む)	1,236,562点	1,376,860点	1,481,648点	1,450,000点	1,498,017点	103.3%	利用者の多様な要求に応えるよう努め、貸出の増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館(自動車図書館含む)及び4図書室での個人への貸出冊点数(団体貸出を除く)							
評価	令和5年度は年度当初の予定通りに開館することができ、目標値である1,450,000点を達成した。個人貸出冊点数は年々増加傾向にあり、引き続き読書推進や情報発信に努め、サービスの維持向上を図っていく。							
1-3	視聴覚資料貸出点数	52,113点	51,962点	52,270点	85,000点	50,195点	59.1%	視聴覚資料は1点当たりの購入が高額となるため、資料の厳選に努めながら計画的に整備し、貸出の増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	CD・DVD・VHSビデオ等の視聴覚資料の貸出点数							
評価	視聴覚資料の貸出は、近年インターネットによる配信サービス等の影響で伸び悩んでいる。「貸出期間を図書資料と同様に2週間にしてほしい」「予約・リクエストの対象に含めてほしい」等の意見も多数寄せられているため、今後は貸出方法についてニーズに合わせて検討していく。視聴覚資料においては、1点当たりの購入金額が高価になることから、利用状況等を踏まえながら資料の厳選に努め資料の充実と有効活用を図りたい。							
1-4	市民一人当たりの貸出点(冊)数	5.1点	5.6点	5.9点	6.0点	5.9点	97.8%	中央図書館と4図書室の連携を図るとともに、自動車図書館を活用し、市民一人当たりの貸出点数の増を図り、市内全域における図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	市民一人当たりに対する中央図書館(自動車図書館含む)及び4図書室で貸出した資料の点数(視聴覚資料の貸出、団体貸出及び相互貸借借受貸出等利用者に貸出した全ての点数を9/1現在の常住人口で除して算出)							
評価	令和5年度も目標値には届かなかったものの、97.8%の水準まで到達している。引き続きサービスポイントの増設や所蔵資料の維持向上を実施していき、利用の増加に努めたい。また、令和4年10月から電子図書館サービスを開始したため、電子書籍による貸出点数の動向も注視していく。※今回の指標の値には電子書籍の貸出点数は含まない							

2 市全体へのサービスに関する指標 (10項目)

No.	目標指標	参考値			目標値	R5年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
2-1	新規登録者数	5,190人	5,896人	6,820人	6,500人	6,826人	105.0%	転入者や図書館未利用者等に対するピーアールに努め、登録者数の増を図ることで、市民の図書館活用の促進を目指す。
指標の説明	新たに図書館利用カードを作成した人数							
評価	これまで図書館の利用カードを新規登録する人数は増加傾向にあったが、令和5年度は前年度と同程度の人数となった。目標値である6,500人は達成しているが、つくば市の人口が増加していることを踏まえ、更なる新規利用者の登録に向けてPRに努めている。近年サービスポイントの増設、広域利用の開始、電子図書館サービスの開始等の新規サービスを開始し図書館サービスの向上に努めているが、図書館未利用者等に対するPR方法を検討し登録者数の増加に繋げていく。							

令和5年度指標に対する実績評価(最終評価)

資料3

No.	目標指標	参考値			目標値	R5年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
2-2	図書館利用カード利用者数	25,964人	28,342人	30,326人	33,500人	31,111人	92.9%	利用しやすい図書館運営に努め、より多くの市民に図書館資料の提供を図ることで、市民の図書館活用の促進を目指す。
指標の説明	1年間に図書館利用カードを利用して資料を借りた人数(一人の人が複数回利用した場合は一人と計算、団体貸出除く)							
評価	図書館利用カードの利用者数は年々増加傾向にあるが、目標値の達成には至らなかった。利用しやすい図書館運営に努めるとともに、図書館の新規・継続利用につなげるイベント等を企画し、多くの市民の図書館活用の促進を図っていききたい。新型コロナウイルスの影響で近年開催を見送っていたイベント等も順次再開していく。また、電子図書館サービスが開始したことにより、来館が困難な利用者等にも図書館活用の促進を図っていききたい。							
2-3	来館者数	393,375人	435,851人	478,875人	580,000人	455,178人	78.5%	利用しやすい図書館運営に努め、来館者数の増を図ることで、市民の図書館活用の促進を目指す。
指標の説明	中央図書館に来館した延人数							
評価	8月1日及び10月8日～11月30日の間(うち図書館開館日46日)、カウンター機器の故障により計測不可であった。来館者数の一日平均を算出し、開館日数を乗じて年間来館者数を予測すると539,490人程度と見込まれ、年々増加傾向にはあるものの目標値の達成には至っていない。引き続き、来館を促すようなイベントや企画を検討したり、利用者アンケートの結果等から改善できる箇所を改善していくことで来館者の増加を図る。							
2-4	年間開館日数	266日	260日	285日	293日	294日	100.34%	利用しやすい図書館運営に努め、年間の開館日数を増やすことで、市民の図書館利用の促進を目指す。
指標の説明	中央図書館の年間開館日数							
評価	令和5年度は年度当初の予定通りに開館することができ、目標値の達成に至った。引き続き、館内整理日や祝日開館の振替休館等の見直しにより年間開館日数の確保に努め、図書館利用の促進を図る。							
2-5	年間開館時間	2,423時間	2,450時間	2,687時間	2,760時間	2,769時間	100.3%	利用しやすい図書館運営に努め、年間の開館日数を増やすことで、市民の図書館利用促進と利便性の向上を目指す。
指標の説明	中央図書館の年間開館時間							
評価	令和5年度は開館日数の増加に伴い年間開館時間も増加し、目標値の達成に至った。引き続き、館内整理日や祝日開館の振替休館等の見直しにより年間開館日数の確保に努め、年間開館時間も確保していく。							
2-6	返却窓口への返却冊数	119,926冊	142,699冊	159,764冊	130,000冊	187,070冊	143.9%	ブックポスト等を設置することで利用者の利便性の向上に努め、市民の利用の促進を目指す。
指標の説明	4図書室、並木・広岡・大穂・豊里、島名交流センター及び市役所のブックポストに返却されて回収した図書資料の冊数							
評価	令和2年～令和4年までの返却窓口への返却冊数実績値については、年々増加傾向にある。特に、予約本の受取館としてサービスの提供を開始した市庁舎コミュニティ棟(令和4年10月～)やかとりだい交流館(令和5年6月～)に設置したブックポストの返却実績が増加し返却冊数の増加に繋がっている。返却資料の制限や回収・配送頻度等の課題があるものの、引き続きサービスポイントの位置や配送頻度について検討していき利用者の利便性向上を図る。							
2-7	予約件数	131,036件	167,352件	180,325件	150,000件	208,444点	139.0%	図書館窓口のほか図書館ホームページからのインターネット予約の充実を図るとともに、4図書室等を活用した迅速な予約本の貸出サービスに努め、市民の利用の促進を目指す。
指標の説明	中央図書館、4図書室、自動車図書館及びホームページからの予約受付件数							
評価	予約件数は年々増加傾向にあり、目標値に対して139.0%の達成率となった。予約本の受取館として市庁舎コミュニティ棟(令和4年10月～)やかとりだい交流館(令和5年6月～)を増設したことや、電子図書館サービスの提供に伴いWebサービスの年齢制限を撤廃したことで、これまでインターネットから予約申込ができなかった児童の予約件数の増加等が要因として考えられる。令和5年10月から研究学園小学校図書室での図書館サービスの提供も開始したことで、更なる利用者の利便性の向上に努めている。							

令和5年度指標に対する実績評価(最終評価)

資料3

No.	目標指標	参考値			目標値	R5年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
2-8	図書館ホームページへのアクセス件数(簡易検索の検索件数)	371,691件	445,989件	580,449件	390,000件	825,729件	211.7%	図書館ホームページの内容充実と分かりやすい情報発信に努め、市民の理解と関心を高めることで、市民の利用の促進を目指す。
指標の説明	図書館ホームページへのアクセス件数(OPACのトップページで検索をした件数であり、詳細検索等は含まない)							
評価	ホームページでの検索数も年々増加傾向にあり、目標値に対して211.7%の達成率となった。令和4年度に新たに電子図書館サービスが開始となったことや、Webサービス利用において年齢制限を撤廃したこと等、インターネットからできるサービスが拡大されたことでホームページへのアクセスが増加したと考えられる。引き続き、読書推進活動に努めアクセス件数の増につなげたい。							
2-9	図書館情報紙の発行回数	7回	8回	7回	8回	18回	225.0%	図書館情報紙「ヨモッカ」「こどもヨモッカ」など、市民に親しまれる情報紙を定期的に発行し、市民の理解と関心を高めることで、市民の利用の促進を目指す。
指標の説明	市民向けの図書館情報紙の発行回数							
評価	令和5年度の実績として、図書館情報紙「ヨモッカ」及び「こどもヨモッカ」を年各2回ずつ発行したほか、所蔵資料の紹介紙「としよかんの本」を年4回、テーマ別の図書資料や探し方を紹介する情報紙「パスファインダー」を10回発行し(改訂含む)、計18回の発行となった。引き続き、市民に親しまれる情報紙を定期的に発行し、図書館の利用促進を図っていききたい。							
2-10	ボランティア等によるおはなし会等開催回数	23回	104回	152回	100回	192回	192.0%	定期的におはなし会等を開催することで、本に関する関心を高め、読書推進を目指す。
指標の説明	図書館ボランティア・図書館職員が実施したおはなし会・ブックトーク・パネルシアター等の開催回数							
評価	令和5年度は、概ね年度当初の予定通りにおはなし会を実施し、目標値の達成に至った。今後も定期的なおはなし会を実施していき、図書館の利用促進を図る。また、令和5年度はライブラリーピクニックでのおはなし会や科学技術戦略課と協力しオリヒメを用いた遠隔地からのおはなし会(小学校等の夏季休業期間中)を実施することができた。							

3 高齢者、障害のある方及び外国の方へのサービスに関する指標(5項目)

No.	目標指標	参考値			目標値	R5年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
3-1	大活字本の所蔵冊数	2,735冊	2,784冊	2,797冊	3,000冊	2,845冊	94.8%	大活字本の計画的な蔵書に努め、高齢の方、障害を持った方の図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	大活字本の所蔵冊数							
評価	計画的に購入を行い所蔵数は増えてきているが、目標値の達成には至らなかった。読書バリアフリー法が制定され、今後更なる高齢化や多様化が見込まれるため、引き続き計画的な蔵書構築に努める。							
3-2	大活字本の貸出冊数	1,960冊	2,275冊	3,028冊	2,300冊	2,917冊	126.8%	資料の充実とともに、大活字本コーナーの分かりやすい表示やピーアールに努め、高齢の方や障害を持った方の図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	大活字本の貸出冊数							
評価	年々大活字本の貸出冊数は増加傾向にあり、令和5年度も目標値の2,300冊を達成した。蔵書冊数が増えることで、多様な利用者のニーズに合った本を所蔵することができ、貸出冊数の増加にも繋がっていくため、引き続き資料の質の向上に努めていく。また、電子図書館サービスにおいては活字のサイズを御自身で読みやすいサイズに変更することが可能であるため、電子図書館サービスの機能の周知等も図っていききたい。							
3-3	外国語資料の所蔵冊数	11,046冊	11,028冊	11,208冊	12,000冊	11,662冊	97.2%	外国語資料の蔵書数を増やし、多言語サービスの向上を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	英語、中国語、韓国語をはじめ、中央図書館で所蔵する児童書及び一般書の外国語資料数							
評価	計画的に購入することにより所蔵数は増加しているが、目標値の達成には至らなかった。つくば市は、外国人居住者の割合が全国平均よりも高く、今後も外国人居住者数は増加する見込みである。引き続き、外国語資料の購入予算増や積極的な寄贈の受入れにより、所蔵点数を増やしていく。							

令和5年度指標に対する実績評価(最終評価)

資料3

No.	目標指標	参考値			目標値	R5年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
3-4	外国語資料の貸出冊数	10,672冊	10,858冊	11,206冊	12,000冊	11,611冊	96.8%	外国語資料コーナーの配架や外国語による掲示等の充実に努め、外国語資料の貸出増を図り、図書サービスの充実に目指す。
指標の説明	外国語資料の年間貸出冊数(児童書と一般書の合計)							
評価	所蔵外国語資料の充実に進めており、外国語資料の貸出点数については年々増加傾向にある。令和5年度は、目標値に対して96.8%の達成率となっている。今後も外国語資料の充実に努めるとともに、外国語資料を紹介するイベント等を企画し利用向上を図りたい。							
3-5	点字資料の所蔵点数	237点	238点	246点	250点	251点	100.4%	点訳資料の作成及び収集に努め、所蔵点数増を図り、障害を持った方への図書館サービスの充実に目指す。
指標の説明	中央図書館のボランティアが作成した点字資料と購入した点字資料の所蔵点数							
評価	令和5年度は点訳ボランティアによる点字資料の作成を計画的に行い、目標値の達成をすることができた。引き続き、点訳ボランティアによる点字資料の作成を継続的に支援するとともに、計画的に点字資料を購入することでサービスの充実に図りたい。							

4 地域支援サービスに関する指標 (3項目)

No.	目標指標	参考値			目標値	R5年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
4-1	自動車図書館利用人数	12,712人	9,677人	12,316人	14,000人	13,841人	98.9%	自動車図書館のステーションの見直しや蔵書の充実に努め、適切な周期の運行に努め、図書館サービスの充実に目指す。
指標の説明	自動車図書館(3台)の年間貸出人数							
評価	令和4年度から3号車の運行を開始し、令和5年度も新たなステーションの増設等、市内全域への図書館サービスの提供を図ってきた。目標値の達成には至らなかったものの、98.9%の水準まで到達している。市域が広いつくば市において自動車図書館は重要な役割を担っており、引き続きステーションの見直しや自動車図書館の情報発信やイベントへの出展を企画していき、更なるサービスの拡充を図る。							
4-2	自動車図書館貸出冊数	44,415冊	37,244冊	43,337冊	55,000冊	47,583冊	86.5%	自動車図書館資料の充実に努め、利用者のニーズに応じた本を積載して各ステーションを巡回することで、貸出冊数の増を図り、図書館サービスの充実に目指す。
指標の説明	自動車図書館(3台)の年間貸出冊数							
評価	自動車図書館の利用者の増加に伴い、年間貸出冊数も増加傾向にある。目標値の達成には至らなかったものの、86.5%の水準まで到達している。引き続き、利用者層をニーズを反映させた図書の購入、積載図書の選書を行うなど資料の充実に努め、自動車図書館での貸出増加を図る。							
4-3	相互貸借貸出冊数	575冊	1,862冊	1,743冊	1,500冊	1,420冊	94.7%	利用者が求める資料で中央図書館が所蔵していない資料について、他の図書館と連携して利用者に提供することで、図書館サービスの充実に目指す。
指標の説明	中央図書館が所蔵していない資料で、利用者の希望を受けて他市等の図書館から借受けをして貸出しを行った資料冊数							
評価	令和3・4年度と比較して相互貸借の貸出冊数は減少し、目標値を若干下回った。今後も、利用者が希望する資料にアクセスできるよう、制度の周知を図るとともに、潜在的ニーズも掘り起こせるよう情報提供をしていく。							

令和5年度指標に対する実績評価(最終評価)

資料3

5 課題解決支援、ボランティアとの連携、利用者の情報活用能力に関する指標 (3項目)

No.	目標指標	参考値			目標値	R5年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
5-1	レファレンス受付件数	1,389件	1,440件	1,458件	1,800件	1,446件	80.3%	レファレンス能力の向上とレファレンスサービスのピーアールに努め、利用者の情報や知識の獲得、調査研究や調べ学習を支援し、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館カウンター、電話、メール等でのレファレンス受付件数							
評価	近年は1,450件前後で推移しており、目標値には達していない。サービスの周知を図るとともに、研修への参加や職場内研修の時間を確保し、職員のレファレンス能力の向上を図ることで図書館サービスの充実に努めたい。							
5-2	ボランティア登録者数	150人	166人	156人	160人	151人	94.4%	より多くの方にボランティア活動に参加していただけるよう、多様なボランティア活動の機会や場所を提供を図る。また、ボランティアの協力を得ることで図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館の各ボランティアに登録した人数(一人で複数のボランティアに登録している場合は一人で算出)							
評価	前年度からわずかに減少し、目標値をわずかに下回ったが各ボランティア活動は計画的に実施できている。平日活動のグループが多いため、就業している方や学生等は継続的な参加ができず登録できない状況にある。新たなボランティア活動の検討や活動の見直しを図ることで、ボランティアの活動の幅を広げていきできるだけ多くの方が活動できるような機会や場所を提供していく。							
5-3	ボランティア活動者数	1,006人	1,557人	1,906人	2,200人	1,918人	87.2%	多様なボランティア活動の機会や場所を提供することで、市民のボランティア活動を支援するとともに、ボランティアの協力を得ることで図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館の各ボランティア活動に参加した年間延人数							
評価	令和5年度は、臨時休館がなかったことやおはなし会を実施できたことで活動者数の増加につながったが、目標値の達成には至らなかった。令和5年度は、音訳ボランティアに音訳の依頼をしていた資料の廃刊によりボランティア活動の実施が難しい状況となっていた。今後、図書館でのイベント等の実施やボランティア活動の方法を検討していき、更なるボランティアの協力を仰ぐ体制を構築していくことで図書館サービスの充実を図っていく。							

6 学校図書館等支援に関する指標 (6項目)

No.	目標指標	参考値			目標値	R5年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
6-1	団体貸出利用回数	103回	120回	126回	200回	100回	50.0%	団体貸出についてのピーアールに努め、学校や公共機関等の団体貸出利用団体の増を図り、学校等における読書活動の推進を目指す。
指標の説明	団体貸出を利用した団体の延利用回数							
評価	近年、増加傾向にあったが、令和5年度は減少し、目標には達しなかった。読み聞かせ用の本等を個人のカードで借りていく利用者も一定数いることから、団体貸出サービスの周知を進めるとともに、利用しやすい環境を整えていく。							
6-2	団体貸出図書冊数	6,912冊	7,212冊	8,187冊	15,000冊	8,703冊	58.0%	団体貸出についてのピーアールに努め、学校や公共機関等への団体貸出しの利用増を図り、学校等における読書活動の推進を目指す。
指標の説明	保育所・幼稚園・小学校・児童クラブ・福祉施設等の団体に対しての図書貸出冊数(1回につき、1団体300冊まで3か月間貸出可)							
評価	増加傾向ではあるが、目標には達しなかった。利用回数の減少に対し、1回あたりの貸出冊数が増加していると考えられる。魅力ある図書を揃えるとともに、選書、貸出、返却のしやすい環境作りを進めていく。							

令和5年度指標に対する実績評価(最終評価)

資料3

No.	目標指標	参考値			目標値	R5年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
6-3	社会科学見学等の図書館見学受入回数	0回	4回	6回	10回	5回	50.0%	読書活動の普及を図るため、受入体制の充実に努め、読書活動の推進を目指す。
指標の説明	保育所・幼稚園・小学校・義務教育学校・特別支援学校等による図書館見学の受入回数							
評価	実施が可能な場合には積極的に受入れを行っているが、依頼が少なく、目標には達しなかった。引き続き、積極的に受入れを行うことで読書推進を図りたい。							
6-4	職場体験学習受入人数	0人	0人	16人	40人	25人	62.5%	読書活動の普及を図るため、図書館の受入体制の充実に努め、読書活動の推進を目指す。
指標の説明	8年生(中学2年生)を対象とした職場体験の場として、中央図書館で図書館業務の体験学習を受け入れた生徒の人数							
評価	令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症の流行により職場体験の受入れを中止していたが、令和4年度からは学校と協議を行い、実施が可能な場合はスケジュールを調整し受入れを行った。令和5年度も目標値の達成には至らなかったが、前年度より受入人数は大幅に増加した。今後も積極的に受け入れをすることで読書推進を図りたい。							
6-5	ジュニア図書館員受入人数	0人	0人	0人	75人	56人	74.7%	読書活動の普及を図るため、図書館の受入体制の充実に努め、読書活動の向上を目指す。
指標の説明	4年生から6年生を対象にした図書館員の業務体験に参加した児童数							
評価	令和2～4年度は新型コロナウイルス感染症の流行により実施しなかったが、令和5年度からは内容を一新し、定員24人×3日間の形式で実施した。参加人数の増加を図るには、定員及び回数を増加し、さらに広報を強化する必要がある。また、当日対応する人員の確保が課題である。							
6-6	学校図書館司書教諭補助員(学校司書)等の研修参加人数	0人	49人	51人	170人	51人	30.0%	学校図書館との連携を強化し、司書教諭や司書教諭補助員(学校司書)の研修等を支援することで、読書活動の推進を目指す。
指標の説明	学校図書館司書教諭補助員(学校司書)及び司書教諭等を対象に実施される研修の延参加人数							
評価	令和5年度は対面で、初任者のみの内容と受講者全体を分けた内容で実施した。現在は学校司書(司書教諭補助員)を対象に1回のみ実施しているが、今後は回数や対象の設定を拡大させることで、さらなる連携を進めたい。							

7 市民満足度に関する指標 (1項目)

No.	目標指標	参考値			目標値	R5年度実績値	達成度	目標値の設定理由
		R2年度実績	R3年度実績	R4年度実績				
7-1	利用者満足度調査の満足度	85%	78%	90%	80%以上	83%	103.8%	図書館利用者の満足度を把握し、利用者の声をサービスに反映させることで図書館運営の向上を目指す。
指標の説明	中央図書館の利用者に対して図書館サービスについて調査を実施し、「満足」「やや満足」と回答した人の割合							
評価	「満足」と「やや満足」を合計した割合は、前年度から7ポイント減少し83%となったが、目標値は達成している。令和5年度から、インターネットを用いて回答可能になったことで、これまでと比較し利用頻度の少ない利用者からも回答を得ることができたため満足度の減少という結果になったと考えられる。図書館の改修に向けた利用者の意見や要望、その他自由記入欄への意見や要望をもとに改善できるところから改善していき、今後も利用者目線での図書館サービス向上を目指していきたい。							

令和6～8年度つくば市立図書館運営上の指標と数値目標(案)

資料4

指標の目標年度 令和8年度

評価期間 令和6年度～令和8年度

1 市民サービスに必要な資料を確保し、提供することに関する指標 (9項目)

No.	目標指標	参考値	目標値	目標値の設定理由
		令和5年度実績		
1-1	所蔵資料点数	492,183点	490,000点	利用者の要望や地域の実情に留意しつつ計画的に多様な所蔵資料の整備を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館(自動車図書館・本庁舎コミュニティ棟・かとりだい交流館を含む)、4交流センター図書室(※1)、学校図書室(※2)等で所蔵する資料(視聴覚資料・雑誌を含む)の点数。電子書籍は別の指標で評価するため除く。			
1-2	受入資料点数	26,600点	28,000点	所蔵資料点数は所蔵スペース的に限界値に近いので、蔵書の入替えを有効に行い、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館(自動車図書館・本庁舎コミュニティ棟・かとりだい交流館を含む)、4交流センター図書室、学校図書室等で受入した資料(視聴覚資料・雑誌を含む)の点数。電子書籍は別の指標で評価するため除く。			
1-3	個人貸出点数	1,498,017点	1,500,000点	利用者の多様な要求に応えるよう努め、貸出の増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館(自動車図書館・本庁舎コミュニティ棟・かとりだい交流館を含む)、4交流センター図書室、学校図書室等での個人への貸出した資料(視聴覚資料・雑誌を含む)の点数。個人貸出の評価をするため団体貸出は除く。電子書籍は別の指標で評価するため除く。			
1-4	視聴覚資料貸出点数	50,195点	70,000点	視聴覚資料は1点当たりの購入費が高額となるため、資料の厳選に努めながら計画的に整備し、貸出の増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	CD・DVD・VHSビデオ等の視聴覚資料の貸出点数			
1-5	市民一人当たりの貸出点数	5.9点	6.0点	中央図書館と4交流センター図書室の連携を図るとともに、自動車図書館やサービスポイント等を活用し、市民一人当たりの貸出点数の増を図り、市内全域における図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館(自動車図書館・本庁舎コミュニティ棟・かとりだい交流館を含む)、4交流センター図書室、学校図書室等で貸出した資料の点数(1-3 個人貸出点数)を9月1日現在の常住人口で除して算出した、市民一人当たりの貸出点数。			
1-6	電子図書館へのアクセス件数	31,836件	50,000件	所蔵スペース的に書籍での蔵書点数が限界に近いので、電子書籍の充実を図ることで図書館サービスの充実を目指す。また、非来館型サービスを提供することにより利用者の利便性の向上を図る。
指標の説明	電子図書館へのアクセス件数			
1-7	電子書籍資料所蔵点数	3,553点	5,000点	所蔵スペース的に書籍での蔵書点数が限界に近いので、電子書籍の充実を図ることで図書館サービスの充実を目指す。また、非来館型サービスを提供することにより利用者の利便性の向上を図る。
指標の説明	電子書籍で所蔵する有効資料の点数(年度末時点)			
1-8	電子書籍資料貸出点数	13,164点	15,000点	所蔵スペース的に書籍での蔵書点数が限界に近いので、電子書籍の充実を図ることで図書館サービスの充実を目指す。また、非来館型サービスを提供することにより利用者の利便性の向上を図る。
指標の説明	電子書籍資料の貸出点数(読み放題パックを除く)			
1-9	電子書籍資料閲覧件数	32,033件	50,000件	所蔵スペース的に書籍での蔵書点数が限界に近いので、電子書籍の充実を図ることで図書館サービスの充実を目指す。また、非来館型サービスを提供することにより利用者の利便性の向上を図る。
指標の説明	電子書籍資料の閲覧件数(読み放題パックを含む)			

※1…4交流センター図書室とは、オンラインで結ばれている谷田部・筑波・小野川・茎崎の4交流センター図書室を指す

※2…学校図書室とは、地域に開放し図書館サービスの提供を行う研究学園小学校図書室・みどりの南小学校図書室を指す

2 市全体へのサービスに関する指標（10項目）

No.	目標指標	参考値	目標値	目標値の設定理由
		令和5年度実績		
2-1	来館者数	455,178人	580,000人	利用しやすい図書館運営に努め、来館者数の増を図ることで、市民の図書館利用の促進を目指す。
指標の説明	中央図書館に来館した延人数			
2-2	年間開館日数	294日	293日	利用しやすい図書館運営に努め、年間の開館日数を増やすことで、市民の図書館利用の促進を目指す。
指標の説明	中央図書館の年間開館日数			
2-3	年間開館時間	2,769時間	2,760時間	利用しやすい図書館運営に努め、年間の開館時間を増やすことで、市民の図書館利用促進と利便性の向上を目指す。
指標の説明	中央図書館の年間開館時間			
2-4	図書館利用カードの 実利用者数	31,111人	33,500人	利用しやすい図書館運営に努め、より多くの市民に図書館資料の提供を図ることで、市民の図書館利用の促進を目指す。
指標の説明	1年間に図書館利用カードを利用して資料を借りた人数(一人の人が複数回利用した場合は一人と計算、団体貸出除く)			
2-5	新規登録者数	6,826人	6,500人	転入者や図書館未利用者等に対するPRに努め、登録者数の増を図ることで、市民の図書館利用の促進を目指す。
指標の説明	新たに図書館の利用カードを作成した人数			
2-6	所蔵館以外への 返却冊数	167,733冊	185,000冊	所蔵館以外の館でも圖書の返却を可能とし、利用者の利便性の向上や市民の図書館利用の促進を目指す。
指標の説明	所蔵館以外(中央図書館、自動車図書館、4交流センター図書室、学校図書室)に返却された図書資料の冊数			
2-7	ブックポストへの 返却冊数	58,500冊	65,000冊	ブックポストなどを設置し圖書の返却が可能なポイントを増やすことで利用者の利便性の向上に努め、市民の図書館利用の促進を目指す。
指標の説明	各ブックポストに返却されて回収した図書資料の冊数			
2-8	予約件数	208,444件	230,000件	図書館窓口のほか図書館ホームページからのインターネット予約の充実を図るとともに、4交流センター図書室等を活用した迅速な予約本の貸出サービスに努め、市民の図書館利用の促進を目指す。
指標の説明	中央図書館、自動車図書館、4交流センター図書室及びホームページからの予約受付件数			
2-9	図書館ホームページ へのアクセス件数	825,729件	900,000件	図書館ホームページの内容充実と分かりやすい情報発信に努め、市民の理解と関心を高めることで、市民の図書館利用の促進を目指す。
指標の説明	図書館ホームページへのアクセス件数			
2-10	図書館情報紙の 発行回数	18回	10回	図書館情報紙「ヨモッカ」「こどもヨモッカ」など、市民に親しまれる情報紙を定期的に発行し、市民の理解と関心を高めることで、市民の利用の促進を目指す。
指標の説明	市民向けの図書館情報紙(「ヨモッカ」「こどもヨモッカ」「とよかんの本」「パスファインダー」等)の発行回数			

新
新

3 高齢者、障害のある方及び外国の方へのサービスに関する指標（5項目）

No.	目標指標	参考値	目標値	目標値の設定理由
		令和5年度実績		
3-1	大活字本の所蔵冊数	2,845冊	3,000冊	大活字本の計画的な蔵書管理に努め、高齢の方、障害を持った方の図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	大活字本の所蔵冊数			
3-2	大活字本の貸出冊数	2,917冊	3,300冊	資料の充実とともに、大活字本コーナーの分かりやすい表示やPRに努め、高齢の方や障害を持った方への図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	大活字本の年間貸出冊数			
3-3	外国語資料の所蔵冊数	11,662冊	12,000冊	外国語資料の蔵書数を増やし、多言語サービスの向上を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	英語、中国語、韓国語をはじめとする外国語資料(児童書及び一般書)の所蔵冊数			
3-4	外国語資料の貸出冊数	11,611冊	12,000冊	外国語資料コーナーの配架や外国語による掲示等の充実に努め、外国語資料の貸出増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	英語、中国語、韓国語をはじめとする外国語資料(児童書及び一般書)の年間貸出冊数			
3-5	点字資料の所蔵点数	251点	270点	点訳資料の作成及び収集に努め、所蔵点数増を図り、障害を持った方への図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館のボランティアが作成した点字資料と購入した点字資料の所蔵点数			

4 地域支援サービスに関する指標（3項目）

No.	目標指標	参考値	目標値	目標値の設定理由
		令和5年度実績		
4-1	自動車図書館利用人数	13,841人	14,000人	自動車図書館ステーションの見直しや蔵書の充実を図り、適切な周期の運行に努め、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	自動車図書館(3台)での年間貸出人数			
4-2	自動車図書館貸出冊数	47,583冊	55,000冊	自動車図書館資料の充実に努め、利用者のニーズに応じた本を積載して各ステーションを巡回することで、貸出冊数の増を図り、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	自動車図書館(3台)での年間貸出冊数			
4-3	相互貸借貸出冊数	1,420冊	1,800冊	利用者が求める資料で中央図書館が所蔵していない資料について、他の図書館と連携して利用者に提供することで、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	図書館が所蔵していない資料で、利用者の希望を受けて他市等の図書館から借受して貸出を行った資料冊数			

5 課題解決支援、ボランティアとの連携、利用者の情報活用能力に関する指標（4項目）

No.	目標指標	参考値	目標値	目標値の設定理由
		令和5年度実績		
5-1	レファレンス受付件数	1,446件	1,800件	レファレンス能力の向上とレファレンスサービスのPRに努め、利用者の情報や知識の獲得、調査研究や調べ学習を支援し、図書館サービスの充実を目指す。
指標の説明	中央図書館のカウンター、電話、電子メール等で受付をしたレファレンス件数			

No.	目標指標	参考値	目標値	目標値の設定理由
		令和5年度実績		
5-2	ボランティア登録者数	151人	160人	より多くの方にボランティア活動に参加していただけるよう、多様なボランティア活動の機会や場所を提供する。また、ボランティアの協力を得ることで図書館サービスの充実に目指す。
指標の説明	中央図書館の各ボランティアに登録した人数(一人で複数のボランティアに登録している場合は一人で算出)			
5-3	ボランティア活動者数	1,918人	2,200人	多様なボランティア活動の機会や場所を提供することで、市民のボランティア活動を支援するとともに、ボランティアの協力を得ることで図書館サービスの充実に目指す。
指標の説明	中央図書館の各ボランティア活動に参加した延人数			
5-4	ボランティア等によるおはなし会等開催回数	192回	150回	定期的にはおはなし会等を開催することで、本に関する関心を高め、読書推進を目指す。
指標の説明	図書館ボランティア・図書館職員が実施したおはなし会・ブックトーク・パネルシアター等の開催回数			

6 学校図書館等支援に関する指標 (6項目)

No.	目標指標	参考値	目標値	目標値の設定理由
		令和5年度実績		
6-1	団体貸出利用回数	100回	200回	団体貸出についてのPRに努め、学校や公共機関等の団体貸出利用団体の増を図り、学校等における読書活動の推進を目指す。
指標の説明	団体貸出を利用した団体の延利用回数			
6-2	団体貸出図書冊数	8,703冊	15,000冊	団体貸出についてのPRに努め、学校や公共機関等への団体貸出しの利用増を図り、学校等における読書活動の推進を目指す。
指標の説明	保育所・幼稚園・小学校・児童クラブ・福祉施設等の団体に対しての図書の貸出冊数(1回につき1団体300冊まで3か月間貸出可能)			
6-3	社会科見学等の図書館見学受入回数	5回	10回	読書活動の普及を図るため、受入体制の充実に努め、読書活動の推進を目指す。
指標の説明	保育所・幼稚園・小学校・義務教育学校・特別支援学校等による図書館見学の受入回数			
6-4	職場体験学習受入人数	25人	40人	読書活動の普及を図るため、図書館の受入体制の充実に努め、読書活動の推進を目指す。
指標の説明	8年生(中学2年生)を対象とした職場体験の場として、中央図書館で図書館業務の体験学習を受け入れた生徒の人数			
6-5	ジュニア図書館員受入人数	56人	75人	読書活動の普及を図るため、図書館の受入体制の充実に努め、読書活動の向上を目指す。
指標の説明	5年生から6年生を対象にした体験型事業「ジュニア図書館員」に参加した児童の人数			
6-6	学校司書等の研修参加人数	51人	170人	学校図書館との連携を強化し、学校司書の研修等を支援することで、読書活動の推進を目指す。
指標の説明	学校司書等を対象に実施される研修の延参加人数			

7 市民満足度に関する指標 (1項目)

No.	目標指標	参考値	目標値	目標値の設定理由
		令和5年度実績		
7-1	利用者満足度調査の満足度	83%	80%以上	図書館利用者の満足度を把握し、利用者の声をサービスに反映させることで図書館運営の向上を目指す。
指標の説明	中央図書館の利用者に対して図書館サービスについて調査を実施し、「満足」「やや満足」と回答した人の割合			

令和5年度 交流センター図書室蔵書点検報告書

1 概要

目的：筑波・小野川・谷田部・荃崎の各交流センター図書室に所蔵している全資料について点検を行い、資料の実際の所蔵状態を確認する。

実施期間：令和6年2月6日（火）～令和6年2月9日（金）

点検対象：小野川・谷田部・荃崎各交流センター図書室の全資料

※ 筑波交流センター図書室については、令和6年2月から6月まで施設改修工事による長期休室のため、点検は実施せず。

点検者：交流センター図書室業務委託職員（※別紙1参照）

点検機器：ハンディターミナル 23台

[内訳] 中央図書館用 20台

各交流センター図書室用 3台

2 作業内容

2月6日： 資料読取り作業

2月7日： 資料読取り作業

2月8～9日：エラーリスト資料・不明候補資料の検索、配送・返却本の返却処理、開館準備

3 蔵書点検結果

不明資料点数：令和5年2月から令和6年2月までの間に不明となった資料の点数（※別紙2参照）

小野川交流センター図書室 28点（所蔵総数：32,215点）不明率：0.09%

谷田部交流センター図書室 12点（所蔵総数：50,211点）不明率：0.02%

荃崎交流センター図書室 11点（所蔵総数：51,347点）不明率：0.02%

日 時	作 業 内 容				システム の使用
	谷田部	荃崎	小野川	筑波	
6日 (火)	蔵書点検 (読取り作業) 10名 Porty 10台	蔵書点検 (読取り作業) 7名 Porty 7台	蔵書点検 (読取り作業) 6名 Porty 6台	休室期間中のため 実施せず	使用可 データの送信をする時は 中央に連絡を入れる
	16:30頃	当日分データ送信	当日分データ送信		
7日 (水)	蔵書点検 (読取り作業) 2名 Porty 10台	蔵書点検 (読取り作業) 7名 Porty 7台	蔵書点検 (読取り作業) 6名 Porty 6台		使用可 データの送信をする時は 中央に連絡を入れる
	16:30頃	読取り作業が発生した場合、当日分データ送信	読取り作業が発生した場合、当日分データ送信		
8日 (木)	不明資料の検索	不明資料の検索	不明資料の検索		使用可 データの送信をする時は 中央に連絡を入れる
	※ 蔵書点検が終了し次第、開館準備に移る。				
9日 (金)	返却処理・開館準備	返却処理・開館準備	返却処理・開館準備		使用可 データの送信をする時は 中央に連絡を入れる
	開館準備	開館準備	開館準備		
※ Portyは中央図書館へ返却(1台は各図書室で保管)					

蔵書点検結果

1 不明資料点数

小野川交流センター図書室	28点	(所蔵総数:32215点)	不明率:0.09%
谷田部交流センター図書室	12点	(所蔵総数:50211点)	不明率:0.02%
荻崎交流センター図書室	11点	(所蔵総数:51347点)	不明率:0.02%

2 分類別不明率

資料区分	小野川			谷田部			荻崎		
	点検対象 (A)	不明資料 点数 (B)	不明率 (B/A) %	点検対 象 (A)	不明資 料点数 (B)	不明率 (B/A) %	点検対 象 (A)	不明資 料点数 (B)	不明率 (B/A) %
一般図書	13,850	16	0.12	24,327	8	0.03	27,466	4	0.01
文庫	2,455	0	0.00	5,018	3	0.06	4,603	2	0.04
コミック	57	0	0.00	1,928	0	0.00	1,594	0	0.00
参考図書	218	0	0.00	441	0	0.00	446	0	0.00
地域資料	360	0	0.00	965	0	0.00	714	1	0.14
市政資料	384	0	0.00	228	0	0.00	310	0	0.00
児童図書	7,509	0	0.00	8,409	1	0.01	9,664	1	0.01
紙芝居	256	2	0.78	356	0	0.00	261	0	0.00
絵本	6,396	6	0.09	7,593	0	0.00	5,415	2	0.04
外国語一般	1	0	0.00	0	0	0.00	1	0	0.00
外国語児童	6	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00
外国語絵本	43	0	0.00	180	0	0.00	28	0	0.00
視聴覚資料	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00
雑誌	470	4	0.85	431	0	0.00	501	1	0.20
児童雑誌	210	0	0.00	335	0	0.00	344	0	0.00
合計	32,215	28	0.09	50,211	12	0.02	51,347	11	0.02

交流センター図書室別年度比較(1)

▲…昨年度より減

1小野川交流センター図書室

資料区分	令和5年度			前年度比	令和4年度			令和3年度			令和2年度			平成31年度		
	点検対象(A)	不明資料点数(B)	不明率(B/A)%		点検対象(A)	不明資料点数(B)	不明率(B/A)%									
一般図書	13,850	16	0.12	▲ 0.07	14,014	7	0.05	14,251	8	0.06	14,279	8	0.06	14,328	6	0.04
文庫	2,455	0	0.00	0.00	2,397	0	0.00	2,344	0	0.00	2,248	0	0.00	2,133	1	0.05
コミック	57	0	0.00	0.00	57	0	0.00	53	0	0.00	17	0	0.00	13		0.00
参考図書	218	0	0.00	0.00	220	0	0.00	220	0	0.00	233	1	0.43	235		0.00
地域資料	360	0	0.00	0.00	351	0	0.00	341	1	0.29	331	0	0.00	327		0.00
市政資料	384	0	0.00	0.00	345	0	0.00	326	0	0.00	254	0	0.00	227	2	0.88
児童図書	7,509	0	0.00	0.07	7,324	5	0.07	7,091	2	0.03	7,014	2	0.03	6,875		0.00
紙芝居	256	2	0.78	▲ 0.78	246	0	0.00	246	0	0.00	241	0	0.00	222		0.00
絵本	6,396	6	0.09	▲ 0.08	6,432	1	0.02	6,309	1	0.02	6,290	2	0.03	6,211	2	0.03
外国語一般	1	0	0.00	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0		0.00
外国語児童	6	0	0.00	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0		0.00
外国語絵本	43	0	0.00	2.33	43	1	2.33	38	0	0.00	38	0	0.00	39		0.00
視聴覚資料	0	0	0.00	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0		0.00
雑誌	470	4	0.85	▲ 0.85	474	0	0.00	488	0	0.00	480	0	0.00	473		0.00
児童雑誌	210	0	0.00	0.54	184	1	0.54	162	0	0.00	150	0	0.00	139		0.00
合計	32,215	28	0.09	▲ 0.04	32,087	15	0.05	31,869	12	0.04	31,575	13	0.04	31,222	11	0.04

交流センター図書室別年度比較(2)

▲…昨年度より減

2谷田部交流センター図書室

資料区分	令和5年度			前年度比	令和4年度			令和3年度			令和2年度			平成31年度		
	点検対象(A)	不明資料点数(B)	不明率(B/A)%		点検対象(A)	不明資料点数(B)	不明率(B/A)%									
一般図書	24,327	8	0.03	▲ 0.01	24,294	6	0.02	23,819	7	0.03	24,061	1	0.00	24,196	7	0.03
文庫	5,018	3	0.06	▲ 0.02	4,836	2	0.04	4,886	1	0.02	5,102	0	0.00	5,021	2	0.04
コミック	1,928	0	0.00	0.00	2,010	0	0.00	1,995	0	0.00	2,099	0	0.00	2,238	2	0.09
参考図書	441	0	0.00	0.00	441	0	0.00	441	1	0.23	442	0	0.00	442		0.00
地域資料	965	0	0.00	0.00	972	0	0.00	966	0	0.00	974	0	0.00	967		0.00
市政資料	228	0	0.00	0.60	336	2	0.60	324	0	0.00	270	0	0.00	227		0.00
児童図書	8,409	1	0.01	▲ 0.01	8,122	0	0.00	7,923	2	0.03	7,713	1	0.01	7,538	2	0.03
紙芝居	356	0	0.00	0.00	344	0	0.00	345	0	0.00	340	0	0.00	315		0.00
絵本	7,593	0	0.00	0.00	7,311	0	0.00	7,023	0	0.00	6,652	0	0.00	6,532		0.00
外国語一般	0	0	0.00	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0		0.00
外国語児童	0	0	0.00	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0		0.00
外国語絵本	180	0	0.00	0.00	180	0	0.00	180	0	0.00	180	0	0.00	180		0.00
視聴覚資料	0	0	0.00	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0		0.00
雑誌	431	0	0.00	0.00	440	0	0.00	431	0	0.00	444	0	0.00	441		0.00
児童雑誌	335	0	0.00	0.00	311	0	0.00	289	0	0.00	266	0	0.00	242		0.00
合計	50,211	12	0.02	▲ 0.00	49,597	10	0.02	48,622	11	0.02	48,543	2	0.00	48,339	13	0.03

交流センター図書室別年度比較(3)

▲…昨年度より減

3 茎崎交流センター図書室

資料区分	令和5年度			前年度比	令和4年度			令和3年度			令和2年度			平成31年度		
	点検対象(A)	不明資料点数(B)	不明率(B/A)%		点検対象(A)	不明資料点数(B)	不明率(B/A)%									
一般図書	27,466	4	0.01	0.01	27,622	8	0.03	27,984	9	0.03	28,814	1	0.00	29,858	22	0.07
文庫	4,603	2	0.04	▲ 0.02	4,586	1	0.02	4,637	2	0.04	4,820	1	0.02	4,734	3	0.06
コミック	1,594	0	0.00	0.00	1,548	0	0.00	1,527	0	0.00	1,509	0	0.00	1,318	0	0.00
参考図書	446	0	0.00	0.00	447	0	0.00	513	0	0.00	518	1	0.19	728	0	0.00
地域資料	714	1	0.14	▲ 0.14	703	0	0.00	701	0	0.00	694	2	0.29	667	1	0.15
市政資料	310	0	0.00	0.00	306	0	0.00	367	1	0.27	316	1	0.32	224	0	0.00
児童図書	9,664	1	0.01	▲ 0.01	9,567	0	0.00	9,241	2	0.02	9,153	2	0.02	8,716	3	0.03
紙芝居	261	0	0.00	0.00	261	0	0.00	261	0	0.00	259	0	0.00	239	0	0.00
絵本	5,415	2	0.04	▲ 0.02	5,654	1	0.02	5,476	0	0.00	5,265	1	0.02	5,022	1	0.02
外国語一般	1	0	0.00	0.00	1	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00
外国語児童	0	0	0.00	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00
外国語絵本	28	0	0.00	0.00	28	0	0.00	28	0	0.00	59	0	0.00	59	0	0.00
視聴覚資料	0	0	0.00	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00
雑誌	501	1	0.20	▲ 0.20	505	0	0.00	517	0	0.00	513	0	0.00	520	1	0.19
児童雑誌	344	0	0.00	0.00	318	0	0.00	294	0	0.00	270	0	0.00	226	0	0.00
合計	51,347	11	0.02	▲ 0.00	51,546	10	0.02	51,546	14	0.03	52,190	9	0.02	52,311	31	0.06

令和6年度中央図書館蔵書点検報告書

1 実施概要

目的：中央図書館及び自動車図書館に所蔵している全資料について点検を行い、資料の実際の所蔵状態を確認する。

実施期間：令和6年6月4日（火）～令和6年6月7日（金）

点検対象：中央図書館の全資料（視聴覚資料も含む）
自動車図書館の全資料

点検者：中央図書館職員・会計年度任用職員（※別紙1参照）

点検機器：ハンディターミナル 32台

[内訳] 中央図書館用30台、自動車図書館用2台、

2 作業内容

6月4日：中央図書館 書架・書庫点検

自動車図書館 車内・書庫点検

6月5日：中央図書館 書架（視聴覚含む）・書庫点検

6月6日：エラーリスト資料・不明候補資料の搜索

6月7日：ブックポスト返却資料及び配送資料の返却処理、開館準備

3 蔵書点検結果

不明資料点数：令和5年6月10日から令和6年6月7日までの間に不明となった資料数（別紙2参照）

総数：504点（所蔵冊数：319,162点）不明率：0.16%

[内訳] 中央図書館資料：452点（所蔵総数：279,710点）不明率：0.16%

自動車図書館資料：52点（所蔵総数：39,452点）不明率：0.13%

データ抽出の都合上、不明資料点数には、貸出処理が漏れたまま館外に持ち出された資料や、意図的に持ち去られた資料の数が含まれる。これらの資料が返却された場合には自動的に不明資料でなくなるため、点検日から日数が経過するにしたがって不明資料点数は徐々に減少していく。

例年、蔵書点検に伴う長期休館の前には特別貸出期間を設定しており、通常より貸出期間を長く設けている。今回の不明資料点数の集計は7月上旬時点で行っており、長期休館前に貸し出された資料は、貸出処理が漏れてしまったものも含めておおよそ返却された状態と思われる。

4 過年度の点検結果との比較

令和元年度から令和5年度までの点検結果との比較及び検討を行う。

① 不明資料点数について

通常、蔵書点検は毎年6月に実施している。しかし、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のために休館対応を行ったため、未実施である。また、令和4年度は、図書館システムの更新に伴う休館の時期に合わせて9月に点検を実施している。

蔵書点検の対象期間が年度によって異なるため、不明資料点数を単純に比較することはできない。点検結果を年度間で比較するため、各年度の対象期間に合わせて月平均不明資料点数を算出した（別紙3参照）。各年度の対象期間は下記のとおりである。

- ・ 令和元年度：平成30年7月から令和元年6月（12か月間）
- ・ 令和3年度：令和元年7月から令和3年6月（24か月間）
- ・ 令和4年度：令和3年7月から令和4年9月（15か月間）
- ・ 令和5年度：令和4年10月から令和5年6月（9か月間）
- ・ 令和6年度：令和5年7月から令和6年6月（12か月間）

各年度の不明資料点数を図1に示す。本年度の不明資料点数は504点であり、令和5年時の348点より156点増加した。

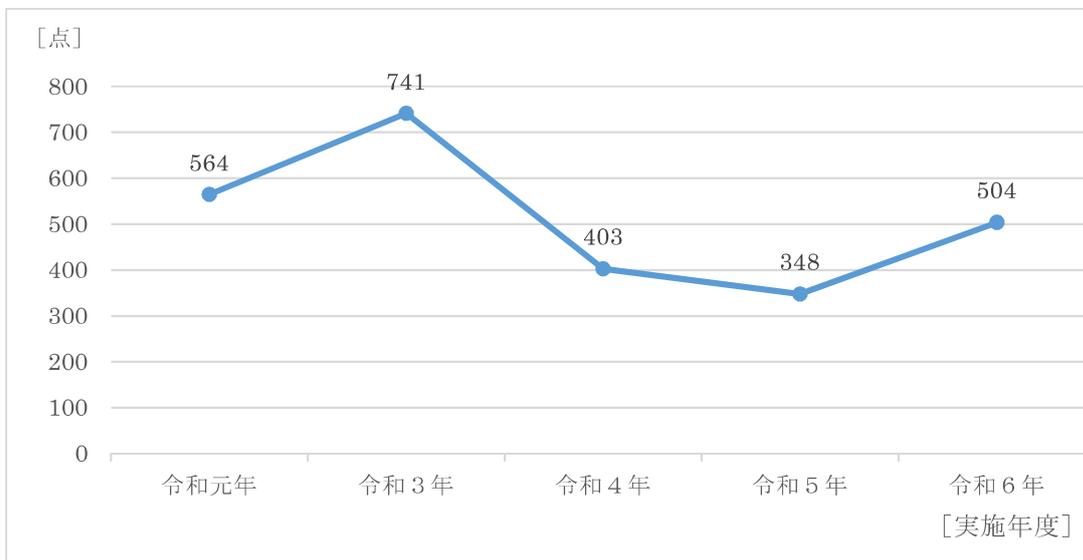


図1 各年度の不明資料点数 ※令和2年度は未実施

各年度の月平均不明資料点数を図2に示す。今回の蔵書点検の対象期間における月平均不明資料は42.0点であり、令和5年度の38.7点より約3点増加した。



図2 各年度の月平均不明資料点数 ※令和2年度は未実施
※小数第2位を四捨五入

② 資料区分ごとの不明資料点数の増減について

別紙2より、前回点検時と比較して特に不明率が増加しているのは「参考図書」及び「雑誌」である。参考図書は0.42%、雑誌は0.20%増加した。他区分についてはおおよそ例年どおりの数値である。

5 不明本の対策について

蔵書点検の結果から、不明となる資料が開架に多かった点（不明資料504点中、開架422点、書庫30点、自動車図書館資料52点だった）を踏まえると、不明資料の多くは利用者による持ち去りによるものと考えられる。当館では、持ち去りが多いと思われるジャンル及びシリーズの資料を書庫で保管したり、人気の高い文庫やコミックなどの資料を職員の目に付きやすいカウンターの前に配置したり、人気のある雑誌の最新号をカウンター内で保管するなどの対策をとっている。また、利用者へのモラルやマナー向上の契機となることを期待して、蔵書点検の結果を中央図書館のホームページに掲載している。

根本的に持ち去りをなくすためには、ICタグ及びBDSの導入が案として挙げられる。しかし、現在のシステムですぐに運用できるものではないため、システム変更の時期に合わせて導入すべきかなどについて検討する必要がある。

その他の対策として、館内の防犯ミラーの設置が挙げられる。ミラーの設置により館内の死角を減少させ、持ち去りの抑止効果が期待できる。

自動車図書館車内及び書庫に関しても、リサイクル事業などを活用して適宜資料の入替えを行い、保管場所の確保や所在管理の徹底をしていく。

GIGA 端末を活用した市内小中学校における 電子図書館の利用促進事業について

1. 事業概要

令和6年(2024年)6月、市内の小中学校の全児童生徒を対象に電子図書館で利用できるIDとパスワードの一斉配布を行い、図書館の利用カードを持っていなくても電子図書館サービスが利用できる環境を整備した。

また、同時アクセスが可能なコンテンツ「読み放題パック」を多数購入し、児童生徒が学校で使用しているGIGA端末(タブレット端末)に電子図書館に関連するリンクを表示させるようにした。これらにより、学校教育における電子図書館サービスの利活用を促進し、新たな一面から児童生徒の読書活動を推進することができる。

2. 実施スケジュール

- 令和6年5月 教員用のID・パスワードを各小中学校に配布
 - 6月 児童生徒用のID・パスワードを各小中学校に配布
 - 6月15日 GIGA端末ポータルサイトに電子図書館のリンクを开通
 - 6月18日 児童生徒用ID・パスワードの利用開始
- ※ システム上は6月1日から利用可能であったため、18日以前に児童生徒に配布した学校において18日以前から利用を開始したところもあった。

3. 利用状況

利用開始前(令和6年5月)と利用開始後(令和6年6月、7月)を比較すると、ログイン数、コンテンツ閲覧数は著しく増加している(表1、2)。

表1 月毎のログイン数 ※1人で複数回あり

	5月	6月	7月
通常利用	2,968	3,311	3,476
小学生	-	18,125	19,724
中学生	-	1,460	1,059
教員	-	321	171
合計	2,968	23,217	24,430

表2 月毎のコンテンツ閲覧数 ※1人で複数回あり

	5月	6月	7月
通常利用 (教員含む)	3,187	3,834	3,885
小学生	-	35,309	38,247
中学生	-	2,098	1,841
合計	3,187	41,241	43,973

また、閲覧されたコンテンツのジャンルの変化を見ると、学校利用の開始後「K：児童」の利用が著しく増加している（表3）。学校利用の開始前後で、電子図書館全体におけるコンテンツの利用状況は大きく変化したと言える。

表3 月毎のジャンル別閲覧数

大分類	5月	6月	7月
0：総記	119	225	115
1：哲学	116	154	180
2：歴史	154	433	447
3：社会科学	305	459	550
4：自然科学	236	542	560
5：技術・工学・工業	262	503	654
6：産業	41	177	139
7：芸術・美術	114	488	415
8：言語	33	103	112
9：文学	931	1,496	1,719
K：児童	876	36,661	39,082
合計	3,187	41,241	43,973

さらに詳細な分類における貸出数については、従来から児童図書及び絵本の利用は多かったものの、6月以降は、日本文学（児童図書）と絵本で1位、2位を独占している（表4）。また、中高生向けコンテンツのジャンルの一つである「YAノンフィクション」についても利用の多さが目立っている。

表4 月毎のジャンル別貸出ランキング

	5月	6月	7月
1位	913 小説・物語	K91 日本文学	K91 日本文学
2位	KE 絵本	KE 絵本	KE 絵本
3位	596 食品・料理	913 小説・物語	913 小説・物語
4位	K91 日本文学	1005 YAノンフィクション	596 食品・料理
5位	K48 動物学	K48 動物学	1005 YAノンフィクション

※ 児童図書・絵本

※ 中高生向けコンテンツ…YAフィクション（物語）・YAノンフィクション（物語以外のジャンル）に分類

4. 今後の展望

小学生、中学生ともに利用は伸びているものの、中学生についてはさらに増加の余地がある。図書館施設の利用だけでなく、電子図書館においても中高生の利用促進については課題である。

また、今回の学校利用が一時的なものに終わらず、継続して利用してもらえるように、今後も資料の充実を図っていく。

令和5年度つくば市立中央図書館 利用者満足度調査報告書

目次

1	実施について.....	2
2	調査結果概説.....	2
3	調査結果.....	4
	(1)回答者の属性.....	4
	(2)質問事項.....	7
	問1 一番の来館目的.....	7
	問2 滞在時間.....	7
	問3 利用頻度.....	8
	問4 図書館に関する情報を主に何から得ているか.....	8
	問5 インターネットサービスの利用状況について.....	9
	問6 中央図書館の閲覧席について.....	11
	問7 これからの図書館に一番求めていること.....	13
	問8 図書館サービスの各項目に対する満足度.....	14
	問9 図書館に対する総合的な満足度.....	15
	問10 その他、図書館への御意見.....	16
4	今後の課題.....	16
別紙	その他、図書館への御意見（問10）.....	18

1 実施について

(1) 調査の目的

中央図書館における利用の実態や満足度を把握し、今後の図書館運営に生かすため、利用者満足度調査を実施した。

(2) 調査対象者

10歳以上の図書館利用者及びつくば市内に在住・在勤・在学する者

(3) 調査期間

令和6年(2024年)3月5日(火)から3月29日(金)までの25日間

※ 3月8日(金)、11日(月)、18日(月)、20日(水)、25日(月)は中央図書館休館日

(4) 調査方法

- 1 中央図書館内 : 中央図書館内正面入り口及び中央カウンター付近にて調査用紙と回収箱を設置。
- 2 インターネット : いばらき電子申請・届出サービスで回答を受付。

(5) 周知方法

- 1 館内掲示
- 2 図書館ホームページ
- 3 つくスマ(通知配信1回)

(6) 有効回答数

167件(中央図書館内:90件、インターネット:77件)

2 調査結果概説

本年度の調査から中央図書館内における調査用紙の設置に加えて、インターネットによる回答も可能とした。得られた回答167件のうち約46%がインターネットによる回答であり、回答数も昨年度の実施時(22日間のうち開館18日間で実施)より約25%増加していることから、インターネットによる調査方法の追加が有効なものであったと考えられる。また、回答者層が例年と比べて変化している。例えば、20代から50代までの回答者の割合が昨年度より約15%増加しており、図書館の利用頻度が少ない人の回答も増加している。

ここ数年の調査によれば、館内での滞在を目的とする利用者の数は減少してきており、館内での滞在時間も短縮傾向にあった。しかし、昨年度の調査においては新型コロナウイルスによる影響が沈静化したためか、1時間以上の長時間滞在者が全体の約16%にまで増加した。今回の調査結果においては、1時間以上滞在すると回答した人の割合が全体の約3割にまで増加しており、滞在時間が全体として長くなっている傾向が見られた。

今回の調査では、次に述べる3問を新しく設けた。まず、問5のインターネットサービス

の利用状況に関する設問では、電子図書館又はインターネットサービスを通じた本のリクエストを利用したことがある人が、回答者のうち3割程度に留まることがわかった(問5-1)。また、インターネットサービスに求める機能について自由記述で回答を求めたところ、資料の予約に関する制限の緩和や、電子図書館のコンテンツ数の増加を希望する意見が多数寄せられた。

次に問6の令和6年2月にリニューアルした閲覧席に関する設問では、閲覧席の利用経験の有無、利用目的、リニューアルに対する満足度について回答を求めた。その結果、回答者のうち約半数に閲覧席の利用経験があり、そのうち半数以上が「図書館の本や雑誌を読む」ことを一番の利用目的としていることが明らかになった。リニューアルした閲覧席に対する満足度については、「わからない」の回答が約6割を占めており、満足に感じている回答者が多い一方で、利用者に対する広報不足がうかがえる結果となった。

次に問7として、これからの図書館に一番求めていることについて択一式の問を設けた。その結果、回答者の約半数が「図書館サービスの充実(資料の充実、サービスポイント)」を選択しており、さらなるサービス充足が求められていることが明らかになった。次いで「アクセスしやすい図書館(駅から近い・駐車場の充実)」「用途に合わせたスペース(サイレント・学習室・おしゃべりスペース・貸会議室)」が選択されており、長年課題となっている駐車場や学習スペースの問題について高い関心が持たれていることが明らかになった。

各サービスに対する満足度についての設問では、例年と比べて特筆する項目はなかった。しかし、所蔵資料の数や種類の項目では「やや不満」「不満」の割合が約4割あり、課題と感じている利用者は多いと考えられる。

最後に、問10として自由記入欄を設けたところ、現在の図書館に対する様々な意見を得ることができた。特に、図書館の新設又は改修を求める意見が多数寄せられており、大規模で利用しやすい図書館施設に対するニーズが高まっていることが明らかになった。また、駐車場や閲覧席、蔵書についてもさらなる充実を求める声は多く、改善に取り組んでいく必要がある。

今回の調査結果をふまえた今後の課題として、(1)滞在型図書館としてのサービスの充実、(2)広報不足の解消、(3)図書館を利用していない人々に対するアプローチが挙げられる。蔵書の充実だけでなく滞在型図書館としてのサービスに対する要望は多いため、今後具体的に検討していく。また、既に実施しているサービスについてさらに広報を行っていくとともに、広報の方法についても改善していく。図書館サービスの改善を図っていく上では、図書館を利用していない人々も含めて広く意見を収集していく必要がある。

3 調査結果

(1) 回答者の属性

ア 性別

	令和5年度		令和4年度	
	(人)	(%)	(人)	(%)
男性	54	32.3	41	30.8
女性	100	59.9	82	61.7
無回答	13	7.8	10	7.5
合計	167	100.0	133	100.0

男女比率は昨年度と比較してほとんど変化はなく、女性が全体の約6割を占めている。

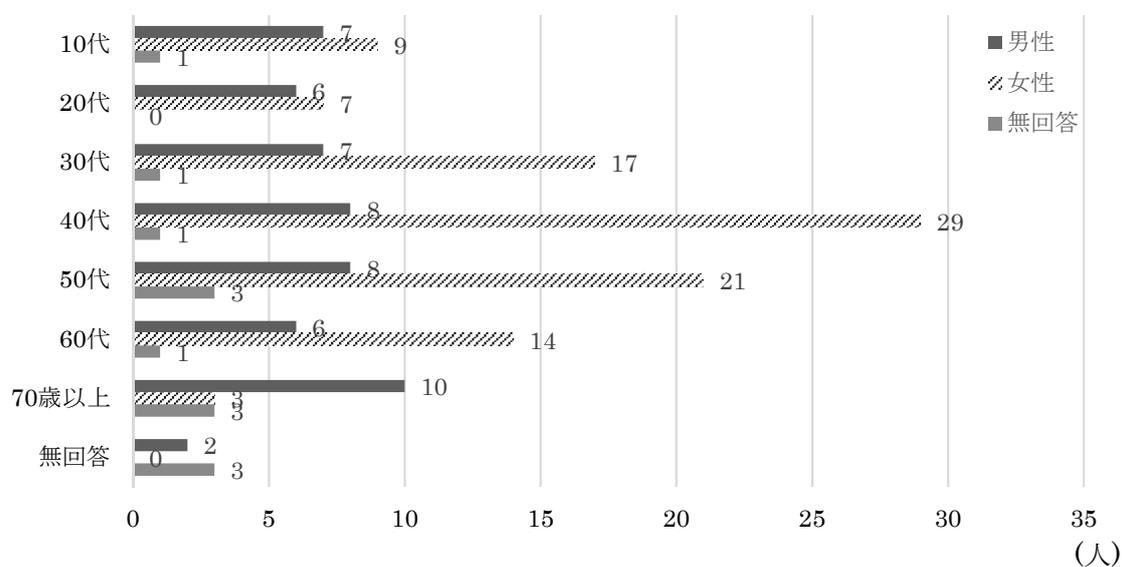
イ 年齢

	令和5年度		令和4年度	
	(人)	(%)	(人)	(%)
10代	17	10.2	23	17.3
20代	13	7.8	3	2.3
30代	25	15.0	17	12.8
40代	38	22.8	24	18.0
50代	32	19.2	22	16.5
60代	21	12.6	15	11.3
70歳以上	16	9.6	16	12.0
無回答	5	3.0	13	9.8
合計	167	100.0	133	100.0

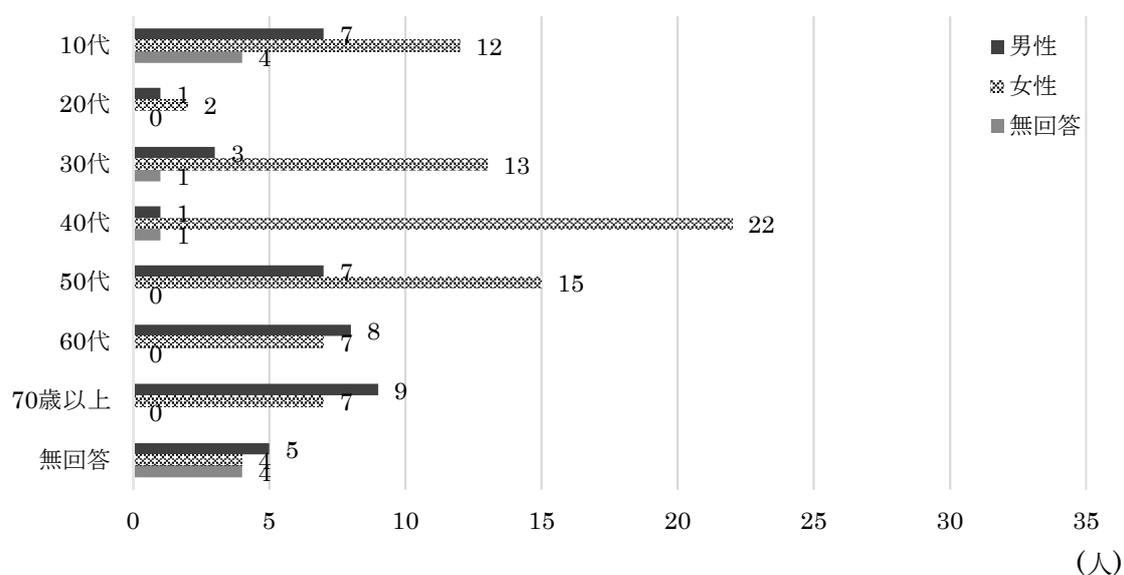
昨年度と比較すると、10代、70歳以上の割合が減少し、他の年代が増加した。

20代から50代までを合わせた割合は、令和5年度は64.8%、令和4年度は49.6%となっており、15.2%増加している。今回の調査からインターネットによる回答も受けられるようになったため、インターネットで回答しやすくなった年齢層による回答が増えた可能性が考えられる。

■ 令和5年度 各年代における性別内訳（計167人）



■ （参考）令和4年度 各年代における性別内訳（計133人）

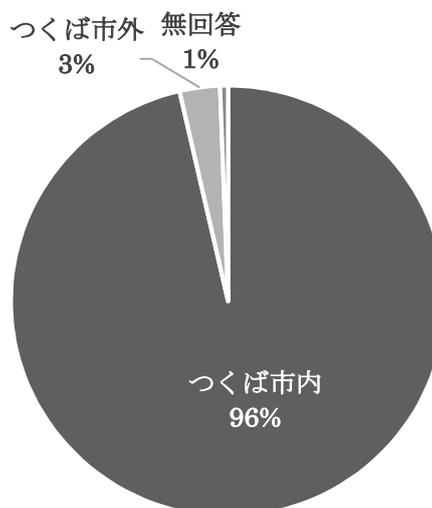


例年同様、回答者の属性としては30～50代の女性の割合が大きく、回答者全体の約4割を占めている（167人中67人）。

ウ 居住地

(人)

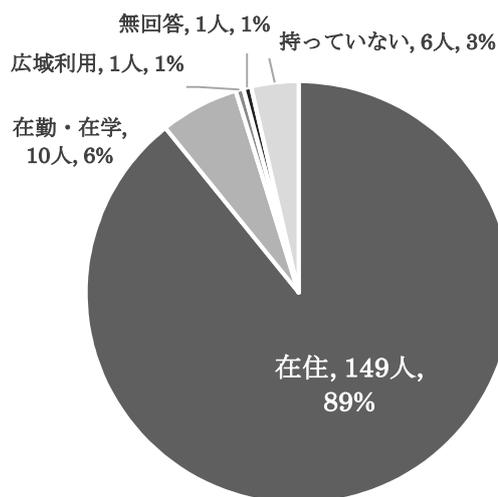
	令和5年度	令和4年度
つくば市内	161	128
つくば市外	5	2
無回答	1	3
合計	167	133



エ 図書館の利用カードの有無・登録区分

(人)

		令和5年度	令和4年度
持っている		161	128
(内訳)	在住	149	-
	在勤・在学	10	-
	広域利用	1	-
	無回答	1	-
持っていない		6	2
無回答		0	3
合計		167	133



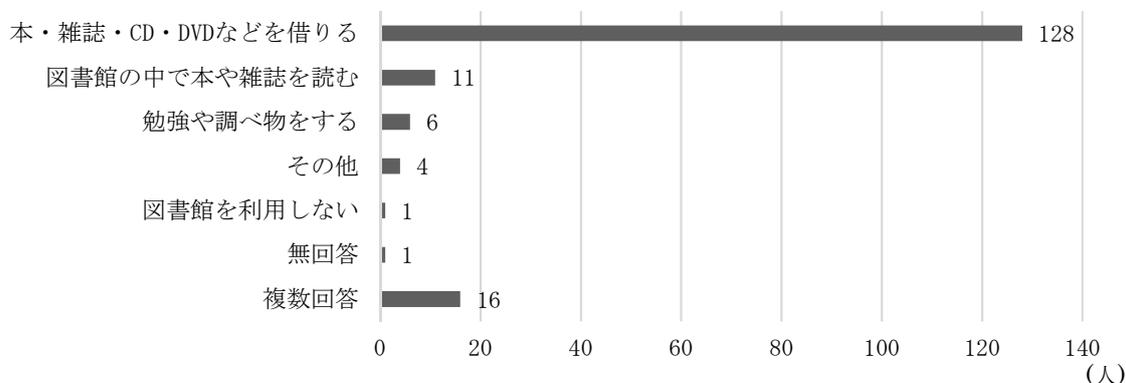
※利用カードの有無及び登録区分, 人数, %

利用カードを持っていると回答した人が全体の約96%を占めており、そのうち149人がつくば市内在住、10人が在勤又は在学、1人が広域利用（土浦市又は下妻市在住）、1人が無回答であった。

利用カードを持っていないと回答した6人は、カードを持っていない理由として「以前登録したが更新していない又は紛失した」（3人）、「登録が必要なサービスを利用しない」（3人）と回答した。

(2) 質問事項

問1 一番の来館目的 (複数回答不可)



※「その他」回答：時間つぶし(1)、子供のために本を借りに来る(1)、新聞の閲覧(1)、DVDの視聴(1)

例年同様、資料を借りることを一番の来館目的とする人が非常に多く、「図書館の中で本や雑誌を読む」「勉強や調べ物をする」など滞在を目的とする利用者は少ない。複数回答のものについても、資料を借りることと併せて他項目を選択しているケースが大半であった。

問2 滞在時間 (複数回答不可)

	令和5年度		令和4年度	
	(人)	(%)	(人)	(%)
10分以内	10	6.0	11	8.3
10分～30分	55	32.9	56	42.1
30分～1時間	53	31.7	39	29.3
1時間～2時間	37	22.2	21	15.8
2時間以上	9	5.4	3	2.3
無回答	2	1.2	3	2.3
複数回答	1	0.6	-	-
合計	167	100.0	133	100.0

昨年度と同様「10分～30分」が最も多いが、割合としては9.2%減少している。一方、1時間以上滞在すると回答した人（「1時間～2時間」「2時間以上」）の割合は、昨年度が18.1%、本年度が27.6%となっており、9.5%増加している。

来館目的に関する設問の回答によれば、滞在を一番の目的とする利用者は少数であった。しかし、「借りて帰る」だけでなく、時間をかけて資料を探したり、館内で閲覧をしたりする利用者が増加していると考えられる。

問3 利用頻度（4交流センター図書室※・自動車図書館等を含む）（複数回答不可）

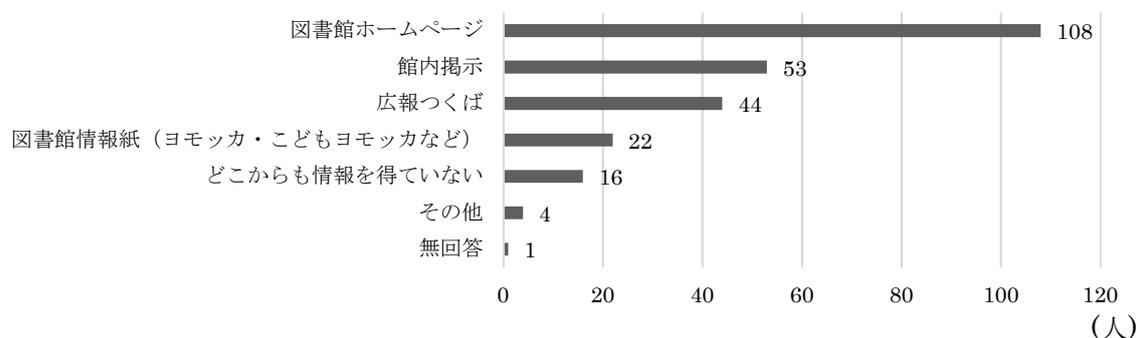
※4交流センター図書室：谷田部、小野川、筑波、荖崎交流センター図書室

	令和5年度		令和4年度	
	(人)	(%)	(人)	(%)
ほぼ毎日	6	3.6	5	3.8
週2～3回くらい	14	8.4	11	8.3
週1回くらい	43	25.7	41	30.8
月2～3回くらい	53	31.7	56	42.1
月1回くらい	28	16.8	16	12.0
年2～5回くらい	13	7.8	1	0.8
年1回くらい	5	3.0	0	0.0
無回答	2	1.2	3	2.3
複数回答	2	1.2	-	-
合計	167	100.0	133	100.0

貸出期間の2週間に合わせて来館すると月2～3回になるため、それ以上の頻度で来館する利用者を定期利用者と考えることができる。定期利用者の割合は、昨年度の85%から減少し、約69.5%となっている。

また、例年と比較して利用頻度の低い回答者が増加しており、「年2～5回くらい」「年1回くらい」の割合は、昨年度の0.8%から10%増加した。インターネットによる調査方法を追加したことにより、図書館の利用頻度が低い利用者からも回答を得ることができたと考えられる。

問4 図書館に関する情報を主に何から得ているか（複数回答可）

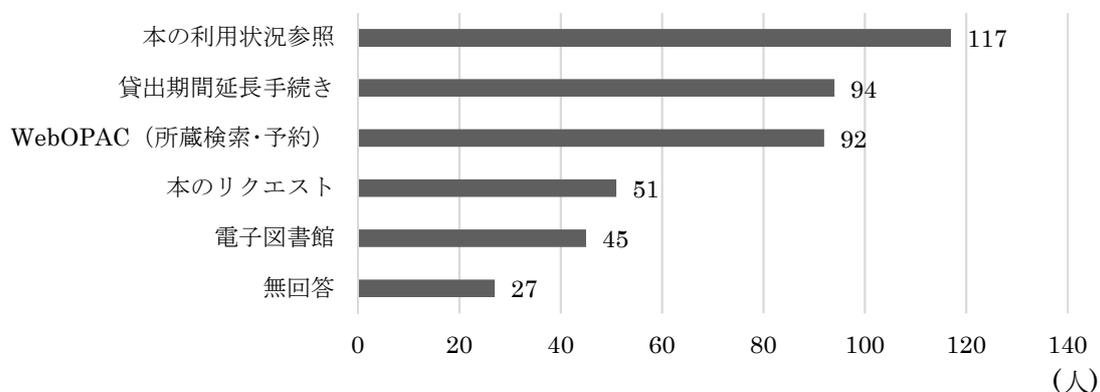


情報収集源については、例年とほとんど変わらない結果となった。ホームページから情報を得ている利用者が最も多く、全体の約65%を占めている（108人）。

昨年度と比較すると、図書館情報紙（ヨモッカ・こどもヨモッカなど）がやや増加し、どこからも情報を得ていない回答者が減少した。

問5 インターネットサービスの利用状況について

問5-1 利用したことのあるインターネットサービス（複数回答可）



無回答を除いた140人のうち、「本の利用状況参照」「WebOPAC（所蔵検索・予約）」「貸出期間延長手続き」を利用したことのある人は半数以上となった。一方、「本のリクエスト」「電子図書館」の回答は3割程度に留まった。

問5-2 インターネットサービスに求める機能（自由記述）

【本の予約・リクエスト】

- 「貸出可」となっている資料も予約したい、取り置きして欲しい（3）
- CD・DVDを予約・リクエストできるようにして欲しい（3）
- コミックを予約できるようにして欲しい（3）
- 書庫にある本を予約できるか、書庫取り寄せリストみたいなものに保存し来館時にカードを読み取ったら確認できるようにして欲しい
(現状はネットで書庫にあると確認しても、来館時にまた検索・印刷している)
- 受取場所の修正ができるようにして欲しい
- つくスマで検索や予約ができるようになって欲しい

【電子図書館】

- 電子図書館の資料を増やして欲しい（5）
- オンラインでなくても読めるようにして欲しい
- オンデマンドサービス、クラシック音楽のオンラインサービス

【貸出履歴・パーソナライズ機能】

- 今まで借りた本のリストを表示したい(4)
→ 利用者自身でブックリストの設定を変更すると、表示可能
- 本のお気に入り機能を追加して欲しい(2)
- 読んだ本の履歴を基に、おすすめの本を紹介する機能

【Web ページの使いやすさ】

- 毎回ログインしなくてもいいようにして欲しい(2)
- 検索結果の画面で「貸出可」となっているも、自分が借りたい館の本は貸出できない場合があり、わかりづらい(2)
- 検索して予約した後に検索画面に戻ることが出来ないのが使いづらい
- 利用者ログインページが探しづらい
- 電子図書館とマイページを統一して欲しい
- 本のリクエストの場所を分かりやすくして欲しい

【図書館からの情報発信】

- 図書館内の現在の混雑状況表示(2)
- 希望するジャンルの新刊が出たらお知らせなどが欲しい
- 汚れ・やぶれの本の報告が欲しい

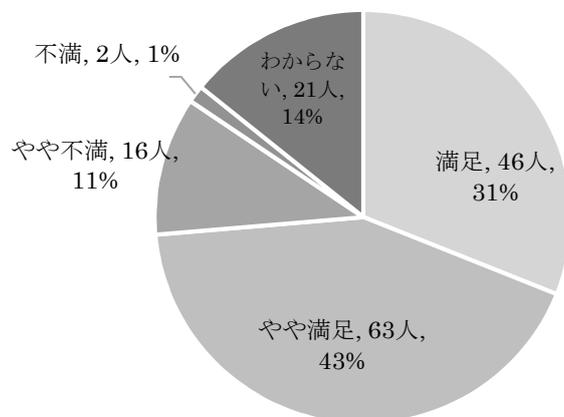
【利用カードの表示・更新】

- 利用カードの更新をインターネットでできるようにして欲しい(2)
- 利用カードを表示できるようにして欲しい
→ つくスマアプリで表示可能

【本の取り寄せ】

- 郵送で貸出・返却手続きができるようにして欲しい(2)
→ 図書送付貸出しサービスで利用可能
- 外部資料の貸出・検索(つくば市以外、海外や県外、大学の資料など)

問5-3 インターネットサービスに対する満足度

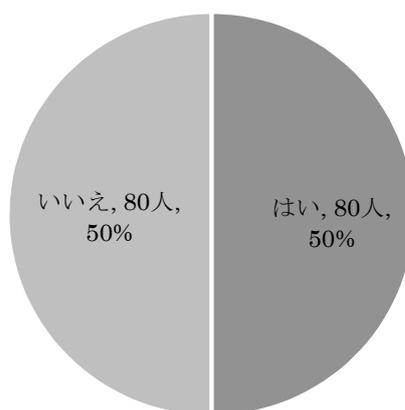


※無回答 19 人を除く
回答, 人数, %

無回答を除く 148 人のうち、「満足」「やや満足」が合わせて約 74%であり、「やや不満」「不満」が合わせて約 12%であった。

問6 中央図書館の閲覧席について

問6-1 閲覧席を利用したことがあるか

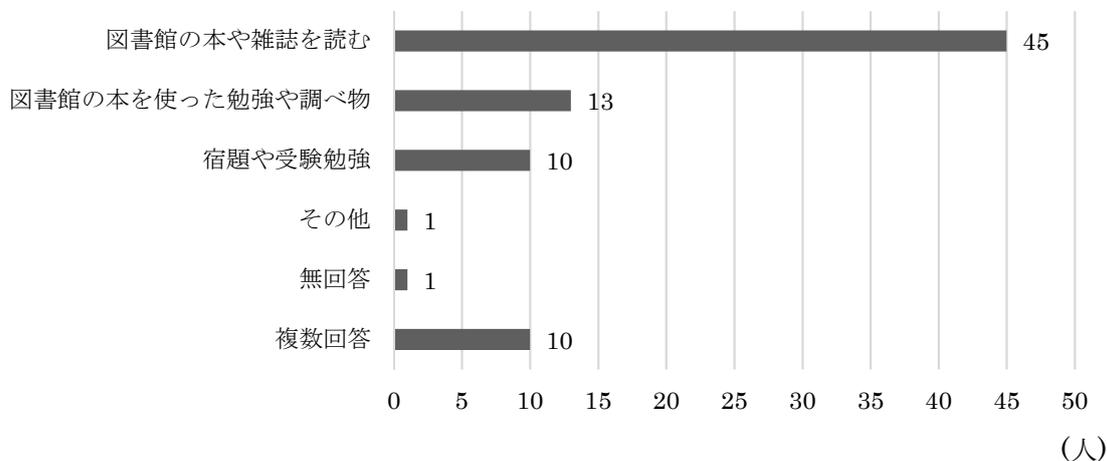


※無回答 7 人を除く
回答, 人数, %

無回答の 7 人を除くと、閲覧席の利用経験の有無で半数に分かれる結果となった。

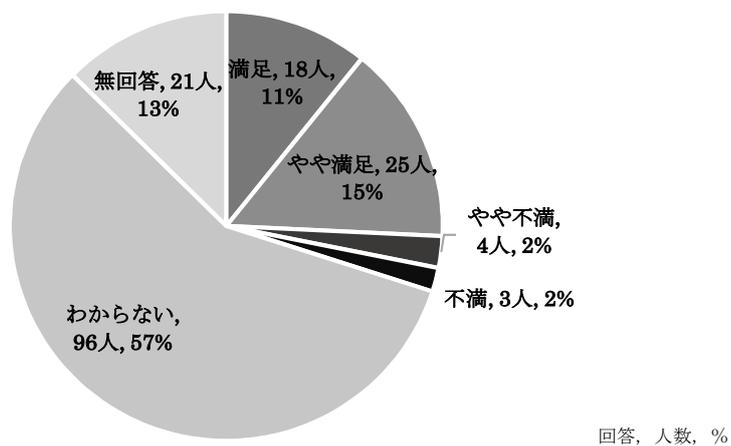
問6-2 閲覧席の一番の利用目的

(利用したことがあると回答した80人の内訳。複数回答不可)



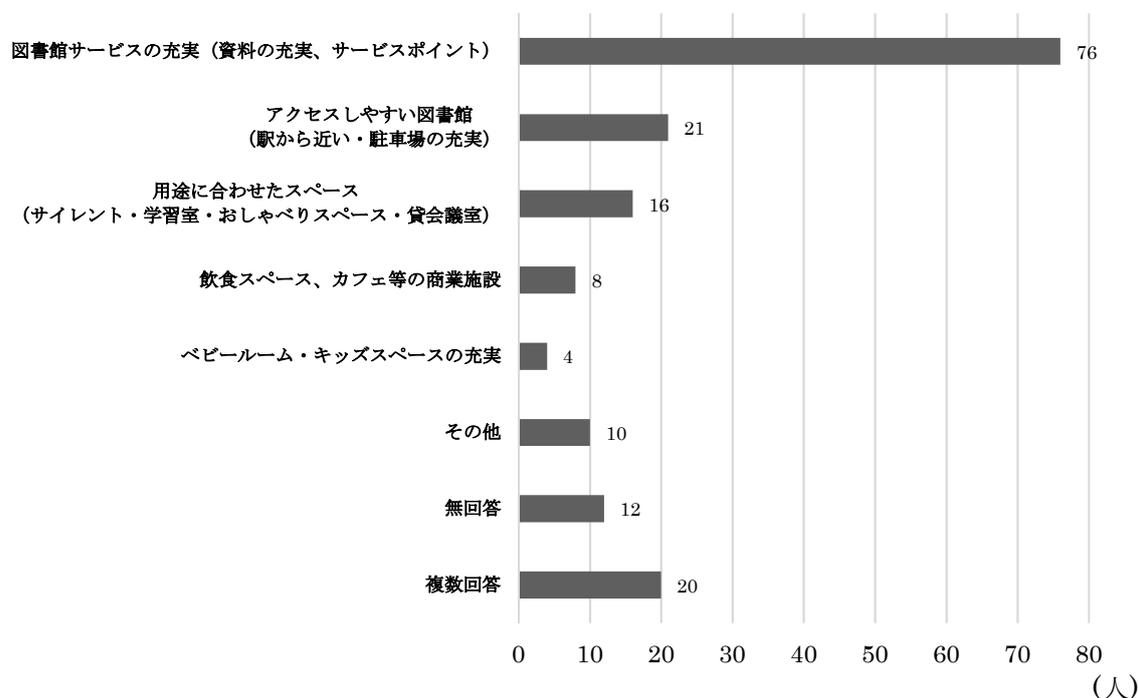
閲覧席の利用経験がある80人のうち、半数以上が「図書館の本や雑誌を読む」を選択した。複数回答のものについても、資料を閲覧することと併せて他項目を選択しているケースが多かった。一方、図書館の本を利用しない「宿題や受験勉強」を一番の利用目的とする人も少数ながら見られた。

問6-3 令和6年2月にリニューアルした閲覧席・視聴覚席に対する満足度



令和6年2月、特別整理期間中に改修工事を行った。従来、視聴覚ブースがあったスペースに閲覧席を増設し、その一面に視聴覚資料が視聴できる個人席を設置した。このことに関する満足度については、「満足」「やや満足」が計26%、「不満」「やや不満」が計4%となっている。また、「わからない」の回答が約57%あり、閲覧席が新設されたことをまだ知らない人や、利用したことがない人が多いことがうかがえる。

問7 これからの図書館に一番求めていること（複数回答不可）

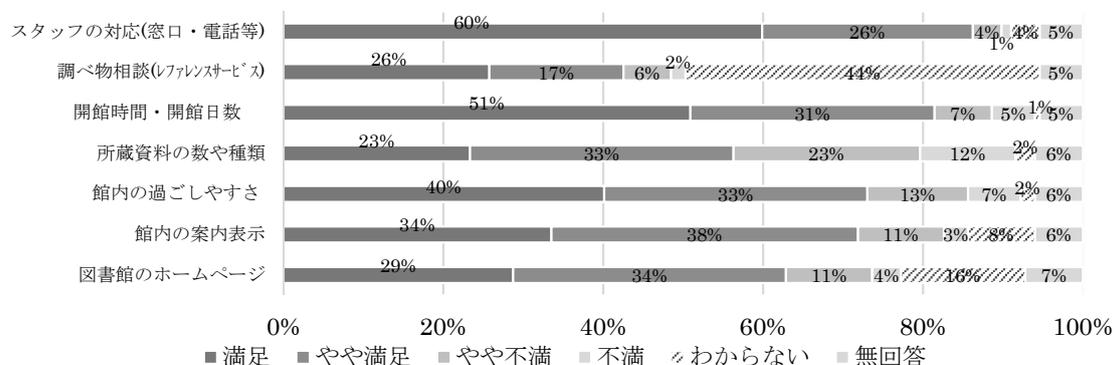


「図書館サービスの充実」が最も多く、回答者の約半数が選択している。次いで「アクセスしやすい図書館」「用途に合わせたスペース」が多くなっている。

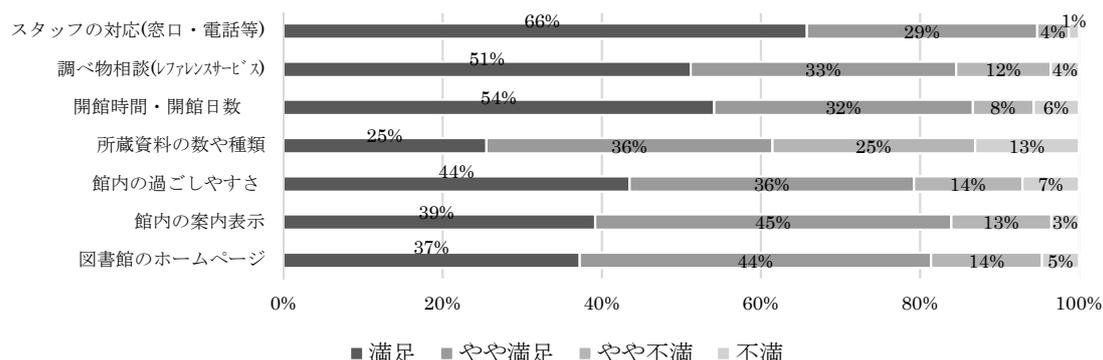
「その他」として、施設規模の拡大、資料の充実、利用しやすい閲覧席、開館日時の延長、衛生面（本の除菌機等の設置、空気清浄機の設置）、トイレのスペース拡充、読書バリアフリーなどについて求める意見があった。

問8 図書館サービスの各項目に対する満足度

■ 全体



■ わからない・無回答を除く



○ スタッフの対応(窓口・電話等)

昨年度に引き続き、「満足」「やや満足」を合わせた割合が90%以上を占めており、接遇は高水準を保っている。

○ 調べ物相談(レファレンスサービス)

他の項目と比べて「わからない」の割合が大きく、全体の44%を占めている。利用した人(「わからない」及び無回答を除いた場合)の中では、「満足」「やや満足」を合わせた割合は80%を超えている。

○ 開館時間・開館日数

平成30年4月1日に土日の開館時間が19時まで延長されてから、「満足」「やや満足」を合わせた割合は90%近くを維持していたが、令和3年度の調査から80%程度に落ち込んでいる。本年度は「満足」「やや満足」を合わせて約86%となっている。

○ 所蔵資料の数や種類

他の項目と比べて「やや不満」と「不満」の占める割合が約38%(わからない・無回答を

除いた数値)と大きく、資料の数や種類について課題だと感じている利用者が多いと考えられる。

○ 館内の過ごしやすさ

「満足」と「やや満足」を合わせた割合は80%近くで推移している。

○ 館内の案内表示

「満足」と「やや満足」を合わせた割合は80%を超えている。全体の約8%が「わからない」と回答しており、ふだんの利用の中で案内表示を意識していない利用者が一定数いることが推察される。

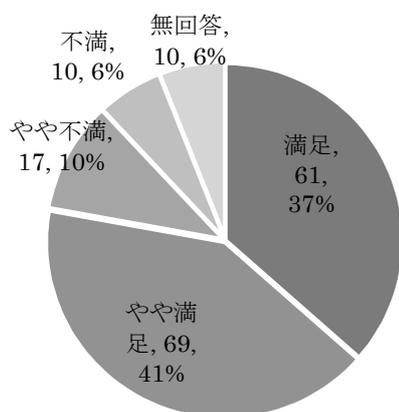
○ 図書館のホームページ

「満足」と「やや満足」を合わせた割合は8割を超えている。問4の結果として言及したように、ホームページによって図書館の情報を得ている人は多く、利用したほとんどの人に満足していただけていると考えられる。

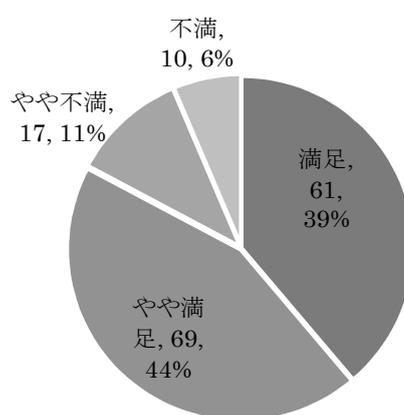
一方、例年同様、ホームページに対する満足度について「わからない」と回答する人が多く(約16%)、ホームページを見ていない利用者が一定数いることが推察される。図書館のホームページをより多く見ていただけるように、館内掲示をはじめ、何らかの手段でアプローチしていく必要がある。

問9 図書館に対する総合的な満足度

■ 全体



■ 無回答を除いた場合



回答, 人数, %

「満足」「やや満足」が全体のうち約78%となっており、昨年度の92%を下回っている。本年度は無回答が約6%と多かったが、無回答を除いた場合でも「満足」「やや満足」を合わせた割合は約83%に留まった。

問 10 その他、図書館への御意見（詳細は別紙参照）

自由記述形式で設けた問 10 では、現在の図書館に対する様々な意見を得ることができた（別紙参照）。特に、図書館の新設又は改修を求める意見が多数寄せられており、大規模で利用しやすい図書館施設に対するニーズが高まっていることが明らかになった。

また、閲覧席の充実、立地・駐車場の改善、開館日・時間の増加、蔵書の充実、ブックポストの新設、電子図書館のコンテンツの増加等を求める意見も多く、課題として改善に取り組んでいく必要がある。

4 今後の課題

今回の利用者満足度調査の結果をふまえ、今後の図書館における課題、利用者調査における課題について、以下 3 点を述べる。

（1）滞在型図書館としてのサービスの充実

図書館に対する総合的な満足度としては、高い水準を維持していると言える。しかし、問 7「これからの図書館に一番求めていること」や問 10 の自由記述からもわかるように、施設規模の拡張、立地の改善をはじめ、用途に合わせたスペース、閲覧席の充実など、滞在型図書館としてのサービスに対する要望は多い。

今後、つくば市の図書館が改修や新設を進め、滞在型のサービスを充実させていくためには、利用者のニーズについてさらに具体的に調査していく必要がある。今回の調査における問 8「図書館サービスの各項目に対する満足度」では、滞在型のサービスに直接関係する項目は「館内の過ごしやすさ」のみであった。今後の調査では、利用者が居心地良く図書館に滞在するための要素について具体的に設問を設けることも検討したい。

（2）広報不足の解消

図書館利用者に対する広報不足が推察されるため、今後改善していく必要がある。例えば、令和 6 年 2 月にリニューアルされた閲覧席に関しては、満足度を回答する設問（問 6）において「わからない」と回答した人が全体の 6 割を占めた。問 5 や問 10 の自由記述においても、図書送付貸出しサービス、閲覧席の利用方法、利用カードの表示機能、茨城県立図書館の遠隔地貸出サービスなど、既に実施しているサービスに対する要望が散見され、周知が行き届いていない様子がうかがえた。

また、図書館のホームページを見ていない利用者が一定数いることをふまえ、今後はホームページを見てもらえるような工夫をしていくとともに、図書館全体として広報手段の改善を図っていく必要がある。

(3) 図書館を利用していない人々に対するアプローチ

今回の調査からインターネットによる回答を可能とした結果、例年と比べて図書館の利用頻度が低い利用者からの回答を一定数得ることができた。

しかし、図書館サービスの改善を図っていく上では、今回の調査のように図書館利用者を主な対象としたものだけでなく、図書館に関心があるものの何らかの理由で利用に至らない人や利用カードの登録をしていない人、現在の図書館ではサービスが行き届いていない人等を対象とした、幅広い意見の収集を行い、公共図書館のサービスを普及させるためにどのような施策を行っていくべきか調査・研究する必要があると考えられる。

別紙 その他、図書館への御意見（問 10）

【図書館の新設・改修の要望】

- 施設規模が小さい、拡張して欲しい（8）（土浦市（4）、下妻市に言及）
- トイレを改修・増設して欲しい（4）
→ 令和5年度に美術館との共用部分のトイレを改修済み。図書館内には子ども用のトイレ1か所のみ
- 子連れで利用しやすい施設、設備（3）
（児童専門の図書館の建設、ベビーカーで利用しやすく、キッズルーム、談話室、読み聞かせができるスペース、幼児コーナーのカーペットを新しくして欲しい）
- カフェ・飲食店を併設して欲しい（2）（人が集まる施設にして欲しい）
- エントランスホール、館内が暗い（2）
- きれいに改修して欲しい（2）
- 閉架書庫の図書が多いので、開架を増やして欲しい（2）
- 中庭で過ごせるスペースなどの一時しのぎの改修ではなく、抜本的な改革をして欲しい（図書館懇話会の提言にあった、新館の建設を含めた滞在型図書館について言及）
- テラスなど空間作りをして欲しい
- 美術館との共存ではなく、別の建物として建設したほうが良い
- 建物がきれいなので残して欲しい

【閲覧席】

- 閲覧席・ソファを増やして欲しい（7）
- 長時間利用したい（2）
- 自習用（受付あり）と閲覧用（受付なし）で分けて欲しい
- 学習スペースを増やして欲しい
- 2月からリニューアルした閲覧席について表示を出すなど、さらに広報して欲しい
- リニューアルした閲覧席の窓際のカウンター席が調べ物専用席になっているが、一般開放して欲しい
- 今回のリニューアルで使いやすくなった。席が増えて嬉しい。滞在型図書館に近づいてきた
- 視聴覚ブースがなくなったのは残念
→ 個人用（1～2人）視聴席を設置済み
- 予約が必要な席は中高生が使っていて競争率が高すぎる
→ 予約ではなく受付のことかと思われる（当日受付のみ）

【立地・駐車場について】

- 駐車場が遠くて不便（7）
（子連れ（3）、大量の本を運ぶ（3）、歩行が困難な利用者（2）、雨天時）
- 駐車場の無料時間を長くして欲しい（3）
- 図書館併設の駐車場が欲しい（2）
- 短時間でも無料の駐車場が欲しい（2）（返却のみ、予約本の受取りで利用したい）

- **みどりの地区について（２）**
（みどりの地区に大きな図書館を新設して欲しい、みどりの地区の子ども人数に対して谷田部交流センター図書室は狭い）
- 現在の人口分布に合わせて立地を見直して欲しい
- 北1駐車場も無料化して欲しい
- 駐車場が分かりづらい

【サービスポイントの拡充】

- **ブックポストを設置して欲しい（４）**
（駅（２）、商業施設（２）、地域の交流センターなど、流山おおたかの森の例）
- **返却や予約本の受取りをドライブスルーのように行いたい（２）**
- 中央図書館は遠いのでいつも並木交流センターを利用している。それぞれの支所の図書室も充実させて欲しい
- かとりだい交流館は図書館の休館日に合わせて休んでいるが、交流館自体は開いているのだから月曜日も受け取りできるようにして欲しい
- 返却ロボットの実験の成果はどうなりましたか？

【電子図書館】

- **コンテンツの数を増やして欲しい（３）**
- 電子でも雑誌の所蔵を増やして欲しい
- 電子図書館のページに飛ぶ方法がわかりづらい、インターネットサービスと統合して欲しい
- とても良い、便利、自動で返却されるのがとても良い、紙の書籍を読むのが困難な人でも読める、読書バリアフリーに繋がる

【インターネット・インターネットサービス関連】

- 返却期限の通知メールは「早くしろ」と言われているように感じる。既に返却していてもメールが来るのが不快
→ 返却予定日の前日朝にメールが一斉配信される。ブックポストに返却した場合は、資料の回収が済むまで返却処理されないため、メールが配信されてしまう
- インターネット予約や、中央図書館以外での図書受取りがとても便利
- 図書館独自のホームページを作って、積極的に情報発信をして欲しい
- インターネットはやってないのでホームページは見られない

【つくスマについて】

- 子どものカードもつくカードに登録したい（複数人分のカードに登録したい）
- つくスマでも本の検索や予約ができるようにして欲しい

【蔵書について】

- 特定の種類・分野の資料を増やして欲しい（14）
（DVD・CD（3）※アカデミー賞をとった最新映画、コミック（3）※手塚治虫文化賞マンガ大賞を受賞したコミック、文庫本（2）、外国語の本、英語の本、中学生くらいが読める英語の本、子ども向けの本、はたらく車の幼児向けの本、光合成の本）
- 古い本が多い、本の汚れが気になる（5）
- 蔵書数を増やして欲しい（3）
- 除籍等の所蔵管理については、その資料の客観的価値を良く考慮して行って欲しい
- 雑誌「Wedge」を置いて欲しい
- 一般図書館の蔵書の多様性は他市町村に類を見ないと思う

【衛生面の心配】

- 本の除菌機を設置して欲しい（3）（土浦市、つくばみらい市、常陸大宮市の例）
- 本が汚いので職員もチェックして欲しい
- 寄贈を募るなどして資料をきれいなものに差し替えて欲しい（利用の多い作者、発行2～3年以内、10冊以内などにしぼって募集すると良い）

【配架・展示】

- 子どもの本が探しづらい（3）
（著者名順だとわからない本がある、シリーズものの配架場所が分散している）
→ 令和6年2月から、児童図書館のつばさ・青い鳥・みらい文庫を別置
- 書架の下の段が手に取りづらい（2）
- 皆が手をのばしやすい書架にして欲しい
- コミックを1か所にまとめて欲しい（7番台の一般図書とコミック）
- 幼児絵本を子どもが選びやすいように並べて欲しい（表紙が見えるように）
- 子どもが色々な本に出会える掲示をして欲しい（おすすめの児童書、分類ごとに取り上げるなど）
- テーマに沿った色々なジャンルの本を展示して欲しい
- 帯の展示と合わせて、本体を手にとって見たい（写真撮影ができず、覚えられない）
- 本の並び方が乱雑で気になる

【開館日時の延長】

- 開館日を増やして欲しい、祝日も開館して欲しい（3）
- 午前9時から開館して欲しい（2）
- 夜間の開館時間を延ばして欲しい

【貸出・貸出履歴について】

- 貸出冊数の上限を増やして欲しい（2）（絵本は20冊くらい一回で借りたい）
- 読書通帳を導入して欲しい（2）
- 借りた本をレシートのような形で手元で見られるようにして欲しい（下妻市の例）

- 視聴覚資料の貸出期間を本と同様に2週間にしたい
- セルフ貸出機を導入したい

【予約・リクエスト】

- 貸出可となっている場合でも予約できるようにしたい(2)
- 予約冊数の上限を増やしたい
- マンガや雑誌の予約ができるようにしたい
- インターネットで本の予約をする際、複数巻あるもの(1巻～5巻等)は確保順を指定できるようにしたい
- 出版から1年以内でないとリクエストできないが、もっと長く受付けてほしい
- 予約ができない資料で、ずっと返却されないため利用できないものがある
→ 個別にデータを確認して対処する必要がある(利用者への督促/資料の再購入/所蔵データの削除)
- 予約本の確保通知メールが日曜夜に届くことが多いが、月曜休館なのですぐに取りに行けない。タイミングをどうにかできないか
→ 土日に返却される数が多いためと思われる。前の利用者が返却し、予約確保された当日夜にメールが配信される
- リクエストできる本の発行年やジャンルをHPに明記してほしい
- リクエストにより購入した本の年間冊数と総額を公開してほしい

【職員の対応】

- 対応が親切で良い(3)(特に、男性スタッフで物腰が柔らかい方が素敵)
- レファレンスを充実させてほしい(3)(担当者によって違いがある)
- 資料の複写について研修をしてほしい(「資料の一部」を一部分と勘違いして、新聞の必要部分コピーを拒否されたことがある)
- 職員がいつも暇そう、職員の会話が館内に響いている
- 何か聞くと「わかりません、他のスタッフに確認」と言われる
- 職員が不機嫌そうに見える。もう少し柔らかい表情で接してほしい
- レファレンスカウンター前で待っていても職員に気付いてもらえないことがある
- 図書館員に他の自治体などの図書館の見学をさせてあげてほしい

【イベント】

- 本を借りる以外の目的の人も図書館に行ける「地域の居場所」を目指してほしい(ミニ講座や相談会(本に限らず生活一般)、つくば市の中高生に関わってもら(選書、POPづくり))
- 小学生向けの読み聞かせや大人向けの読み聞かせに特化したイベントをしてほしい
- 「ぬいぐるみたちのお泊まり会」を中央図書館だけでなく各交流センターの図書館でも実施してほしい
- コロナ前にやっていた「図書館でアナログゲームに親しむ(ボードゲーム、コミュニケーション型のゲームやテーブルトークRPGなど)」が途絶えてしまったことが残念

【相互貸借】

- 県外の相互貸借も無料にして欲しい
- もっと利用しやすくして欲しい
- DVDを他市の図書館（水戸や土浦の図書館）と連携して相互貸借できるようにして欲しい
- 茨城県立図書館の遠隔地貸出サービスがつくばの図書館でも利用出来るようにして欲しい
→ 中央図書館では利用可

【利用方法全般について】

- 利用者範囲を拡大して欲しい（現在は在勤で利用しているが、定年退職後は利用資格を失うため、隣接市在住者も利用できるようにして欲しい）
→ 広域利用で土浦市・下妻市在住の方は利用可
- 書庫出納の番号の表示が見づらいので改善して欲しい
- 蔵書検索の入力方法がわからない
- DVDの返却場所がわからない

【その他】

- 英語版のアンケートが欲しい
- 専門職員を会計年度任用職員ではなく、正規職員として雇用して欲しい
- 本のリサイクルの日を教えて欲しい
- 書庫にある本も見たい
- 印刷プレビューがついたコピー機を導入して欲しい
- 館内の検索機にキーボードがないのが使いづらい
- 書架の前で読む人が多いため、邪魔になることがある。随時注意して欲しい
- 子供が泣いても保護者が対処していないのが気になる
- 検索結果には館内にありと出ているのに棚にない。棚にない本の情報は出てこないように欲しい
→ 毎年、蔵書点検時に不明本のデータは削除している
- 「コリドイオ」の開発事業から図書館は切り離されてしまったのが残念
- 中央図書館で子供と一緒に本を選ぶ時間が楽しい。スタッフの対応、建物の造形の美しさ、清掃等、全てが居心地の良さを作っている
- 県立つくば美術館とつくば市立中央図書館でさらに一体化し、茨城県内で重要な役割を果たして欲しい。筑波大学との連携で国立や県立の図書館のような役割も期待している

令和6年度
(2024年度)

つくば市の図書館概要



つくば市立中央図書館

目 次

ページ

1	つくば市の概要	1
2	施設概要	2
3	運営方針	3
4	組織・事務分掌	4
5	図書館サービス体制	5
6	図書館サービス	6
7	小中学校・義務教育学校への支援事業	9
8	自動車図書館	10
9	4交流センター図書室との連携	10
10	筑波大学附属図書館との連携	11
11	令和5年度（2023年度）の主な図書館事業	12
12	沿革	13
13	年間統計	22
14	ボランティア活動状況	28
15	所蔵雑誌一覧	29
16	所蔵新聞一覧	35
17	雑誌スポンサー制度	36

1 つくば市の概要

つくば市は、茨城県の南西部に位置し、茨城県の県庁所在地水戸市から南西に約 50 キロメートル、首都東京から北東に約 50 キロメートル、成田国際空港（成田市）から北西に約 40 キロメートルの距離に位置しています。面積は 283.72 平方キロメートルで、これは県内で 4 番目の広さになっています。

万葉集で多く詠まれた名峰「筑波山」をはじめとする豊かな自然と、研究・教育機関の集積「筑波研究学園都市」を有する、自然と科学が調和したまちです。

筑波研究学園都市では、国と民間合わせて約 150 の研究機関が立地し、約 20,000 人の研究従事者が日々、最先端の研究開発を行っています。また、筑波大学においても、恵まれた環境の下、様々な分野の研究が行われており、つくば市とも各分野で連携しています。

つくば市には、研究従事者や留学生など多くの外国人が居住し、その数は 147 か国、13,003 人に及び、つくば市全体の人口の約 5.07%に当たります。（全国平均は 2.39%）

平成 17 年（2005 年）のつくばエクスプレス開業以降、沿線地区を中心に人口は増加傾向にあり、年少人口及び生産年齢人口が多いことも特徴です。（年少人口：全国平均 11.75%に対してつくば市 15.44%、生産年齢人口：全国平均 59.64%に対してつくば市 65.35%）

つくば市は、平成 30 年（2018 年）2 月に国連の持続可能な開発目標（SDGs:Sustainable Development Goals）の考え方を取り入れた「持続可能都市ヴィジョン」を公表し、同年 3 月には市議会で、「つくば市政に SDGs（持続可能な開発目標）の理念を反映するための取組を求める決議」が可決されました。また、本市が国から県内唯一の「SDGs 未来都市」に選定されたことから、持続可能なまちづくりのための取組を全国に先駆けて推進しています。

SDGs の基本理念である「誰一人取り残さない」という包摂の精神は、つくば市の持続可能なまちづくりとも一致するものであり、SDGs を重要なキーワードとしながら、市民、議会、行政などが一丸となって具体的な取り組みを進めています。

[つくば市人口（常住人口）：257,756 人（令和 6 年（2024 年）5 月 1 日現在）]

2 施設概要

「つくば市立中央図書館」（以下、中央図書館）は中央公園に面し、茨城県近代美術館つくば分館との複合施設「つくば文化会館アルス」として建設され、平成2年（1990年）6月に開館しました。アルス（ARS）は、ラテン語で「芸術・学芸・美術」を意味します。館内には、ピアノ備え付けの多目的ホール「アルスホール」もあり、コンサートや講演会などに利用されています。

つくば文化会館アルス（図書館、美術館、ホール）	
所在地	茨城県つくば市吾妻2丁目8番地
施設面積	市管理部分：2,695 m ² （1F：1,714 m ² 2F：912 m ² その他：69 m ² ） 県管理部分：2,068 m ² （1F：1,574 m ² 2F：494 m ² ） 県市共用部分：1,414 m ² （1F：645 m ² 2F：358 m ² その他：411 m ² ）
施設概要 (市管理部分)	1F 開架書架室、保存書庫、自動車図書館車庫 ほか 2F アルスホール、集会室、会議室、事務室 ほか

つくば市立中央図書館	
利用時間	午前9時30分～午後7時（特別開館日は午後5時まで）
休館日	月曜日（国民の祝日と重なった場合は火曜日）、祝日（一部の祝日は特別開館）、年末年始、特別整理期間（6月・2月）

つくば市視聴覚センター（アルスホール）	
利用時間	午前9時～午後10時（月曜祝日は午後5時まで）
定員	100名
休館日	月曜日（国民の祝日と重なった場合は火曜日）、年末年始
設備品	グランドピアノ、マイク、スクリーン、調光装置、専用控室 ほか
その他	利用申込みは、6か月前の同日から利用日の前日まで 予約状況は、ホームページから確認可能

3 運営方針

中央図書館では、市民の生涯学習を支援するとともに、教育・文化などに関する情報や資源を受発信する「知」の拠点として、市民が利用しやすい図書館を整備し、充実を図っていくものとします。

令和6年度（2024年度）中央図書館重点事業

(1) サービスポイントの拡充

昨年度の研究学園小学校図書室に続き、みどりの南小学校図書室等の地域開放事業を実施します。そのほか、利便性向上のため、返却ポストの増設を行います。

これにより、配送業務が増大するため、配送車両を増やし対応していきます。

(2) 電子図書館サービスの拡充

電子図書館サービス拡充のため、利用状況を分析するとともに、その収集方針を整理し、コンテンツの充実を図っていきます。

また、小学校及び中学校においてGIGA端末を活用した電子書籍の利用を促進するため、学校と連携しながら環境を整備し、児童・生徒の読書推進を図っていきます。

(3) 自動車図書館サービスの拡充

自動車図書館サービス拡充のため、既存ステーションについて随時見直しを行うとともに、ニーズ調査などを通じて新たなステーションを設定し、利用拡大を図っていきます。

また、ライブラリーピクニックのほか、市内で行われるイベントなどへ自動車図書館で参加し読書推進活動を行うなど、車両の有効活用を図っていきます。

なお、老朽化に伴い1号車の車両更新を行います。

(4) 中央図書館の施設改修

市長公約にある「図書館懇話会提言書で示された、公園のように自由な図書館『ふれあいライブラリーパーク』の理念を実現する中央図書館の施設改修」事業に着手します。

本年度は、中庭にウッドデッキを設置するための準備作業として、既存の樹木を保護するための養生作業を実施します。

合わせて、文化会館アルス外壁改修工事や業務用エレベーターの更新を行います。

(5) 市議会提言への対応

令和5年10月に、市議会予算決算委員会総務文教分科会（以下、市議会）から、「研究学園都市『つくば市』にふさわしい、新しい中央図書館の建設に向け、構想の検討を行うこと。具体的には、つくば市図書館懇話会による提言書『つくば市図書館の将来構想 2020 ふれあいライブラリーパーク』の内容をもとに計画を着実に進めることを求めたい。」との提言を受けました。

これに対し、執行部の対応方針として、つくば市図書館懇話会提言書にあるステップアップフローの取組みの検証などを行いながら、新しい中央図書館建設に向けた構想の検討を進めていく旨を回答しました。

令和6年3月、市議会から、「スピード感を持って新しい図書館の建設を進めていただきたい。」との所感が出されました。

これらを受け、新しい中央図書館建設に向けた構想の検討に係る準備に着手します。

4 組織・事務分掌

(1) 組織

- ① 館長 — 副館長 — 館長補佐
- └ 管理係
 - └ サービス係

② 職員数 29 名（うち司書資格 20 名）

〔内訳〕 正職員：17 名、図書館専門員（会計年度任用職員）12 名

そのほか、カウンター補助、事務補助、配送など会計年度任用職員 33 名

〔令和6年（2024年）4月1日現在〕

(2) 事務分掌

① 管理係

予算管理、施設管理、資料収集・廃棄、書架管理、ボランティア、図書館情報システム、広報広聴、図書館協議会、アルスホール ほか

② サービス係

館内利用、団体貸出、相互貸借、館内展示、自主事業の企画・運営、自動車図書館、学校図書館支援、延滞資料処理 ほか

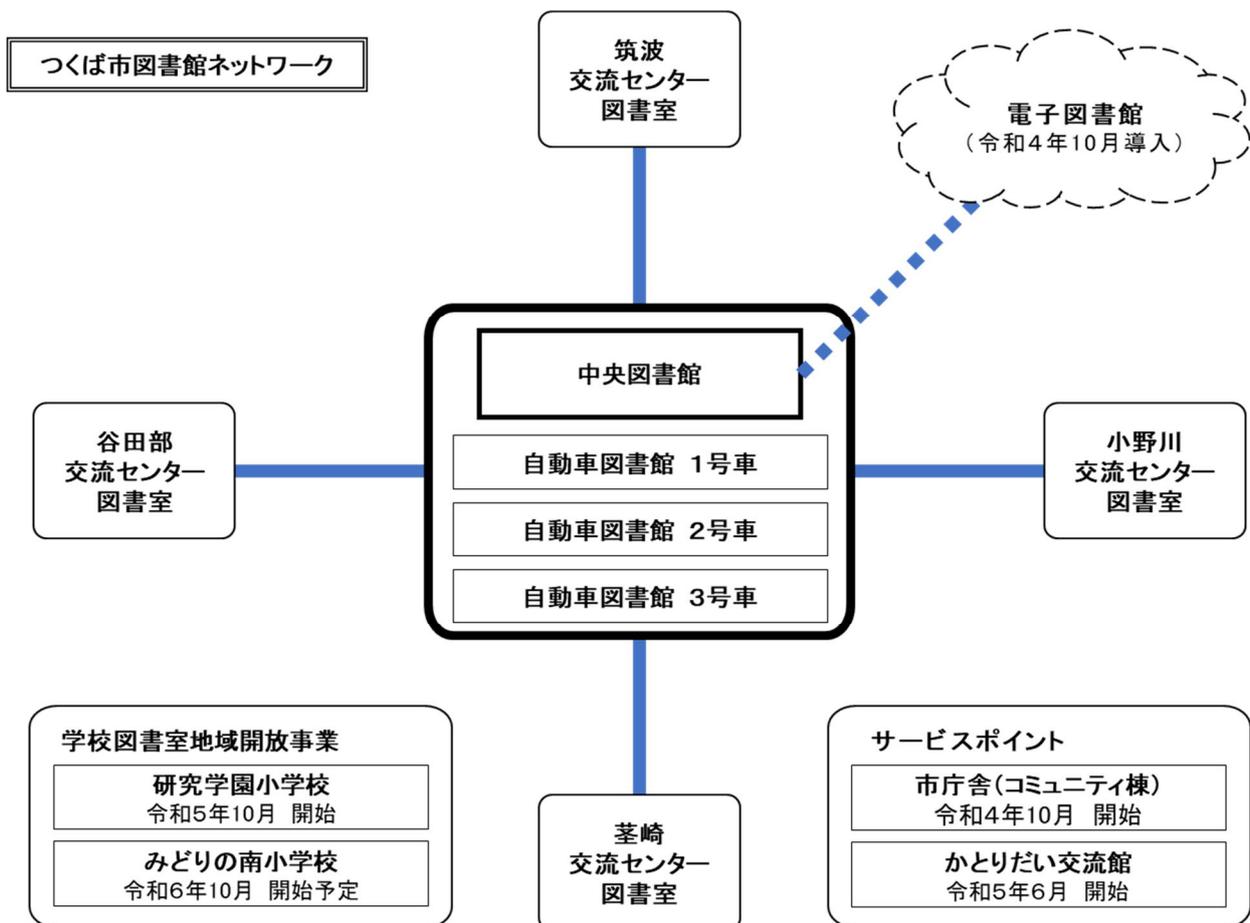
5 図書館サービス体制

つくば市の図書館サービス体制は、中央図書館を中心に3台の自動車図書館及びオンラインシステムで結ばれている谷田部・筑波・小野川・荃崎の4つの交流センター図書室（以下、4交流センター図書室）で構成され、貸出・返却・予約などのサービスを一体的に受けることができます。これらのサービスは、図書館情報システムにより一元的に管理されています。

このほか、市庁舎（コミュニティ棟）及びかとりだい交流館のサービスポイントにおいてインターネットから予約した本の受取が可能になりました。

また、市庁舎（コミュニティ棟）、かとりだい交流館、大穂・豊里・並木・島名の各交流センターに設置されたブックポスト及び広岡交流センターの窓口で本を返却することができます。

令和5年（2023年）10月から土・日・祝日の中央図書館開館日に、研究学園小学校図書室を地域に開放し図書館サービスの提供を開始しました。令和6年（2024年）10月からは、みどりの南小学校図書室で同様のサービスを開始する予定となっています。



6 図書館サービス

(1) 貸出

① 個人貸出

つくば市在住・在勤・在学

つくば市に在住、在勤、在学している個人に利用カードを交付し、図書の貸出を行っています。個人の図書館利用カードの登録・交付は、つくば市在住の方は氏名、住所の確認できるもの、在勤・在学の方はそのほかに勤務先・通学先のわかるものを提示の上、「貸出登録申込書」の提出により登録ができます。

広域利用

下妻市及び土浦市在住の方は、つくば市に在勤、在学していなくても利用カードの交付が受けられます。

利用できるサービスは個人貸出及び館内利用のみで、予約・リクエスト、相互貸借、Webサービスなどの一部サービスは利用できません。

また、つくば市在住の方は、下妻市及び土浦市立図書館で貸出等のサービスが受けられます。

② 団体貸出

つくば市内で活動する団体や施設が行う読書活動を推進するために図書館資料を長期間貸出するサービスです。登録の際に必要な書類や手続方法については中央図書館まで御相談ください。

③ 貸出条件

貸出区分	資料区分	期間	冊数・点数
個人貸出	図書資料	2週間以内	10冊以内
	視聴覚資料	1週間以内	3点以内
	電子書籍	2週間以内	2点以内
団体貸出	図書資料（閉架で所蔵する雑誌及び地域資料を除く資料）	3月以内	300冊以内（うち紙芝居、外国語資料は50冊まで）
	図書資料（開架で所蔵する雑誌及び地域資料を除く資料）	2週間以内	20冊

(2) 返却

中央図書館、自動車図書館、4交流センター図書室及び研究学園小学校図書室（土日祝の地域開放時のみ）で図書館資料の返却ができます。

なお、視聴覚資料や紙芝居は破損の恐れが高いため、職員へ直接手渡しで返却し、資料本体の確認を受けていただきます。

そのほか、次の施設でも各施設の開館時間中であれば返却ができます（紙芝居など一部資料を除く）。

- ① つくば市庁舎ブックポスト（コミュニティ棟1F）
- ② かとりだい交流館ブックポスト
- ③ 大穂交流センターブックポスト
- ④ 豊里交流センターブックポスト
- ⑤ 並木交流センターブックポスト
- ⑥ 島名交流センターブックポスト
- ⑦ 広岡交流センター窓口



(3) 図書資料の予約・リクエスト

① 予約・リクエストとは

御希望の図書資料が貸出中の場合は、貸出の予約をすることができます。また、その資料が中央図書館で所蔵していない場合は、リクエストすると購入について検討します。御希望にお応えできない場合、茨城県内の他市町村図書館などからの取寄せ（原則無料）や、茨城県外の図書館からの取寄せ（送料利用者負担、諸条件あり）をすることができます。

② 申込方法

申込みは「予約・リクエスト・相互貸借申込書」を記入し、窓口へ直接提出又はWebサービスから申し込むことができます（Webサービスからの予約の場合、あらかじめパスワードの設定が必要）。なお、予約に限り、館内にある利用者用検索端末からも申し込むことができます。

本の御用意ができましたら御連絡します。予約・リクエストは、申込みができる冊数に上限があります。

③ 図書の取寄せ

御利用になる中央図書館、4交流センター図書室及び研究学園小学校図書室に所蔵がない図書については、他の館から取り寄せることができます（諸条件あり）。予約はWebサービスから申し込むことができます。取り寄せには日数を要しますのであらかじめ御了承ください。

(4) Web サービス

- ① 図書資料の予約・リクエスト、レファレンス（相談）、利用状況の確認（貸出中の資料・返却日・予約状況）、貸出延長の手続き、メールアドレスの登録・変更及びパスワード変更などができます。
- ② リンク先として、図書館、出版情報、他官公庁の情報などを掲載しています。
- ③ ブックリスト機能で、本の読書状況やカテゴリに応じた管理を御自身ですることが出来ます。
- ④ 電子図書館が利用できます。

(5) 視聴覚サービス

映像（DVD・LD・VHS）や音声（CD・カセットテープ）による視聴覚資料は、館内で視聴できるように提供しています。著作権者の許諾を得られたものは館外貸出を行っています。

(6) 多文化サービス

- ① 英語、中国語、韓国語を中心に約 20 か国語の図書資料、外国語雑誌 13 誌及び外国語新聞 6 紙（1 紙はこども用）を収集し、備えています。（雑誌及び新聞の詳細は p. 29～35 の「所蔵雑誌・新聞一覧」を参照。）
- ② 館内カウンターには、英語、中国語、韓国語及びポルトガル語の利用案内を設置しています。

(7) 送付貸出サービス

図書館の利用が困難な方や不便な方などの自宅へ図書を送付するサービスです。貸出及び返却に係る費用は利用者の負担となります。

(8) 乳幼児、児童、高齢者及び図書館利用に支障のある方へのサービス

- ① こどもコーナーに、子供の成長に応じた資料を備えています。
- ② こどもコーナーに、りんごの棚^{※1}を設置しています。りんごの棚には、大活字の本、LLブック^{※2}、点訳ボランティアが作成した点字絵本などを備えています。
- ③ ユニバーサルコーナーに、大活字の本を備えています。
- ④ 視聴覚コーナーに、小説などの録音資料（CD・カセットテープ）を備えています。
- ⑤ 視聴覚コーナーに、「広報つくば」「つくば市かわら版」の音声版を備えています。
- ⑥ 音訳ボランティアによる対面朗読を行っています。

※1 「りんごの棚」とは、スウェーデンの図書館でスタートした特別なニーズのあるこどもを対象とした公共図書館サービスの一つです。さまざまな利用しやすい形式の資料や読書を支援するための道具を一つの場所に集めることで、すべてのこどもたちが読書を楽しめるように手助けをするサービスです。

※2 「LL」とは、スウェーデン語で「やさしく読める」という意味の略語であり、知的障害のある方など、一般的な情報提供では理解が難しい方にとっても読みやすく作られている本のことを「LLブック」といいます。

(9) 複写サービス

著作権法第31条の規定により、図書館が所蔵する資料の一部を一人につき1部コピーすることができます。

○カラーコピー：1枚50円

○白黒コピー：1枚10円（サイズは最大A3まで）

(10) オンラインデータサービス

中央図書館内の専用端末を使うことにより、以下のデータベースサービスを利用することができます。

- ① 朝日新聞データベース「朝日新聞クロスサーチ・フォーライブラリー」
- ② 茨城新聞データベース
- ③ 官報情報検索サービス
- ④ 国立国会図書館デジタル化資料送信サービス

※利用条件等がそれぞれ異なりますので詳しくは図書館ホームページを御参照ください。

7 小中学校・義務教育学校への支援事業

中央図書館では、児童及び生徒の読書環境の充実を推進するために、市立小中学校及び義務教育学校に対して各種の支援事業を行っています。

- ① ジュニア図書館員、職場体験学習、社会科見学などの受入れ
- ② 学校図書館、学級文庫に対する団体貸出
- ③ 学校訪問ブックトーク事業
- ④ 司書教諭補助員の研修
- ⑤ 小学校・義務教育学校への自動車図書館の巡回
- ⑥ 小学校及び中学校と連携し、児童・生徒への電子図書館IDの配布
(GIGA端末を用いた電子書籍の利用促進事業 令和6年度開始)



学校訪問ブックトーク

8 自動車図書館

自動車図書館では、つくば市域全体に図書館サービスを届けるために、市内に設定したステーションを巡回し、図書の貸出・返却のほか、利用登録の受付、貸出の予約などのサービスを行っています。

自動車図書館の日程表は、図書館ホームページなどで確認できます。なお、図書資料の汚損等を防止するため悪天候時や、利用者の安全面を考慮し熱中症警戒アラート発表時等には運行を中止する場合があります。

自動車図書館車両の詳細は次のとおりです。

- | | |
|--------|--|
| ① 名称 | 自動車図書館アルス号（1・2・3号車） |
| ② 積載冊数 | 1・2号車：約3,500冊、3号車：約600冊 |
| ③ 訪問先 | 62ステーション
小学校、保育所、高齢者福祉施設、市役所など |
| ④ 運行日 | 火・水・木・金曜日及び隔週土曜日
日程表は毎年広報つくば4・10月号及び図書館ホームページに掲載
運休情報はつくスマアプリで随時配信 |
| ⑤ 巡回周期 | 原則2週間に1度 |
| ⑥ 装備 | 車椅子用リフト付き（1・2号車のみ） |



自動車図書館 3号車両

9 4交流センター図書室との連携

つくば市内にある17の地域交流センターのうち、谷田部・筑波・小野川・荃崎の4交流センター図書室では、コンピュータネットワークにより中央図書館と一体的な図書館サービスを提供し、市民サービスの向上に努めています。

- ① 4交流センター図書室、中央図書館及び研究学園小学校図書室（中央図書館が管理する資料のみ）で所蔵している資料を検索することができます。
- ② 4交流センター図書室、中央図書館及び研究学園小学校図書室（中央図書館が管理する資料のみ）の本を取り寄せて利用することができます。
- ③ 中央図書館の図書資料は、Webから予約をして4交流センター図書室に取り寄せることができます。（視聴覚資料・コミックスなどは対象外）
- ④ 借りた資料は、4交流センター図書室、中央図書館、自動車図書館及び研究学園小学校図書室（土日祝の地域開放時のみ）で返却することができます。また、図書資料は、市庁舎（コミュニティ棟）、かとりだい交流館、大穂・豊里・並木・島名の各交流センターに設置されたブックポスト及び広岡交流センターの窓口にも返却することができます。

10 筑波大学附属図書館との連携

つくば市域に所在する図書館の、それぞれの情報、資源及び活動成果等の交流を促進し、かつ、連携してその活用を図ることにより、相互の持続可能な発展と充実に資することを目的として、令和元年（2019年）9月に筑波大学附属図書館と連携協定を締結しました。

まずは筑波大学附属図書館との連携事業を進め、将来的には協定の範囲をつくば市域全体に広げていくことを目指します。

筑波大学附属図書館との連携事業

① 「ライブラリーピクニック」実施

令和元年（2019年）11月2日・3日に開催された筑波大学の学園祭に合わせ、筑波大学附属図書館駐車場及びBiViつくば前にてライブラリーピクニックを実施しました。筑波大学図書館情報メディア系共催、つづきブックカフェ（横浜市）協力のもと、自動車図書館による図書の貸出、読み聞かせ、ジャズ演奏などを実施しました。

令和2年度以降、新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大により実施を中止していましたが、令和5年（2023年）5月13日・14日に4年振りとなるライブラリーピクニックを実施いたしました。つくば文化会館アルス屋外展示場で自動車図書館による図書の貸出、読み聞かせ、遠隔ロボット（オリヒメ）によるおはなし会、筑波大学図書館情報メディア系のパネル展示などを実施しました。

② 2者間独自の相互貸借制度の運用を開始

令和3年（2021年）6月1日、つくば市域図書館連携に関する協定書第2条に基づき、筑波大学附属図書館とつくば市立中央図書館との間の独自の相互貸借制度の運用を開始しました。茨城県図書館情報ネットワーク物流搬送システムを利用して行っている相互貸借を両館が直接行うことにより、搬送に要する時間を短縮し、利用者への貸出期間をより長く確保することができるようになりました。

11 令和5年度（2023年度）の主な図書館事業

年月	内容等
通年	「おはなし会」(毎週土曜日 第5土曜日がない月は最終日曜日) 「本好きのためのゆるっとトークルーム」(第1土曜日) 「おとなのためのブックトーク」(第3土曜日) 「おはなしぶんぶん(乳幼児向けおはなし会)」(原則月2回 第3金曜日・第4水曜日)
4月	自動車図書館のステーションを増設。(ステーション 57 か所)
5月	「ライブラリーピクニック」開催。遠隔ロボット(オリヒメ)による絵本読み聞かせの実施。 [つくば文化会館アルス屋外展示場](13・14日)
6月	中央図書館蔵書点検を実施。(6～9日) 予約した本の受取館としてサービスポイントを増設。[かとりだい交流館](13日) 図書館ボランティア 人形劇公演「グループ・スイミー」開催。[アルスホール](24日)
7月	児童向け図書館だより「こどもヨモッカ(第18号)」発行。 図書館ボランティア パネルシアター公演 「パネルシアターかくれんぼ&ゆめぽっぽ」開催。[アルスホール](8日) ジュニア図書館員及び図書館を使った調べ学習講座の実施。(21・25・27日) 夏休み期間中の遠隔ロボット(オリヒメ)によるおはなし会の実施。(20・27日) 中学生職場体験の受入。(～8月)
8月	公園通りの図書館通信「ヨモッカ(第19号)」発行。 夏休み期間中の遠隔ロボット(オリヒメ)によるおはなし会の実施。(3・10・17・24・31日) 「令和5年度第1回つくば市図書館協議会」開催。(17日) 「ミステリーバック(中学生職場体験企画)」実施。(26・27日) インターンシップの受入。(～9月) つくば文化会館アルス 屋上改修工事の実施。(～12月)
9月	夏休み期間中の遠隔ロボット(オリヒメ)によるおはなし会の実施。(7日) 筑波大学との共催による認知症に関する展示の実施。(13～28日)
10月	学校図書室を地域に開放し、図書館サービスの提供を開始。 [研究学園小学校図書室](1日) 自動車図書館のステーションを増設。(ステーション 58 か所) 「学校訪問ブックトーク」実施。[小学校 25 校・中学校3校・義務教育学校4校](～12月)
12月	児童向け図書館だより「こどもヨモッカ(第19号)」発行。 「ぬいぐるみたちのおとまり会」開催。(14～17日)

年月	内容等
1月	「としょかん福ぶくろ(図書館企画)」実施。(6・7日)
2月	公園通りの図書館通信「ヨモッカ(第20号)」発行。 4交流センター図書室蔵書点検実施。(6～9日) 中央図書館 視聴覚コーナー改修及び閲覧席増設改修の実施。(6～9日) つくば文化会館アルス トイレ改修工事(1階男性トイレ、2階男性・女性トイレ)の実施。
3月	「令和5年度第2回つくば市図書館協議会」開催。(5日) 出前講座「ファーストブック講座」開催。(17・23日)

12 沿革

年	月日	事項等
昭和62年 (1987年)	11月	研究学園都市建設連絡協議会(研究学園都市を構成する6町村)、住宅都市整備公団つくば開発局及びその他により「筑波研究学園都市総合都市文化センター図書館基本計画」を策定。
	11月30日	筑波郡大穂町、豊里町、谷田部町及び新治郡桜村が合併し、つくば市が誕生すると同時に、教育委員会事務局に図書館準備室が発足(2名体制)。
昭和63年 (1988年)	1月31日	筑波郡筑波町がつくば市に加わり、つくば市全域への図書館サービス実施計画の検討を開始。
平成元年 (1989年)	3月11日	図書館を含む複合施設「筑波研究学園都市総合都市文化センター」を着工。
	3月15日	教育委員会により「これからの図書館サービスを求めて～つくば市の図書館サービス実施計画」を策定。
	4月1日	図書館準備室の職員が増員され、本格的な準備作業に入る(6名体制)。
平成2年 (1990年)	4月1日	司書の採用、有資格者の異動により職員を確保し(8名)、開館に向けた準備を図る(14名体制)。
	4月25日	「筑波研究学園都市総合都市文化センター」を竣工。
	6月8日	図書館準備室にかわり、教育委員会に中央図書館を設置。
	6月9日	つくば文化会館アルス内に「つくば市立中央図書館」が開館。
	6月16日	おはなし会を開始。(以降継続して実施)
	7月18日	自動車図書館つくばアルス1号、2号の運行及び巡回サービスを開始する。(ステーション35か所)
	9月30日	つくば市立中央図書館概要を発行する。(以降毎年発行)

年	月日	事項等
平成3年 (1991年)	4月1日	稲敷郡荃崎町民への貸出サービス開始。
	10月1日	図書館職員19名体制。 自動車図書館のステーションを増設。(ステーション50か所)
平成4年 (1992年)	1月31日	小河内芳子氏の講演会を開催。
	4月1日	目の不自由な方への郵送による録音テープの貸出し(無料)を開始。
平成5年 (1993年)	2月	谷田部公民館図書室とのオンライン化を図り、サービスの提供を開始。
	4月1日	公民館図書室への司書駐在の開始。 図書館職員25名体制。 (谷田部、筑波公民館図書室駐在司書含む)
	7月1日	4月1日に開館した筑波公民館図書室とのオンライン化を図り、サービスの提供を開始。
	10月17日	図書館情報大学の実習生を受入れる。(以降毎年受入) 社会福祉法人茨城県盲人協会から、障害者のための活動に対して感謝状を受ける。
平成6年 (1994年)	3月	司書講習の実習生として全盲の学生を受入れる。
	3月25日	小学生を対象とした「一日図書館員」事業を開始。(以降毎年実施)
	7月	ボランティアの協力により録音図書の作成を開始。
	10月4日	「学校訪問ブックトーク」事業を開始。(以降毎年実施)
平成7年 (1995年)	3月31日	平成6年度の貸出冊数が県内公共図書館でトップになる。
	7月1日	図書館情報システムの更新。
平成8年 (1996年)	1月25日	ボランティア朗読講座を開講。
	4月	「除籍図書のリサイクル」事業を開始。(以降不定期開催)
	7月	タッチパネル方式の利用者端末機を導入し、機能の充実を図る。 ご意見箱「皆さんの声」を設置。
平成9年 (1997年)	11月28日	竹内哲氏の講演会「図書館のススメ」を開催。
	2月21日	美月めぐみ氏の講演会「視覚障害者の読書と図書館」を開催。
平成10年 (1998年)	4月1日	図書館職員26名体制。 (谷田部、筑波、小野川公民館図書室駐在司書含む)
	5月	4月1日に開館した小野川公民館図書室とのオンライン化を図り、サービスの提供を開始。
平成11年 (1999年)	3月	堀川理万子氏の原画展「リリィおばさんなげキッス」を開催。
	7月	こども相談デスクを設置。
	10月	大島英太郎氏の原画展を開催。

年	月日	事項等
平成 12 年 (2000 年)	4月1日	図書館職員 27 名体制。
	7月	図書館情報システムの更新。
	12月	自動車図書館アルス1号の車両更新、「おひさま号」と命名。
平成 13 年 (2001 年)	4月1日	図書館職員 24 名体制。
	12月	自動車図書館アルス2号の車両更新、「あおぞら号」と命名。
平成 14 年 (2002 年)	4月1日	図書館職員 23 名体制。
	11月1日	稲敷郡荃崎町がつくば市に編入。
平成 15 年 (2003 年)	2月22日	「ファーストブック講座」を開催。(以降毎年実施)
	3月4日	「つくば市立図書館の望ましい基準」策定に当たっての基本的な考え方をつくば市図書館協議会へ諮問。
	4月20日	英語のおはなし会を実施。(県内初)
	6月1日	利用カードのデザインを更新。
	7月1日	荃崎公民館図書室とのオンライン化を図り、サービスの提供を開始する。 図書の郵送貸出サービスを開始。(県内初)
	7月	学校図書館実務講座(2日間)を開催。(2か年実施)
平成 16 年 (2004 年)	3月18日	「つくば市立図書館の望ましい基準」策定に当たっての基本的な考え方について、つくば市図書館協議会から館長へ答申。
	4月1日	つくば市図書館協議会委員の公募を行う。
	4月23日	子どもの読書活動優秀実践図書館として文部科学大臣表彰を受ける。
	10月	原画展「カラスとカケスの物語」を開催。
平成 17 年 (2005 年)	3月22日	年間総貸出冊数 100 万冊を超える。(県内初)
	4月1日	図書館専門員設置規則を制定。図書館専門員7名を採用。 個人貸出冊数を5冊から10冊に変更。
	7月1日	図書館情報システムの更新。
	8月24日	つくばエクスプレスが開通。
	10月	全国図書館大会茨城大会に参加。
	11月26日	茨城県読書推進運動協議会長から活動功績が認められ表彰を受ける。
	12月	芳川豊氏の原画展「おはなしトランプ」を開催。
平成 18 年 (2006 年)	1月21日	つくばエクスプレス開業記念、中央図書館開館 15 周年記念事業 「土田義晴さんとともに」を開催。
	4月1日	一部の祝日(年間6日)を開館。
	4月15日	地域文化ボランティア「おとなのためのブックトーク」を開始。(以降毎月実施)

年	月日	事項等
	10月29日	茨城県教育長から図書館ボランティアが図書館の振興発展に寄与した事が認められ感謝状を受ける。
平成19年 (2007年)	1月21日	講演会「藤田昌矢氏が語る絵本」を開催。
	4月1日	一部の祝日(年間5日)を開館。
	11月30日	市長から図書館ボランティアが図書館の振興発展に寄与した事が認められ感謝状を受ける。
平成20年 (2008年)	4月1日	谷田部、筑波、小野川、荃崎公民館図書室への司書駐在を廃止。 オンライン化している公民館図書室の業務全般を委託。 一部の祝日(年間3日)及び月末休館日(年間7日)を開館。
	4月1日	図書館職員17名、図書館専門員8名体制。 一部の祝日(年間7日)及び月末休館日(年間7日)を開館。
平成21年 (2009年)	7月	「つくば市立図書館の望ましい基準」の基本的な考え方に関する答申について、内容の検証と評価をつくば市図書館協議会へ諮問。
	9月19日	サトウユカ氏のクイズラリーと原画展「ランプの精トル・ジーニー」を開催。
	10月	科学フェスティバルに初出展。
	3月	年間総貸出冊数が140万冊を超える。 (谷田部、筑波、小野川、荃崎公民館図書室分含む)
平成22年 (2010年)	4月1日	図書館職員16名、図書館専門員10名体制。 一部の祝日(年間4日)及び月末休館日(年間7日)を開館。
	6月	「つくば市立図書館の望ましい基準」の基本的な考え方に関する諮問について、つくば市図書館協議会長から教育長及び館長へ答申。
	10月	開館20周年記念事業おはなしフェスティバルなどを開催。
	3月11日	東日本大震災の発生。施設及び資料の破損により地震発生時刻から臨時休館。
平成23年 (2011年)	3月23日	時間短縮(木曜日を除き午後5時閉館)にて図書館運営を再開。
	4月1日	公民館が「交流センター」に名称変更。 一部の祝日(年間4日)及び月末休館日(年間7日)を開館。
	7月1日	閉館時間を試験的に変更。(火・木・金 午後7時、水・土・日 午後5時)
	10月1日	閉館時間を通常に戻す。(火・水・木・金 午後7時、土・日 午後5時) 図書館情報システムの更新。 中央図書館ホームページのリニューアルを実施。
	10月23日	「おはなしフェスタ2011」を開催。 科学フェスティバルに出展。(以降毎年出展)

年	月日	事項等
平成 24 年 (2012 年)	4月1日	図書返却窓口を試験的に増設。 (大穂・豊里・並木・広岡の各交流センター) 一部の祝日(年間6日)及び月末休館日(年間8日)を開館。
	5月6日	つくば市で大規模竜巻が発生し、筑波交流センター図書室を休室。
	5月26日	筑波交流センター図書室の運営を再開。
	10月24日	「おはなしフェスタ 2012」を開催。
平成 25 年 (2013 年)	4月1日	増設した図書返却窓口の継続設置。 (大穂・豊里・並木・広岡の各交流センター) 一部の祝日(年間6日)及び月末休館日(年間6日)を開館。
	5月1日	図書館職員 15 名、図書館専門員 10 名体制。
	7月	新任司書教諭補助員研修(4日間)を実施する。(以降毎年実施)
	8月1日	公園通りの図書館通信「ヨモッカ(第1号)」を発行。(以降年2回発行)
	11月9日	本田尚子氏の原画展「里山のきのこ」を開催。
平成 26 年 (2014 年)	1月	「給食ブックトーク」を実施。(市内4幼稚園)
	3月1日	市庁舎にブックポストを設置。
	4月1日	一部の祝日(年間5日)及び月末休館日(年間6日)を開館。
	6月	児童向け図書館だより「こどもヨモッカ(第1号)」を発行。(以降年2回発行)
	10月30日	絵本作家ゴブリン博士小中大地氏の作品展を開催。
平成 27 年 (2015 年)	4月1日	一部の祝日(年間12日)及び月末休館日(年間7日)を開館。 4交流センター図書室の運営が中央図書館に移管。 雑誌スポンサー制度を開始。 乳幼児向けおはなし会「おはなしぶんぶん」を開始。(以降毎月実施)
	7月	開館 25 周年記念事業おはなしフェスティバルなどを開催。
	10月18日	絵本作家武田美穂氏の講演会を開催。
	4月1日	図書館職員 15 名、再任用職員1名、図書館専門員 10 名体制。 一部の祝日(年間9日)及び月末休館日(年間6日)を開館。
平成 29 年 (2017 年)	4月1日	図書館職員 13 名、再任用職員2名、図書館専門員 10 名体制。 一部の祝日(年間9日)及び月末休館日(年間6日)を開館。
	9月	図書館情報システムの更新。 図書館情報システムの更新に伴う臨時休館(9月18日～10月4日)。
	10月	開館時間の延長を試験的に実施(6日間)。
	3月	所蔵雑誌の保存期間を一部変更(外国語学習雑誌 永年→2年)
平成 30 年 (2018 年)	1月	施設改修工事のため荃崎交流センター図書室を休室。
	2月4日	荃崎交流センター図書室の運営を再開。

年	月日	事項等
	4月1日	図書館職員 14 名、再任用職員2名、図書館専門員 10 名体制。 一部の祝日(年間 13 日)及び月末休館日(年間7日)を開館。 中央図書館の土曜日及び日曜日の開館時間を午後 7 時まで延長。(試行)
	4月	南2及び北2駐車場の無料化サービスを2時間まで延長。 4交流センター図書室への中央図書館在架図書の取寄せを開始(Web 申込のみ)。
	7月 19 日	「つくば市図書館懇話会」を設置。 (平成30年度に5回、令和元年度に5回、計 10 回の開催) 「第1回つくば市図書館懇話会」を開催。
	9月3日	「第2回つくば市図書館懇話会」を開催。
	10月 20 日	「つくば Flower Market & Open Library」に自動車図書館で参加。
	21 日	〔中央公園〕
	11月 11 日	図書館企画「世界のゲームで遊ぼう」を開催。
	11月 24 日	公開シンポジウム「図書館の未来のかたち-つくば市の図書館のこれからを考える-」を開催。〔市役所本庁舎〕
	11月 26 日	「第3回つくば市図書館懇話会」を開催。
	12月5日	「第4回つくば市図書館懇話会(市内視察)」を開催。
平成 31 年 (2019 年)	1月 25 日	「ぬいぐるみのおとまり会」を開催。(以降毎年実施)
	1月 29 日	「第5回つくば市図書館懇話会」を開催。
	3月 21 日	「つくば VAN 泊」に自動車図書館で参加。
	4月1日	図書館職員 13 名、再任用職員2名、図書館専門員 10 名体制。 一部の祝日(年間 16 日)及び月末休館日(年間6日)を開館。 市庁舎コミュニティ棟1階オープンスペースへの配本を実施(365 冊)。 自動車図書館の隔週土曜日及び一部平日午前の運行を開始。
	4月 26 日	「第6回つくば市図書館懇話会」を開催。
令和元年 (2019 年)	5月 11 日	「ライブラリーピクニック」を開催。〔つくば文化会館アルス屋外展示場〕
	12 日	
	7月 30 日	「第7回つくば市図書館懇話会」を開催。
	8月	市庁舎ブックポストを市庁舎コミュニティ棟1階に移設。
	8月 29 日	「第8回つくば市図書館懇話会」を開催。
	9月	中央図書館の閉架書庫電動集密書架の改修。
	9月 25 日	「つくば市域図書館連携に関する協定」締結式を挙行。 「第1回つくば市域図書館連携協議会」を開催。
	10月3日	「第9回つくば市図書館懇話会」を開催。

年	月日	事項等
	10月15日	「第10回つくば市図書館懇話会」を開催。
	10月29日	JICA 筑波の協力により「The World Week@中央図書館」を開催。
	11月2日	「ライブラリーピクニック」を開催。〔筑波大学附属図書館〕
	11月3日	「ブックカフェ」を開催。〔BiVi つくば前〕
令和2年 (2020年)	2月28日	新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大防止のため、図書館で開催するイベントの中止を決定。
	3月	つくば文化会館アルスのエレベーター改修。
	3月23日	つくば市図書館懇話会から教育長へ提言書を提出。
	4月1日	図書館職員13名、再任用職員2名、図書館専門員11名体制。 一部の祝日(年間12日)及び月末休館日(年間5日)を開館。
	4月4日 5日	新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大により政府・茨城県知事から 土日・夜間の外出自粛要請が発表。 中央図書館及び4交流センター図書室を臨時休館。
	4月7日	中央図書館のみ午後5時までの特別開館を実施。
	4月8日	新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大により首都圏に緊急事態宣言 が発令。 中央図書館及び4交流センター図書室を臨時休館とし、自動車図書館や ブックポスト、Web サービスも含めた全ての図書館サービスを休止。
	5月12日	段階的に図書館サービスの提供を再開。
	10月	中央図書館及びアルスホールの照明設備のLED化改修工事。
	10月1日	「UV-C紫外線照射自動巡回ロボット」を試験的に導入。
令和3年 (2021年)	1月5日	国立国会図書館デジタル化資料送信サービスにおいて、国立国会図書館 デジタルコレクションの複写サービスを開始。
	1月18日	新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大により茨城県独自の緊急事態 宣言が発令。 市内全交流センター休館に伴い、4交流センター図書室を臨時休室。 (予約本の受取及びブックポストへの返却は可能) 中央図書館は滞在型サービスを休止して通常開館。
	2月8日	4交流センター図書室の運営を再開。
	3月	「つくば文化会館アルス長寿命化計画」を策定。 中央図書館の閉架書庫電動集密書架の改修。
	4月1日	図書館職員12名、再任用職員3名、図書館専門員12名体制。 一部の祝日(年間12日)及び月末休館日(年間5日)を開館。

年	月日	事項等
	5月1日	茨城県立図書館が提供する「インターネットによる遠隔地貸出サービス(ぶつくびん)」に参加し、サービスの提供開始。
	6月1日	「つくば市域図書館連携に関する協定書」に基づき、筑波大学附属図書館との直接の相互貸借を開始。
	8月7日 8日	「本のふくぶくろ」実施。(以降毎年実施)
	8月18日	新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大により国の緊急事態宣言及び茨城県の非常事態宣言が発令。 中央図書館及び4交流センター図書室を臨時休館。
	9月24日	図書館サービスの提供を再開。
令和4年 (2022年)	4月1日	図書館職員15名、再任用職員3名、図書館専門員11名体制。 一部の祝日(年間12日)及び月末休館日(年間7日)を開館。 自動車図書館3号車を導入し、運行を開始。 自動車図書館のステーションを増設。(ステーション50か所)
	8月2日	下妻市、土浦市と広域利用サービスを開始。
	9月	図書館情報システムの更新。 図書館情報システムの更新に伴う臨時休館(9月20日～10月3日)。
	10月	自動車図書館のステーションを増設。(ステーション54か所)
	10月4日	電子図書館サービスの提供を開始。 予約本の受取館としてサービスポイントを増設。[市庁舎(コミュニティ棟)]
令和5年 (2023年)	3月30日	「つくスマ」アプリ内で図書館利用カードの電子化サービスを開始。
	4月1日	職員13名、再任用職員4名、図書館専門員12名体制。 一部の祝日(年間14日)及び月末休館日(年間5日)を開館。 自動車図書館のステーションを増設。(ステーション57か所)
	5月13日 14日	「ライブラリーピクニック」を開催。遠隔ロボット(オリヒメ)による絵本読み聞かせ実施。[つくば文化会館アルス屋外展示場]
	6月13日	予約本の受取館としてサービスポイントを増設。[かとりだい交流館]
	7月	夏休み期間中の遠隔ロボット(オリヒメ)によるおはなし会の実施(計8回)。
	8月	つくば文化会館アルスの屋上改修工事。(～12月)
	10月1日	自動車図書館のステーションを増設。(ステーション58か所) 学校図書室を地域に開放し、図書館サービスの提供を開始。 [研究学園小学校図書室]
	10月	つくば市議会予算決算委員会総務文教分科会から新しい中央図書館の建設に向けた構想の検討について提言を受ける。

年	月日	事項等
令和6年 (2024年)	2月	中央図書館の視聴覚コーナー改修及び閲覧席の増設。 空調設備改修工事に伴う筑波交流センター図書室の休室。(～6月) 筑波交流センター図書室休室に伴う自動車図書館の臨時運行。(毎週日曜日)
	4月1日	一部の祝日(年間14日)及び月末休館日(年間5日)を開館。 自動車図書館のステーションを増設。(ステーション62か所)
	5月11日 12日	「ライブラリーピクニック」を開催。〔つくば文化会館アルス屋外展示場〕
	6月18日	市内小・中学校におけるGIGA端末を活用した電子書籍利用促進のため、学校と連携し児童・生徒への電子図書館IDの発行。
	7月	つくば文化会館アルスの外壁及び中庭改修工事。(～3月予定)

13 年間統計

中央図書館統計（2年度比較）

			令和5年度 (2023年度)	令和4年度 (2022年度)
開館状況	1	開館日数	294 日	285 日
	2	開館時間	2,769 時間	2,687 時間
登録等	3	常住人口（各年度10月1日現在）	255,807 人	252,481 人
	4	入館者数 * 1	455,178 人	478,875 人
	5	一日当たりの平均入館者数 * 2	1,835 人	1,680 人
	6	登録者数	44,943 人	42,375 人
	7	うち市外居住者数（在学・在勤）	1,352 人	1,168 人
	8	うち広域利用者	194 人	63 人
蔵書	9	蔵書冊数	323,443 冊(点)	320,216 冊(点)
	10	内訳 ①図書資料数	295,948 冊	294,844 冊
	11	うち開架	161,930 冊	163,132 冊
	12	うち自動車図書館	39,146 冊	41,811 冊
	13	②視聴覚資料数	13,169 点	13,199 点
	14	③電子書籍数	3,553 点	1,468 点
	15	④雑誌数	10,773 冊	10,705 冊
	16	雑誌種類	212 種	212 種
	17	新聞数	33 紙	32 紙
団体	18	団体登録	97 団体	86 団体
	19	団体利用	100 団体	126 団体
	20	団体貸出冊数	8,703 冊	8,187 冊
個人貸出	21	貸出者数（延べ数）	262,868 人	244,661 人
	22	うち児童数（延べ数）	58,293 人	53,714 人
	23	一日当たり貸出者数	894 人	858 人
	24	貸出総数	1,043,806 冊(点)	1,025,444 冊(点)
	25	内訳 ①図書資料	954,319 冊	940,876 冊
	26	②視聴覚資料	50,194 点	52,267 点
	27	③電子書籍	13,164 点	6,586 点
	28	④雑誌	26,129 冊	25,715 冊
	29	利用者一人当たりの貸出数	3.97 冊(点)	4.19 冊(点)
	30	視聴覚機器利用者数	1,305 人	695 人

中央図書館統計（2年度比較）

			令和5年度 (2023年度)	令和4年度 (2022年度)
受 入	31	年間資料購入総額（決算額）	46,484 千円	40,545 千円
	32	内訳 ①図書資料	30,132 千円	26,893 千円
	33	②視聴覚資料	2,847 千円	2,855 千円
	34	③電子書籍使用料	10,018 千円	7,473 千円
	35	④雑誌購読料	2,409 千円	2,341 千円
	36	⑤新聞購読料	1,078 千円	983 千円
	37	年間受入資料総数	21,647 冊(点)	19,765 冊(点)
	38	内訳 ①図書資料	16,519 冊	15,252 冊
	39	うち購入	15,805 冊	14,530 冊
	40	うち寄贈他	714 冊	722 冊
	41	②視聴覚資料	429 点	361 点
	42	うち購入	402 点	330 点
	43	うち寄贈他	27 点	31 点
	44	③電子書籍	2,085 点	1,468 点
	45	④雑誌	2,614 点	2,684 点
除 籍	46	年間除籍資料総数	13,755 冊(点)	16,146 冊(点)
	47	内訳 ①図書資料	10,811 冊	12,734 冊
	48	②視聴覚資料	397 点	828 点
	49	③電子書籍	0 点	0 点
	50	④雑誌	2,547 冊	2,584 冊

備考

1. 蔵書とは、図書資料、視聴覚資料（CD・DVD等）、電子書籍、雑誌及び新聞などを指す。
2. 個人貸出には、自動車図書館・市庁舎コミュニティ棟・かとりだい交流館・電子の利用者も含む。
3. 4交流センター図書室及び学校図書室のデータは含まない。

注釈

- * 1 令和5年度は8月1日及び10月8日～11月30日の間（うち開館日46日）、カウンターの故障により入館者数の計測不可。
- * 2 令和5年度は開館日からカウンターの故障により計測できなかった日を除いた日数で除算して算出。

I 中央図書館統計（月別）

	開館日数	入館者数*	貸出人数 (団体含む)	貸出冊数 (団体含む)	予約・リクエスト件数	視聴覚機器 利用人数
4月	25	42,824	19,783	86,859	15,522	82
5月	26	43,298	19,171	81,754	15,683	105
6月	22	36,938	16,643	71,724	15,216	85
7月	25	51,146	20,956	91,533	16,866	295
8月	27	55,250	19,797	84,392	16,447	176
9月	25	44,296	19,484	84,992	17,028	143
10月	26	9,842	18,983	80,900	16,982	91
11月	25	0	17,816	75,037	16,455	92
12月	23	39,809	17,776	77,294	15,667	70
1月	24	43,112	17,949	77,623	17,519	60
2月	21	42,186	16,635	70,238	15,491	45
3月	25	46,477	20,044	85,520	16,832	61
合計	294	455,178	225,037	967,866	195,708	1,305
日平均		1,835	765	3,292	666	4
月平均	24.5	44,967	18,753	80,656	16,309	109

※8月1日及び10月8日～11月30日の間（うち開館日46日）、カウンターの故障により入場者数の計測不可。
日平均は、開館日からカウンターの故障により計測できなかった日を除いた日数で除算して算出。月平均は、日平均に開館日数を乗じた値を12月で除算して算出。

II 有効登録者数（年齢別）

年齢	登録者数	比率(%)
0～6	1,990	4.4
7～12	9,005	20.1
児童小計	10,995	24.6
13～15	1,755	3.9
16～18	1,308	2.9
19～22	2,091	4.7
23～29	2,885	6.4
30～39	6,160	13.8
40～49	8,206	18.3
50～59	4,886	10.9
60～	6,476	14.5
一般小計	33,767	75.4
個人計	44,762	100.0
団体等計	181	
総計	44,943	

III 貸出人数（館別・年齢別）

（中央図書館・自動車図書館・電子図書館）

年齢	中央	市庁舎 コミュニティ棟	かとりだい 交流館	郵送	自動車	電子	合計	比率(%)
0～6	13,233	497	290	0	3,111	83	17,214	6.5
7～12	30,379	586	332	0	7,320	2,462	41,079	15.6
児童小計	43,612	1,083	622	0	10,431	2,545	58,293	22.2
13～15	5,540	71	6	0	31	189	5,837	2.2
16～18	3,035	19	6	1	17	61	3,139	1.2
19～22	5,386	43	2	0	9	127	5,567	2.1
23～29	7,254	218	2	0	50	534	8,058	3.1
30～39	28,174	1,812	440	0	573	2,726	33,725	12.8
40～49	51,985	2,716	835	0	858	3,530	59,924	22.8
50～59	33,352	1,486	193	0	363	2,029	37,423	14.2
60～	45,915	1,167	236	0	1,509	1,423	50,250	19.1
一般小計	180,641	7,532	1,720	1	3,410	10,619	203,923	77.6
相互貸借	652						652	0.2
個人計	224,905	8,615	2,342	1	13,841	13,164	262,868	100.0
団体計	100						100	
その他計	31						31	
総計	225,036	8,615	2,342	1	13,841	13,164	262,999	
比率(%)	60.4	2.3	0.6	0.0	3.7	3.5	70.6	

（4交流センター図書室・学校図書室）

（全館）

年齢	谷田部	筑波	小野川	荃崎	研究学園小	みどりの南小	合計	比率(%)	全館合計	比率(%)
0～6	3,359	564	2,120	850	34		6,927	6.3	24,141	6.5
7～12	6,304	1,392	3,998	2,388	87		14,169	12.9	55,248	14.8
児童小計	9,663	1,956	6,118	3,238	121		21,096	19.3	79,389	21.3
13～15	474	237	462	351	9		1,533	1.4	7,370	2.0
16～18	178	234	354	110	2		878	0.8	4,017	1.1
19～22	260	244	190	111	5		810	0.7	6,377	1.7
23～29	822	288	450	203	4		1,767	1.6	9,825	2.6
30～39	7,047	955	2,816	1,676	141		12,635	11.5	46,360	12.4
40～49	10,228	2,600	6,468	3,478	159		22,933	20.9	82,857	22.2
50～59	3,996	1,936	5,506	2,671	78		14,187	12.9	51,610	13.9
60～	7,044	4,100	9,005	13,577	24		33,750	30.8	84,000	22.6
一般小計	30,049	10,594	25,251	22,177	422		88,493	80.7	292,416	78.5
相互貸借									652	0.2
個人計	39,712	12,550	31,369	25,415	543		109,589	100.0	372,457	100.0
団体計									100	
その他計									31	
総計	39,712	12,550	31,369	25,415	543		109,589		372,588	
比率(%)	10.7	3.4	8.4	6.8	0.1		29.4		100.0	

IV 蔵書冊数(館別・資料区分別)

資料区分	中央	自動車	谷田部	筑波	小野川	荃崎	研究学園小	みどりの南小	電子	合計
一般図書	167,644	12,898	32,945	17,022	17,319	35,067	2,218	819	2,267	288,199
ヤング	6,336	0	0	35	0	1	0	0	0	6,372
児童図書	71,431	26,248	16,331	15,855	14,173	15,353	1,024	100	1,286	161,801
外国語一般	7,661	0	0	0	1	1	0	0	0	7,663
外国語児童	3,730	0	180	12	49	28	0	0	0	3,999
視聴覚資料	13,169	0	0	7	0	0	0	0	0	13,176
雑誌	10,773	0	775	1,441	689	848	0	0	0	14,526
全資料合計	280,744	39,146	50,231	34,372	32,231	51,298	3,242	919	3,553	495,736
比率(%)	56.6	7.9	10.1	6.9	6.5	10.3	0.7	0.2	0.7	100.0

※一般図書には、文庫、参考図書、郷土資料、市政資料、教科書を含む。

※児童図書には、絵本、紙芝居を含む。

V 受入冊数(館別)

	中央	自動車	谷田部	筑波	小野川	荃崎	研究学園小	みどりの南小	電子	合計
受入冊数	16,849	2,713	1,823	1,745	1,795	1,675	0	0	2,085	28,685

VI 貸出冊数(館別・資料区分別)

(中央図書館・自動車図書館・電子図書館)

資料区分	中央	市庁舎 コミュニティ棟	かとりだい 交流館	郵送	自動車	電子	合計	比率(%)
一般図書	330,595	8,290	1,571	3	10,237	8,461	359,157	34.1
文庫	59,273	849	162	2	116	0	60,402	5.7
ヤング	62,283	100	21	0	2	0	62,406	5.9
外国語一般	2,669	7	6	0	0	0	2,682	0.3
参考図書	33	23	0	0	0	0	56	0.0
地域資料	1,108	0	6	0	8	0	1,122	0.1
市政資料	90	1	0	0	0	0	91	0.0
教科書	184	0	0	0	0	0	184	0.0
児童図書	232,442	4,141	1,705	0	26,042	3,437	267,767	25.4
絵本	188,034	4,989	1,676	0	11,162	1,266	207,127	19.7
紙芝居	6,503	21	58	0	14	0	6,596	0.6
外国語児童	8,630	28	6	0	0	0	8,664	0.8
視聴覚資料	50,194	0	0	0	0	0	50,194	4.8
雑誌	25,823	242	62	0	2	0	26,129	2.5
分類不明	0	0	0	0	0	0	0	0.0
計	967,861	18,691	5,273	5	47,583	13,164	1,052,577	100.0
比率(%)	63.7	1.2	0.3	0.0	3.1	0.9	69.3	
うち相互貸借	855						855	
うち団体	8,703						8,703	
うちその他	68						68	
開館日数	294	294	237		198			
一日平均	3,292	64	22		240			

(4 交流センター図書室・学校図書室)

(全館)

資料区分	谷田部	筑波	小野川	荃崎	研究学園小	みどりの南小	合計	比率(%)	全館合計	比率(%)
一般図書	59,216	23,745	43,911	47,824	702		175,398	37.5	534,555	35.2
文庫	7,405	2,216	6,757	11,824	21		28,223	6.0	88,625	5.8
ヤング	201	34	88	130	2		455	0.1	62,861	4.1
外国語一般	28	0	12	3	6		49	0.0	2,731	0.2
参考図書	3	0	2	2	0		7	0.0	63	0.0
地域資料	228	226	314	261	1		1,030	0.2	2,152	0.1
市政資料	5	1	2	1	0		9	0.0	100	0.0
教科書	0	0	2	0	0		2	0.0	186	0.0
児童図書	49,195	11,587	36,588	21,461	449		119,280	25.5	387,047	25.5
絵本	58,723	11,490	32,835	15,692	1,072		119,812	25.6	326,939	21.5
紙芝居	1,744	369	581	177	0		2,871	0.6	9,467	0.6
外国語児童	125	11	61	16	3		216	0.0	8,880	0.6
視聴覚資料	1	0	0	0	0		1	0.0	50,195	3.3
雑誌	6,698	2,741	5,710	4,873	0		20,022	4.3	46,151	3.0
分類不明	0	0	0	0	0		0	0.0	0	0.0
計	183,572	52,420	126,863	102,264	2,256		467,375	100.0	1,519,952	100.0
比率(%)	12.1	3.4	8.3	6.7	0.1		30.7		100.0	
うち相互貸借									855	
うち団体									8,703	
うちその他									68	
開館日数	294	247	294	294	56					
一日平均	624	212	432	348	40					

Ⅶ 貸出冊数 (全館・分類別)

分類	冊数	うち電子	比率(%)
0 総記	17,507	582	1.2
1 哲学	33,762	584	2.2
2 歴史	85,462	959	5.6
3 社会	71,998	1,222	4.7
4 自然	118,722	2,251	7.8
5 技術	101,030	1,226	6.6
6 産業	27,151	382	1.8
7 芸術	86,065	861	5.7
8 言語	15,540	339	1.0
9 文学	87,491	760	5.8
N 小説	347,178	2,732	22.8
PC コンピュータ	2,320	-	0.2
W 大活字本	2,917	-	0.2
E 絵本	331,501	1,266	21.8
C 紙芝居	9,471	-	0.6
M コミック	84,027	-	5.5
S 進路情報	433	-	0.0
TE 点字	100	-	0.0
T 市政資料	186	-	0.0
TB 教科書	760	-	0.1
Z 雑誌	46,136	-	3.0
A 録音資料	19,511	-	1.3
V 映像資料	30,684	-	2.0
X その他	0	-	0.0
合計	1,519,952	13,164	100.0

※絵本には、電子書籍の映像資料を含む。

Ⅷ 蔵書冊数 (全館・分類別)

分類	冊数	うち電子	比率(%)
0 総記	10,424	142	2.1
1 哲学	12,484	147	2.5
2 歴史	37,457	315	7.6
3 社会	35,814	353	7.2
4 自然	33,928	526	6.8
5 技術	29,354	347	5.9
6 産業	12,087	161	2.4
7 芸術	34,295	205	6.9
8 言語	7,562	98	1.5
9 文学	67,370	346	13.6
N 小説	103,414	720	20.9
PC コンピュータ	648	-	0.1
W 大活字本	2,845	-	0.6
E 絵本	64,042	193	12.9
C 紙芝居	3,717	-	0.7
M コミック	8,236	-	1.7
S 進路情報	373	-	0.1
TE 点字	251	-	0.1
T 市政資料	3,381	-	0.7
TB 教科書	358	-	0.1
Z 雑誌	14,520	-	2.9
A 録音資料	7,598	-	1.5
V 映像資料	5,578	-	1.1
X その他	0	0	0.0
合計	495,736	3,553	100.0

※絵本には、電子書籍の映像資料を含む。

Ⅸ 予約・リクエスト受付件数

中央	195,708
自動車	353
谷田部	2,922
筑波	1,620
小野川	1,964
荃崎	3,356
電子	2,516
その他	5
合計	208,444

リクエスト受付場所内訳
(中央のみ)

窓口	1,809
Web	4,888
自動車	68
合計	6,765

4交流センター図書室から
中央図書館への購入依頼

谷田部	69
筑波	9
小野川	163
荃崎	196
合計	437

X その他統計（5年度比較）

		令和5年度 (2023年度)	令和4年度 (2022年度)	令和3年度 (2021年度)	令和2年度 (2020年度)	令和元年度 (2019年度)		
相互貸借	合計冊数	2,259	2,401	2,479	1,881	2,126		
	内訳	貸出冊数	839	658	617	532	662	
		借受冊数	1,420	1,743	1,862	1,349	1,464	
		借受先 内訳	国	2	7	1	1	0
			県外	5	10	27	5	6
県内	1,413		1,726	1,834	1,343	1,458		
複写	受付件数	704	685	718	710	1,045		
オンライン データベース (新聞情報室)	利用件数計	63	62	91	25	28		
	内訳	新聞・官報 データベース	38	52	50	23	28	
		国会図書館デジタル化 資料送信サービス	25	10	41	2	—	
視聴覚ブース	機器利用人数	1,305	695	869	394	2,301		
調査相談	件数合計	1,446	1,458	1,440	1,389	1,608		
	内訳	口頭	1,390	1,401	1,383	1,340	1,469	
		電話	9	50	42	45	65	
		電子メール	47	7	15	4	74	
音訳サービス	朗読CD郵送枚数	0	120	128	256	222		
WebOPAC	検索件数	2,104,522	1,985,874	1,716,719	1,560,611	1,351,947		
駐車場	駐車券サービス枚数	76,129	68,457	61,460	56,479	74,789		
館外返却	返却冊数計	58,500	37,112	29,850	24,217	34,042		
	内訳	つくば市役所 コミュニティ棟	35,567	22,317	17,807	14,135	20,835	
		かとりだい交流館	6,758	—	—	—	—	
		大穂交流センター	4,493	4,280	3,510	3,581	4,436	
		豊里交流センター	1,570	1,848	1,553	1,430	1,761	
		並木交流センター	8,733	7,276	6,774	4,999	6,932	
		島名交流センター	1,288	1,276	166	—	—	
		広岡交流センター	91	115	40	72	78	
中央図書館入館者数	455,178	478,875	434,851	393,376	559,798			
アルスホール利用件数	355	353	298	181	276			
予算（千円）	A. 市の一般会計予算額	108,510,000	101,532,000	89,713,000	88,525,000	88,040,000		
	B. 図書館費	568,998	414,989	405,231	420,383	387,186		
	(Aに占める割合)	(0.52%)	(0.41%)	(0.45%)	(0.47%)	(0.44%)		
	C. 資料費計	56,377	49,241	40,630	43,926	43,851		
	(Bに占める割合)	(9.91%)	(11.87%)	(10.03%)	(10.45%)	(11.33%)		
	内訳	図書装備委託料	1,328	1,004	—	495	—	
		図書資料	38,140	32,877	32,877	35,600	35,500	
		視聴覚資料	2,860	2,860	2,860	3,400	3,500	
		電子書籍使用料	10,032	8,580	—	—	—	
		雑誌購読料	3,644	3,230	3,230	3,230	3,225	
新聞購読料		1,151	1,144	1,139	1,172	1,144		
加除式法規集		550	550	524	524	482		

備考

1. 予算については、4交流センター図書室および学校図書室の運営に要する経費も含む。

14 ボランティア活動状況

登録状況 令和5年度(2023年度)

分野	おはなし	児童サービス	修理	音訳	点訳	配架	地域文化	地域資料	図書館サポーター
登録人数	58	18	30	16	11	39	7	6	31

活動状況

分野	おはなし		児童サービス		修理		音訳		点訳		配架		地域文化		地域資料		図書館サポーター	
	活動日数	延人数	活動日数	延人数	活動日数	延人数	活動日数	延人数	活動日数	延人数	活動日数	延人数	活動日数	延人数	活動日数	延人数	活動日数	延人数
4月	5	11	1	6	8	45	0	0	1	9	25	50	2	12	4	12	0	0
5月	5	11	0	0	10	65	0	0	1	9	22	65	2	11	4	12	2	8
6月	6	17	2	6	6	41	0	0	1	8	21	60	2	12	3	8	0	0
7月	6	19	0	0	7	54	0	0	1	8	24	64	2	14	4	10	2	2
8月	5	11	0	0	10	67	0	0	0	0	27	58	2	14	5	14	5	7
9月	5	9	1	4	7	55	0	0	1	7	24	59	2	14	4	8	1	1
10月	5	10	1	4	8	65	0	0	1	9	25	66	2	14	4	11	0	0
11月	5	11	0	0	9	80	0	0	1	7	25	55	2	13	5	13	0	0
12月	4	8	1	4	8	51	0	0	1	7	20	49	2	14	4	9	1	4
1月	5	11	1	3	7	54	0	0	1	9	24	56	2	14	4	11	0	0
2月	4	9	0	0	5	36	0	0	1	9	19	44	2	16	3	6	0	0
3月	5	14	1	5	7	53	0	0	1	4	25	60	2	14	3	9	0	0
計	60	141	8	32	92	666	0	0	11	86	281	686	24	162	47	123	11	22

ボランティア活動実績

◆おはなしボランティア

- ・おはなし会 毎週土曜日 令和5年度延べ聴衆数 1,307人
 第1土曜 「荃崎おはなし会」 第3土曜 「おはなしまつぼっくり」
 第2土曜 「おはなしの泉」 第4土曜 「おはなしの森」
 第5土曜がない月は最終日曜 「筑波大学ストーリーテリング研究会」
- ・「グループ・スイミー」公演 6月24日(土) 聴衆数 107人
- ・「パネルシアターかくれんぼ&ゆめぼっぼ」公演 7月8日(土) 聴衆数 102人

◆児童サービスボランティア

- ・こどもコーナーの配架及び書架整理
- ・クリスマスカード作成(12月)

◆修理ボランティア

- ・毎週火・水曜日 令和5年度修理冊数2,487冊

◆音訳ボランティア

- ・令和5年度未実施、活動内容検討中

◆点訳ボランティア

- ・毎月第3木曜日 点訳絵本の作成

◆地域文化ボランティア

- ・「本好きのためのゆるっとトークルーム」 毎月第1土曜日 延べ参加者50人
- ・「おとなのためのブックトーク」 毎月第3土曜日 延べ参加者112人

◆地域資料ボランティア

- ・毎週水曜日 つくば市関連の新聞記事を集めた「つくばトピックニュース」の作成

◆図書館サポーターボランティア

- ・ライブラリーピクニックのイベント補助
- ・夏休み期間中の遠隔ロボット(オリヒメ)によるおはなし会の補助
- ・ランタンアート2023の図書館部分へランタン設置作業等

15 所蔵雑誌一覧

★…新規購読誌 谷田部→谷／筑波→筑／小野川→小／荃崎→荃

一般・外国語 (誌名50音順)

No.	誌名	刊行頻度	保存年限 (中央館)	交流センター 所蔵状況				雑誌スポンサー名
あ								
1	I/O (アイオー)	月刊	2年					
2	AERA	週刊	1年					
3	AERA with Kids	季刊	2年					(株)Kids Creation
4	アクアライフ	月刊	2年					
5	AXIS	隔月	2年					
6	明日の友	隔月	2年					
7	アニメージュ	月刊	2年					
8	&プレミアム	月刊	2年					atelier ゴーシュ
9	一個人	隔月	2年			小		
10	一枚の繪	隔月	2年					
11	イラストレーション	季刊	2年					
12	Wedge	月刊	2年					
13	UOMO (ウオモ)	月刊	2年					
14	うかたま	季刊	2年					
15	歌の手帖	月刊	2年					
16	美しいキモノ	季刊	2年					
17	栄養と料理	月刊	2年					たまご&ファーマーズ(株)
18	エコノミスト	週刊	2年					
19	SFマガジン	隔月	2年					
20	ESSE	月刊	2年	谷	筑	小	荃	(特非)明豊会
21	NHKきょうの健康	月刊	2年	谷	筑	小	荃	
22	NHKきょうの料理	月刊	2年	谷	筑	小	荃	
23	NHK趣味の園芸	月刊	2年	谷	筑	小	荃	
24	NHKすてきにハンドメイド	月刊	2年	谷	筑	小	荃	
25	NHKみんなのうた	隔月	2年					
26	FQ JAPAN	季刊	2年					(株)Kids Creation
27	MJ無線と実験	季刊	2年					
28	LDK ※中央館所蔵なし	月刊	—	谷	筑	小		
29	ELLE DÉCOR	年5	2年					(有)ホームシック
30	園芸ガイド	季刊	2年					
31	ENGINE	月刊	2年					
32	OCEANS	月刊	2年					
33	Oz magazine	隔月	2年					
34	Oggi	月刊	2年					
35	男の隠れ家	月刊	2年					
36	おとなの週末	月刊	2年					
37	おりがみ	月刊	2年					
38	オール讀物	隔月	2年					
39	オレンジページ	月2	2年	谷	筑	小		(株)Kids Creation
40	★音楽の友	月刊	2年					

一 般 ・ 外 国 語 (誌名50音順)							
No.	誌 名	刊行 頻度	保存年限 (中央館)	交流センター 所蔵状況			雑誌スポンサー名
—	English journal 2023年1月号で購読停止	月刊	2年				
—	安心 2023年4月号で購読停止	月刊	2年				
か							
41	カー&ドライバー	月刊	2年				
42	科学	月刊	2年				
43	岳人	月刊	2年				
44	学校図書館	月刊	2年				
45	家庭画報	月刊	2年				荃
46	からだにいいこと	隔月	2年				
47	ガルビィ	年5	2年				
48	キネマ旬報	月2	2年				
49	CAPA (キャパ)	月刊	2年				
50	★ CanCam	月刊	2年				
51	クーヨン	月刊	2年				えほんやなずな
52	暮らしの手帖	隔月	2年	谷	筑	小	荃
53	Clara	月刊	2年				
54	CREA TRAVELLER	季刊	2年				
55	クロワッサン	月2	2年		筑	小	荃
56	群像	月刊	2年				
57	芸術新潮	月刊	永年				
58	月刊自家用車	月刊	2年				
59	★ GOETHE (ゲーテ)	月刊	2年				
60	★ 健康	季刊	2年				
61	現代詩手帖	月刊	2年				
62	現代農業	月刊	2年				
63	航空ファン	月刊	2年				
64	コットンタイム	隔月	2年				
65	kodomoe (コドモエ)	隔月	2年	谷			(株)Kids Creation
66	こどもとしょかん	季刊	2年				
67	子供の科学	月刊	2年	谷	筑	小	荃 (株)Kids Creation
68	ゴルフダイジェスト	月刊	2年				
69	碁ワールド	月刊	2年				
さ							
70	Cycle Sports	月刊	2年				
71	サッカーマガジン	隔月	2年				
72	THE21	月刊	2年				
73	サライ	月刊	2年		筑		荃
74	サンデー毎日	週刊	2年				
75	散歩の達人	月刊	2年	谷			荃
76	JTB時刻表	月刊	1年				
77	CNN English Express	月刊	2年				
78	CD journal	季刊	2年				

一 般 ・ 外 国 語 (誌名50音順)							
No.	誌 名	刊行 頻度	保存年限 (中央館)	交流センター 所蔵状況			雑誌スポンサー名
79	Jazz Life	月刊	2年				
80	週刊ダイヤモンド	週刊	2年				
81	週刊東洋経済	週刊	2年				ラボ整理研究室
82	週刊文春	週刊	2年				
83	週刊ベースボール	週刊	2年				
84	ジュニアエラ	月刊	2年				(株)Kids Creation
85	将棋世界	月刊	2年				
86	小説幻冬	月刊	2年				
87	小説新潮	月刊	2年				
88	常陽藝文(寄贈)*1	月刊	永年				
89	新建築 住宅特集	月刊	2年				
90	新潮	月刊	2年				
91	SWITCH	月刊	2年				
92	スイミング マガジン	月刊	2年				
93	数学セミナー	月刊	2年				
94	スクリーン	月刊	2年				
95	Stereo	月刊	2年				
96	STORY	月刊	2年				
97	すばる	月刊	2年				
98	スマッシュ	月刊	2年				
99	墨	隔月	2年				
100	★住む。	季刊	2年				
101	相撲	月刊	2年				
102	正論	月刊	2年				
103	世界	月刊	2年				
104	装苑	隔月	2年				
—	ソトコト 2024年5月号で購読停止	季刊	2年				
—	住まいの設計 2023年6月号で購読停止	隔月	2年				
た							
105	ダ・ヴィンチ	月刊	2年		筑		アカデミックエクスプレス(株)
106	Tarzan	月2	2年				つくば電気管理事務所
107	多聴多読マガジン	隔月	2年				
108	卓球王国	月刊	2年				
109	旅の手帖	月刊	2年			荃	(学)塚原学園 青葉台初等学部
110	短歌	月刊	2年				
111	Dancyu	月刊	2年			小	
112	中央公論	月刊	2年				
113	つり人	月刊	2年				
114	Discover Japan	月刊	2年				
115	Disney fan	月刊	2年				
116	鉄おも!	月刊	2年				
117	鉄道ファン	月刊	2年				

一 般 ・ 外 国 語 (誌名50音順)							
No.	誌 名	刊行 頻度	保存年限 (中央館)	交流センター 所蔵状況			雑誌スポンサー名
118	電子工作マガジン	季刊	2年				
119	天然生活	月刊	2年	谷	筑	小	荃
120	天文ガイド	月刊	2年				
121	ドゥーパ!	季刊	2年				
122	図書館雑誌 (寄贈)	月刊	永年				
123	飛ぶ教室	季刊	2年				
な							
124	なごみ	月刊	2年				
125	Number	隔週	2年				Japan Sports Ticket
126	Nicola	月刊	2年				
127	日経woman	月刊	2年				(学)塚原学園 青葉台初等学部
128	日経サイエンス	月刊	2年				
129	日経トレンディ	月刊	2年	谷			
130	日経パソコン	月2	2年				
131	日経ビジネス	週刊	2年				
132	日経PC21	月刊	2年		筑		
133	日経マネー	月刊	2年				
134	Newsweek (日本版)	週刊	2年				
135	Newsがわかる	月刊	2年				(株)Kids Creation
136	Newton	月刊	2年				
137	猫びより	季刊	2年				
138	ノジュール	月刊	2年				
139	Non-no	月刊	2年				
—	ねこ 2022年冬号 (1月発行) で購読停止	季刊	2年				
は							
140	俳句	月刊	2年				
141	ハウジング	隔月	2年				
142	バスケットボール	月刊	2年				
143	Birder	月刊	2年				
144	Hanako	月刊	2年				
145	母の友	月刊	2年		筑		
146	バレーボール	月刊	2年				
147	Piano	月刊	2年				
148	PHP	月刊	2年				荃
149	美術手帖	季刊	永年				
150	美的	月刊	2年				
151	Be-pal	月刊	2年				
152	Forbes JAPAN	月刊	2年				
153	婦人画報	月刊	2年				
154	婦人公論	月刊	2年		筑	小	荃
155	婦人之友	月刊	2年			小	
156	武道 (寄贈) * 2	月刊	2年				

一 般 ・ 外 国 語 (誌名50音順)								
No.	誌 名	刊行 頻度	保存年限 (中央館)	交流センター 所蔵状況				雑誌スポンサー名
157	BRUTUS	月2	2年					つくば電気管理事務所
158	プレジデント	月2	2年					アカデミックエクスプレス(株)
159	プレジデントFamily	季刊	2年					(株)Kids Creation
160	フローリスト	隔月	2年					
161	文學界	月刊	2年					
162	文藝	季刊	2年					
163	文藝春秋	月刊	2年	谷	筑	小	荃	
164	Baby-mo (ベビモ)	季刊	2年					(株)Kids Creation
165	Pen	月刊	2年					
166	Voice	月刊	2年					
167	法学教室	月刊	2年					
168	本の雑誌	月刊	2年					
ま								
169	Mac Fan	月刊	2年					
170	MAMOR (寄贈) * 2	月刊	2年					
171	Mr. PC	季刊	2年					
172	ミステリマガジン	隔月	2年					
173	ミセスのスタイルブック	季刊	2年					
174	milsil (寄贈)	隔月	2年					
175	Men's Non-no	月刊	2年					
176	MOE	月刊	2年	谷				
177	モーターサイクリスト	月刊	2年					
178	モダンリビング	隔月	2年					(有)ホームシック
179	モノマガジン	月2	2年					
—	MEN'S CLUB 2023年2・3月号で購読停止	月刊	2年					
—	MORE 2024年春号(2月発行)で購読停止	月刊	2年					
や								
180	やさい畑	隔月	2年		筑			
181	山と溪谷	月刊	2年					
182	ゆうゆう	月刊	2年				荃	
ら わ								
183	ラジコンマガジン	月刊	2年					
184	ランナーズ	月刊	2年					
185	LEE	月刊	2年	谷				
186	留学ジャーナル	季刊	2年					
187	歴史街道	月刊	2年					
188	歴史群像	隔月	2年					
189	レタスクラブ ※中央館所蔵なし	月刊	—				荃	
190	ROKIN' ON JAPAN	月刊	2年					
191	Wan (わん)	季刊	2年					
—	レコード芸術 2023年7月号で購読停止	月刊	2年					

一 般 ・ 外 国 語 (誌名50音順)							
No.	誌 名	刊行 頻度	保存年限 (中央館)	交流センター 所蔵状況			雑誌スポンサー名
外国語							
192	Better Homes and Gardens	月刊	2年				
193	ESQUIRE	月刊	2年				
194	Hir@gana times	月刊	2年				
195	National Geographic	月刊	永年				
196	National Geographic KIDS	年10	2年				
197	Reader's Digest (英語版)	月刊	2年				
198	SCIENTIFIC AMERICAN	月刊	2年				
199	TIME	隔週	2年				
200	VOGUE	年10	2年				
201	亞洲週刊 (中国語)	週刊	1年				
202	天下雜誌 (中国語)	月2	2年				
203	Sélection Reader's Digest (フランス語)	年10	2年				
204	LA CUCINA ITALIANA	月刊	2年				

* 1 : 地域資料コーナーに設置 * 2 : 寄贈雑誌架 (前年雑誌棚内) に設置

児 童 (誌名50音順) * 3							
No.	誌 名	刊行 頻度	保存年限 (中央館)	交流センター 所蔵状況			雑誌スポンサー名
205	かがくのとも	月刊	永年		筑		
206	こどものとも	月刊	永年	谷	筑		茎
207	こどものとも 0・1・2	月刊	永年	谷	筑	小	茎
208	こどものとも 年少版	月刊	永年				
209	こどものとも 年中向き	月刊	永年		筑		
210	この本読んで	季刊	永年	谷	筑	小	茎
211	宇宙 (そら) のとびら	季刊	永年				
212	たくさんのふしぎ	月刊	永年				
213	ちいさなかがくのとも	月刊	永年				
214	テルミ : 点字資料	隔月	永年				

* 3 : こどもコーナーに設置

16 所蔵新聞一覧

中央図書館 所蔵新聞

No.	紙名	保存期間
一般紙		
1	朝日新聞	2年
2	産経新聞	1年
3	日本経済新聞	2年
4	毎日新聞	2年
5	読売新聞	2年
6	朝日新聞 (夕刊)	2年
7	日本経済新聞 (夕刊)	2年
8	毎日新聞 (夕刊)	2年
9	読売新聞 (夕刊)	2年
地方紙		
10	茨城新聞	2年
11	東京新聞	1年
12	福島民報	1年
13	福島民友	1年
スポーツ紙		
14	スポーツ報知	1年
15	日刊スポーツ	1年
専門紙		
16	日刊工業新聞	1年
17	日経MJ (日経流通新聞)	1年
18	日本農業新聞	1年

4 交流センター図書室 所蔵新聞

No.	紙名	保存期間
一般紙		
1	日本経済新聞	6ヶ月

No.	紙名	保存期間
政党機関紙		
19	しんぶん赤旗	1年
20	公明新聞	1年
21	社会新報	1年
22	自由民主	1年
23	週刊新社会	1年
外国語新聞		
24	The Japan News	1年
25	The Japan Times / International-New York Times	1年
26	人民日報 (中国)	1年
27	東亜日報 (韓国)	1年
28	民団新聞 (韓国・本文は日本語)	1年
学生・児童向け		
29	朝日小学生新聞	1年
30	毎日小学生新聞	1年
31	The Japan Times Alpha	1年
32	常陽小学生新聞	2年
33	茨城こども新聞	1年

17 雑誌スポンサー制度

つくば市立図書館では、雑誌資料提供の場を広告媒体として活用することにより、民間事業者等の情報発信の場を提供するとともに、図書館の財源を確保し、所蔵資料、施設、サービスのより一層の充実を図り、地域と連携し図書館からつくばの教育を応援することを目的として、雑誌スポンサー制度を実施しています。

令和6年度（2024年度）は11件のスポンサー様が23誌の雑誌に広告を掲出しています。スポンサーになっていただいた事業者に対して、以下の内容を図書館で実施しています。

- ① 選択いただいた雑誌の最新号カバー及び棚蓋にスポンサー名及び広告を掲出します。
- ② 図書館ホームページや館内掲示等でスポンサー名を紹介します。
- ③ スポンサーがつくばの教育を応援してくださっていることをPRできるように、企業や店舗などに掲示物を提供します。

スポンサー料は雑誌1誌につき15,000円（年度途中からは月額1,250円として算出）。支払い方法は、納入通知書での振込みとなり、支払いに必要な一切の経費はスポンサー負担になります。スポンサー認定期間は年度を単位として、決定の翌月から当該年度末までです（更新可能）。

詳しい雑誌リストや申込要件・方法等については、図書館ホームページを御覧いただくか、中央図書館までお問合せください。

【掲出例】



雑誌カバー



雑誌の棚蓋

令和6年度 つくば市の図書館概要

発行 令和6年(2024年)6月
発行者 つくば市立中央図書館
つくば市吾妻二丁目8番地
TEL 029(856)4311
FAX 029(856)6277

としょかんつうしん

No. 20



ヨ

モ

ツ

カ



でんししょせき 電子書籍は読んだかな？

つくば市電子図書館では、電子書籍を
読むことができます。読む時にひつような
IDとパスワードが、つくば市の小学生の
みなさんに、くばられました。

おすすめの電子書籍をしょうかい
しますので、ぜひ読んでみてください！



ほん
本を、デジタルのデータに
でんししょせき
したものを「電子書籍」と
いいます。



し でんし としょかん
つくば市電子図書館で
でんししょせき
電子書籍は読めるよ

にんきほん
人気の本も
でんししょせき
電子書籍で
よ
読めるかも！

よ
読みたい本が
ほん
いつでもどこでも
たの
楽しめるよ！

このQR
コードを
よんで
アクセス
してね



オ ス ス +
さ く ひ ん

がぞう
画像やタイトルなどを
タップしてみよう!
ほん
本のページにとぶよ



1~4も
あるよ



がくねん
ほかの学年も
あるよ

みぢか
ねんせい
「なぜ?どうして?身近なぎもん 4年生

ぶん
「よみとく10分」 (ほかのシリーズも見てみよう)

みたひろき かんしゅう がっけん
三田大樹(監修)/学研プラス/2020

もくじから、気になったページにとんで、
すぐ読むことができます!ひとつの話が
みじかいので、みじかい時間で読めるよ。



「だんだんできてくる3 トンネル」

かじまけんせつかぶしきがいしゃ かんしゅう かん
鹿島建設株式会社(監修)/フレーベル館/2020

トンネルはどうやってほるの?ほっている
とちゅう、くずれたりしないようなくふうは何
だろう。こうじのようすを見つめて、だんだん
できてくるようすがよくわかるよ。

よ ほうだい
読み放題から
ためしてみよう★



「かんたん!おいしい!フォトジェニック・
スイーツ 1 きらきら☆カラフルスイーツ」

みやざわ ちよ ちようぶんしゃ
宮沢うらら(著)/汐文社/2019 (2~4)

カラフルでかわいいスイーツの作り方が
たくさんっています。見ながら作っても、紙
の本のようによごすしんぱいがありません!



いし
「石はなにからできている?」

にしむらひさお ぶん たけだしんいち しゃしん いわさきしよてん
西村寿雄(文)/武田晋一(写真)岩崎書店

/2018 (ほかのシリーズも見てみよう)

ちきゅうの石は、川や海、山からはこ
ばれていて、色とりどりで、石のひよ
うめんを大きくしてみるとおもしろいよ。

かんたん!
今すぐ使える!



図書館の便利ワザ

様々な図書館サービス
使ってみませんかー

何かを調べたいと思ったとき、つくば市立中央図書館のほかにも皆さんが利用できる図書館があることをご存じですか? しかも、それらを利用するのは意外と簡単なんです。

ここでは、あなたの選択肢が広がる! 様々な図書館を身近に利用できるサービスをご紹介します。

茨城県立図書館や、国立国会図書館、筑波大学附属図書館など、用途に合わせて便利に図書館のサービスを使ってみてはいかがでしょうか。詳しくは各紹介をご覧ください。

筑波大学

筑波大学附属図書館 学外者一般利用



一般の方も、筑波大学附属図書館に入館し、資料の閲覧ができます。また、研究、調査及び学習の目的で図書館資料の貸出を希望される方に学外者貸出利用証の発行を行っています。



国立国会

国立国会図書館個人向け デジタル化資料送信サービス



国立国会図書館のデジタル化資料のうち、絶版等の理由で入手が困難なものをご自宅で閲覧や、プリントアウトすることができるサービスです。



茨城県立

県立図書館ぶっくびん



県立図書館の本を、インターネットで予約してつくば市立中央図書館で受け取れるサービスです。県立図書館の資料は10冊まで借りられます。



茨城県立

県立図書館利用カード

郵送申請



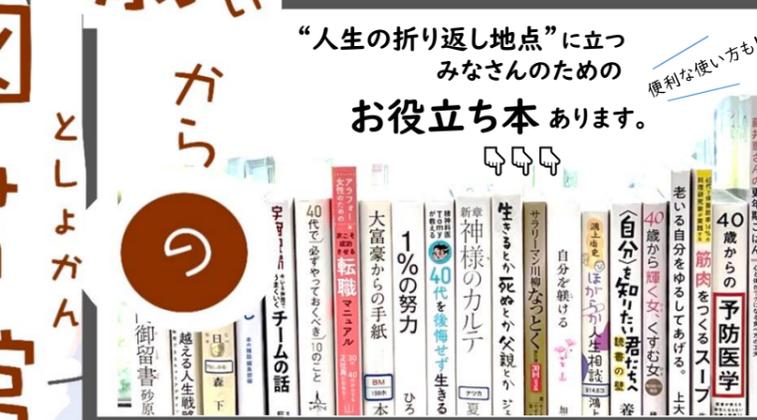
県立図書館まで行かなくても、申請書を郵送して利用カードを作成し、つくば市立中央図書館で受け取ることができます。「郵送での申請」をご確認ください。



ヨモッカ yomocca

公園通りの図書館通信

2024年(令和6年)8月発行 No.21
発行:つくば市立中央図書館



図書館

Life ライフ

“人生の折り返し地点”に立つ
みなさんのための
お役立ち本 あります。



便利な使い方も!

1 新たな人生は
そして人生は
ページへ...!

※ 選択肢は1面右下にあります。好きなものを選んでね。

おたのしみ「本占い」

あなたを選んでください

あなたを選んでください

あなたを選んでください

雑誌スポンサー 随時募集中

詳しくは図書館HPをご覧ください

令和6年度 雑誌スポンサー (令和6年7月現在)

たまご&ファーマーズ株式会社

新刊絵本と中古本の店 えほんや なすな

Style Shop

Kids Creation TSUKUBA

さくら学園 SAKURA Gakuen

ラボ整理研究室

アカデミックエクスプレス株式会社

つくば電気管理事務所

学校法人塚原学園 青葉台初等学部

JAPAN SPORTS TICKET

KENJU キッチン

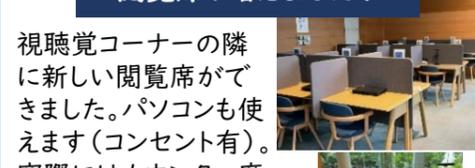
- 記事
- 40代のためのBOOK LIST<ライフスタイル・仕事・お金>……2面
 - 40代のためのBOOK LIST<健康・家族・子ども>……3面
 - かんたん今すぐ使える! 図書館の便利ワザ……4面
 - おたのしみ「本占い」……4面
 - 雑誌スポンサー随時募集中……4面

閲覧席が増えました!

つくば市立中央図書館 HP

Webから本の検索ができます。イベント情報や、図書館情報誌「ヨモッカ」も掲載中。

<https://www.city.tsukuba.lg.jp/kankobunka/bunka/toshokan/index.html>



視聴覚コーナーの隣に新しい閲覧席ができました。パソコンも使えます(コンセント有)。窓際にはカウンター席もありますので、景色を眺めて読書をどうぞ。

こんな本はいかが?
おたのしみ「本占い」

オレンジ みずいろ きいろ

すきなやじるしを選んで4面へどうぞ。

つくば市立中央図書館 開館時間 9:30~19:00 ※特別開館日は17:00閉館 駐 車 場 北2・南2駐車場の駐車券持参で2時間無料

休館日 月曜日・祝祭日・年末年始・その他館内整理日 自 転 車 駐 車 場 中央図書館南:駐車証明書持参で1日サービス券有り

ご案内 住 所 つくば市吾妻2-8 電話番号 029-856-4311 中央公園東・中央図書館西:2時間まで無料

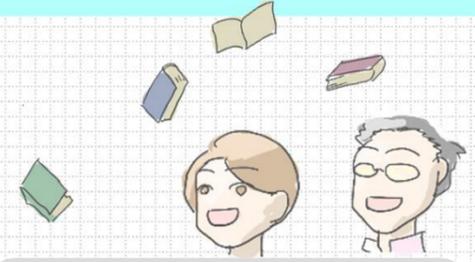


40代 のための BOOK LIST

40代のみなさんへ

ここにご紹介するのは蔵書のごく一部です。他にも図書館にはあらゆる種類の本があるといっても過言ではありません。どうぞ図書館の本棚をゆるゆると巡ってみてください。皆さんの求めるものが、本の中にきっと眠っています。

司書より



ライフスタイル

『これでもいいのだ』



ジェーン・スー//著 中央公論新社
自営業者の孤独、選択的おひとり様マザーなど、雑誌や新聞の連載66篇をまとめた生き方エッセイ。痛快さと優しさを合わせもつ言葉が、じんわり心にしみてきます。

914.6ジ

仕事

『古くてあたらしい仕事』



島田潤一郎//著 新潮社
たった一人、33歳で出版社を立ち上げた著者が世に送り出すのは年3冊の文芸書です。なぜこの仕事が成り立つのか？ 好感もてる文章がその秘密を教えてくださいます。

023シ

お金

『私がお金で困らないためには今から何をすればいいですか？』



井戸美枝//著 日本実業出版社
未来の自分が幸せしているための準備を、モデルケースを使って具体的に解説。いつ、何を意識すればよいか分かります。

591イ

健康

『からだ整えおにぎりのみそ汁』



藤井 恵//著 主婦と生活社
身体にいい食材をたっぷり使った「おにぎり+みそ汁」のレシピ集。2品なので、作る人の負担が少ないことも嬉しいポイントです。

596.37

家族

『親が心配な人の見守りテック』



和田亜希子//著 日経BP
離れて暮らしている親をITの活用で見守り、サポートできる様々な選択肢を示してくれます。

369.27

子ども

『子どものことを子どもにきく』



杉山 亮//著 筑摩書房
子どもたちに大人気の著者による、息子への年に1回のインタビューをまとめた本。子ども自身の言葉に耳を傾けたい一冊です。

376.1ス

『高瀬庄左衛門御留書』

砂原浩太郎//著 講談社

50を前にして妻と息子を失った主人公。悲しみに漂いながらも、喜びや希望を見つけ進む美しい物語。小説も生き方を教えてくださいますね。

スナハ

『40代で必ずやっておくべき10のこと』

『THE21』編集部//編 PHP研究所

40代のうちに立ち止まり、将来のことを考え、仕事のやり方を変えてみる。多くの成功者の話を聞いてきたビジネス誌編集部が40代のみなさんに提案します。

159ヨ

『「40歳の壁」をスルッと超える人生戦略』

尾石 晴//著 ディスカヴァー・トゥエンティワン

多くの人が感じるという「40歳の壁」。その正体と超え方は。人生をふかんして、後半戦を自分らしく生きるために役立つ一冊。

159オ

『働くわたし』

本の雑誌編集部//編 本の雑誌社

登場するのは獣医、事務、校閲者……様々な場で働く女性たち。仕事選び、働き方、リアルに語られるインタビューに興味津々です。

366.3ハ

『日日是好日』

森下典子//著 飛鳥新社

25年間、お茶の稽古を通して人生の困難を乗り越えてきたという著者。映画にもなったその体験談は、何度読んでも胸にひびくと、当館司書のお墨付きです。

791.0モ

『宇宙兄弟今いる仲間であまくいくチームの話』

長尾 彰//著 学研プラス

職場の仲間とうまくいく、チームで成果を上げる。そんな理想の組織作りためのリーダー論です。宇宙兄弟のマンガ入りで読みやすい。

336.3ナ

『ミニマリスト、41歳で4000万円貯める』

森 秋子//著 KADOKAWA

お金の話をベースに、生き方を考えさせられる内容です。情報に流されことなく、自分に合ったスタイルを見つけるヒントになるかもしれません。

590.4モ

『正しい家計管理 長期プラン編』

林 總//著 すみれ書房

教育費、老後資金、住宅にかかるお金など、先々の支出を予測することで、今の家計を整えていく方法が紹介されています。体験談も収録されていて参考になります。

591ハ

『働く人のもらえるお金と手続き実例150』

養田真吾//著 朝日新聞出版

転職や副業、出産、介護などのお金にまつわる様々な疑問に、現役の社会保険労務士が回答。働く人が利用できる制度を分かりやすく解説してくれます。

364.3ミ

『40歳からの健康年表』

荒井秀典//編 文藝春秋

年代ごとに気を付ける病気にふれ、予防法・対策までを解説。健康寿命を伸ばすために、今できることを始めてみては。

492ヨ

『そろそろ、からだにいいことを考えてみよう』

伊藤まさこ//著 朝日新聞出版

毎日の生活や体調の気になるあれこれを漢方の専門家と考えます。季節の野菜レシピのほか、自分の体質が分かるチェックシート付きで体調管理に役立ちます。

498.5イ

『40代が、こんなにしんどいなんて聞いてなかった』

フカザワ ナオコ//著 幻冬舎

40歳を過ぎたところから出始めた不調と向き合う日々をつづったコミックエッセイ。健やかに過ごすためのヒントが満載です。

726.1フ

『ポンコツ一家』

にしおか すみこ//著 講談社

母80歳、認知症。姉47歳、ダウン症。父81歳、酔っ払い。の家族との日々。めんどくさいけれど、いとおいしい。少し乱暴な表現の中に、家族への深い愛情を感じる1冊です。

779.1ニ

『介護現場歴20年。』

安藤なつ//著 主婦と生活社

介護福祉士の資格を持つ、介護現場歴20年のお笑い芸人の安藤なつさんによる介護マンガ。コミックエッセイなので読みやすく介護のイメージが湧きます。

369ア

『親不孝介護』

山中浩之・川内 潤//著 日経BP

親の介護を「親孝行」とは逆のイメージで行うことを提唱する著者たちによる本。親と距離を取りつつ仕事と介護を両立する術を教えてくださいます。同著者による「わたしたちの親不孝介護」も参考になります。

369.2ヤ

『反抗期まるごと解決BOOK』

親野 智可等//著 日東書院本社

反抗期は子どもが順調に育っている証拠。とはいえ、我が子の急変にオロオロすることも。子どもの気持ちがよく分かるヒントが満載です。

379.9オ

『ムスコ物語』

ヤマザキ マリ//著 幻冬舎

ヤマザキマリさんの日本、シリア、ポルトガル、アメリカなど世界各地での子育ての記憶。大人になった息子さんによるあとがきが、マリさんの本文への回答のようでホロリとします。

726.1ヤ

『絵本といっしょにまっすぐまっすぐ』

鈴木 潤//著 KTC中央出版

京都の本屋、メリーゴーランドの店長鈴木さんによる、1日1冊、絵本を紹介した本。「日常は、どこかで子どもの本の世界とつながっている」その言葉に深くうなずく本です。

019.5ス